

伊勢原市次世代育成支援対策行動計画「いせはらっ子応援プラン」

平成24年度事業評価

平成25年度事業計画

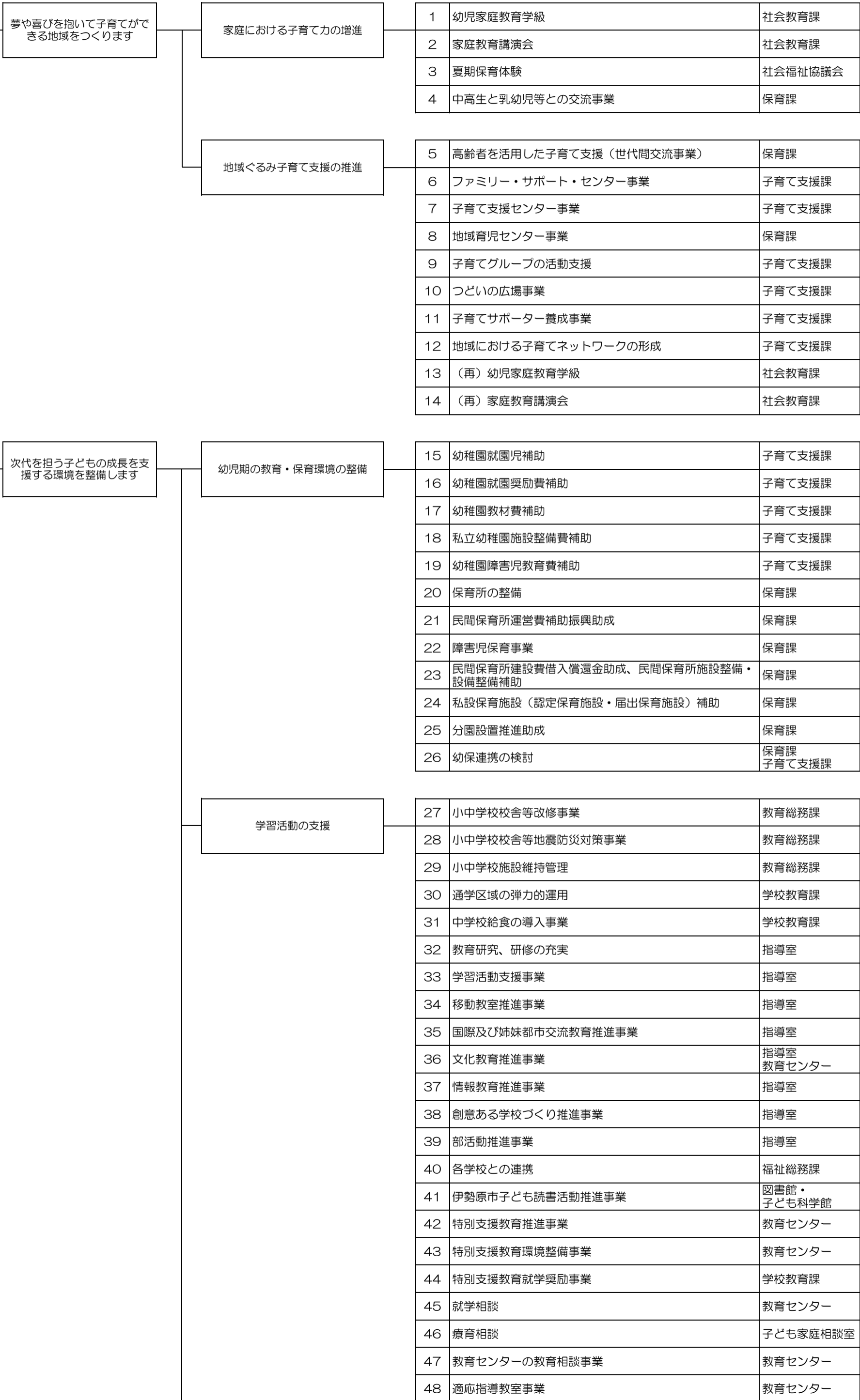
平成26年1月
伊勢原市子ども・子育て会議

【事業評価】

平成26年度までの計画目標中、平成24年度に達成すべき内容に対する進捗状況について、担当課において次の3ランクで評価した。

- A（計画どおり進捗した）
- B（やや遅れている）
- C（ほとんど進捗していない）

くらしを育む 学びのびを育む たくましく育む



らねらねちをて のびのびちをたてをなまち らねらねら

49	スクールカウンセラーの配置	教育センター
50	(再) 子ども科学館事業	図書館・子ども科学館

思春期の健全な成長のための環境整備

51	街頭指導活動の実施	青少年課
52	啓発活動の推進	青少年課
53	環境浄化活動の実施	青少年課
54	未成年者喫煙防止活動活動の実施	青少年課
55	薬物乱用防止の推進	青少年課
56	非行防止の啓発	青少年課
57	青少年の非行防止に取り組む強調月間の推進	青少年課
58	ヤングテレホン相談事業	青少年課
59	青少年相談室の相談事業	青少年課
60	思春期栄養改善事業	学校教育課
61	思春期食育事業	健康管理課
62	(再) 中学校給食の導入事業	学校教育課

子どもの健全育成の支援

63	青少年センターの管理運営	青少年課
64	青少年広場及び児童遊園の維持管理	青少年課
65	日向ふれあい学習センターの管理運営	青少年課
66	児童館の管理運営	青少年課
67	青少年健全育成事業	青少年課
68	青少年活動推進事業	青少年課
69	公民館事業	社会教育課
70	放課後児童健全育成事業（児童コミュニティクラブ）	子育て支援課
71	図書館児童読み聞かせサービス事業	図書館・子ども科学館
72	子ども科学館事業	図書館・子ども科学館
73	ミニデイ・ミニサロン活動における世代間交流の推進	介護高齢福祉課
74	海外姉妹都市高校生相互派遣事業	市民協働課
75	国内姉妹都市少年交流推進事業	青少年課
76	(再) 教育センターの教育相談事業	教育センター
77	(再) 適応指導教室事業	教育センター

多様なニーズをもつすべての子育て家庭を支援します

多様な子育て支援サービスの充実

78	(再) ファミリー・サポート・センター事業	子育て支援課
79	養育支援訪問事業	子ども家庭相談室
80	母子家庭等日常生活支援事業	子育て支援課
81	家庭的保育事業	保育課
82	一時預かり事業	保育課
83	幼稚園における預かり保育	子育て支援課
84	やすらぎサービス	社会福祉協議会
85	レスパイトサービス事業	障害福祉課
86	障害児通所支援	障害福祉課
87	特定保育事業	保育課

ワークライフバランス及び男女共同参画社会の実現

88	通常保育事業	保育課
89	年度途中入所の推進	保育課
90	(再) 一時預かり事業	保育課
91	保育時間の延長（長時間保育・延長保育）	保育課
92	産休明け保育事業	保育課
93	乳児保育推進助成	保育課
94	(再) 障害児保育事業	保育課
95	病後児保育事業	保育課
96	駅前保育事業の検討	保育課
97	(再) 放課後児童健全育成事業（児童コミュニティクラブ事業）	子育て支援課
98	児童コミュニティクラブでの障害児受入	子育て支援課

子育て支援の推進 子育て支援の推進 子育て支援の推進

99	休日保育の実施検討	保育課
100	(再) 家庭的保育等事業	保育課
101	私設保育施設(認可外保育施設)による保育等	保育課
102	私設保育施設(認可外保育施設)による保育等(院内保育)	健康管理課
103	私設保育施設(認可外保育施設)による保育等(幼稚園の預かり保育)	子育て支援課
104	(再) ファミリー・サポート・センター事業	子育て支援課
105	男女共同参画推進事業の促進	人権・男女共同参画推進担当
106	関係機関との連携・市内事業者等に対する普及啓発活動の実施	子育て支援課 商工観光振興課
107	再就職への支援策の検討	商工観光振興課

子育ての悩み解消のための支援

108	(再) 子育て支援センター事業	子育て支援課
109	(再) 地域育児センター事業	保育課
110	子育てサロン	社会福祉協議会
111	(再) 療育相談	子ども家庭相談室
112	新ママセミナー	社会教育課
113	家庭児童相談	子ども家庭相談室
114	母子父子福祉相談	子育て支援課
115	子育て相談窓口の一元化の推進	子ども家庭相談室
116	子育て支援総合コーディネート事業	子育て支援課
117	(再) 健康カレンダーの配布	健康管理課
118	児童虐待防止等事業	子ども家庭相談室
119	子ども虐待防止電話相談	子ども家庭相談室

経済的負担の軽減

120	子ども手当支給	子育て支援課
121	多子世帯保育料の軽減	保育課
122	要保護及び準要保護児童生徒援助	学校教育課
123	小児医療費助成事業	子育て支援課
124	出産一時金の支給	保険年金課
125	(再) 幼稚園就園児補助	子育て支援課
126	ひとり親家庭等医療費助成事業	子育て支援課
127	ひとり親家庭等入学支度金支給	子育て支援課
128	ひとり親家庭援護事業	社会福祉協議会
129	児童扶養手当支給	子育て支援課
130	母子寡婦福祉資金の貸付制度	子育て支援課
131	母子家庭自立支援教育訓練給付金事業	子育て支援課
132	緊急母子貸付金	子育て支援課
133	特別児童扶養手当支給	障害福祉課
134	障害児福祉手当支給	障害福祉課
135	特別支援学校在学者福祉手当支給	障害福祉課
136	市営・県営住宅等の情報提供	建築住宅課

親と子の健康づくりを進めます

安心して出産し子育てができる環境づくり

137	母子父子健康手帳の交付	子育て支援課
138	妊婦健康診査	子育て支援課
139	母親・父親学級/両親教室 母親・父親学級フォローアップ教室	子育て支援課
140	訪問指導(妊産婦・新生児・未熟児・乳幼児)	子育て支援課
141	(再) 養育支援訪問事業	子ども家庭相談室
142	多胎児教室	子育て支援課
143	母親・父親学級同窓会の開催検討	子育て支援課
144	不妊治療の支援	子育て支援課

親と子の健康の確保

145	マタニティクッキング	子育て支援課
146	離乳食教室	子育て支援課
147	(再) 思春期栄養改善事業	学校教育課

子育て支援事業の推進

子どもと子育て家庭にやさしいまちづくりを推進します

小児医療の充実

親子が安心して集える場の確保

子どもの安全の確保

148	(再) 思春期食育事業	健康管理課
149	健康診査時集団指導	子育て支援課
150	庁内栄養士連絡調整会議	健康管理課
151	食育推進のための体制づくり(食育推進計画の策定)	健康管理課
152	各種健康診査	子育て支援課
153	乳幼児精密検査	子育て支援課
154	健康診査未受診者への指導(家庭訪問)	子育て支援課
155	育児教室	子育て支援課
156	乳幼児健康教育	子育て支援課
157	(再) 訪問指導(妊産婦・新生児・乳幼児)	子育て支援課
158	アレルギー教室	子育て支援課
159	アレルギー相談会	子育て支援課
160	アレルギー職員研修会	子育て支援課
161	育児・栄養電話相談	子育て支援課
162	乳幼児健康電話相談	子育て支援課
163	乳幼児健康相談(すくすく健康相談)	子育て支援課
164	(再) 療育相談	子ども家庭相談室
165	各種予防接種	健康管理課
166	SIDS予防対策	子育て支援課
167	健康カレンダーの配布	健康管理課
168	乳児訪問の充実(こんにちは赤ちゃん訪問)	子育て支援課

169	二次救急小児科医療体制の整備	健康管理課
170	(再) 小児医療費助成事業	子育て支援課
171	(再) ひとり親家庭等医療費助成事業	子育て支援課

172	市民参加の公園づくり	公園緑地課
173	運動公園整備事業	公園緑地課
174	防災公園整備事業	公園緑地課
175	青少年広場及び児童遊園の維持管理	青少年課
176	児童遊園、遊具の修繕助成	社会福祉協議会

177	交通バリアフリー法に基づく特定事業等の推進	都市総務課
178	交通バリアフリー法に基づく特定事業等の推進	道路整備課
179	関係機関との連携・防犯パトロールの推進	交通防犯対策課
180	「あなたを守る家」運動への協力	社会教育課
181	防犯指導の実施	交通防犯対策課
182	交通安全教育の推進	交通防犯対策課
183	通学路の安全対策	学校教育課
184	通学路の安全対策	道路整備課
185	通学路の安全対策	交通防犯対策課
186	防犯灯の整備	交通防犯対策課

基本目標1 夢や喜びを抱いて子育てができる地域をつくります

施策の目標

○子育てをしていて、子どもを持つ喜びが実感できた保護者の割合を増やします

1-①家庭における子育て力の増進

<施策の対応方針>

○保健分野・福祉分野・教育分野が連携を図り、総合的に家庭における子育て力の増進の支援をしていきます。

○中高生に対し、乳幼児とふれあう機会や子育てを体験する機会を拡充し、「育児」や「子育て」に関する理解を深めていきます。

1	幼児家庭教育学級	担当課	社会教育課					
事業内容	2・3歳児とその親を対象に、親は子に対する在り方、接し方等家庭教育上の問題や子の成長に欠かせない知識を習得し、子は同年代の子とともに集団生活を学ぶ場とします。							
計画目標	・市内6公民館で6講座実施。 ・各講座1～2教室の増							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組結果	市内各公民館で幼児家庭教育学級を実施 (7公民館・7講座25教室・延べ453名参加)	事業評価	B・Cの理由			A		
H24. 報告事項	○変更点等 ◆テーマを「仲間づくり・現代の子育て・リフレッシュ」に設定し、新しい内容として、ネイルケアやそだれん等を取り入れた。(中央公民館)							
H25. 事業計画	市内各公民館で幼児家庭教育学級を実施予定 (7公民館・7講座30教室)	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
	①中央公民館(12教室) ⑥成瀬公民館(5教室)	H22決算	232	0	0	0		232
	②大山公民館(2教室) ⑦大田公民館(3教室)	H23決算	281	0	0	0		281
	③高部屋公民館(1教室)	H24決算	233	0	0	0		233
④比々多公民館(3教室) ⑤伊勢原南公民館(4教室)	H25予算	361	0	0	0	361		

2	家庭教育講演会	担当課	社会教育課					
事業内容	家庭教育の一助として、家庭と地域社会のかかわりや、子どもを心身ともに健やかに育てるために何をすべきか等、各テーマを設定して、家庭教育について考える機会を提供します。							
計画目標	・4中学校区で年1回開催 ・地域との関わりを促進するため青少年健全育成協議会との連携を推進							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組結果	4中学校区で年1回開催	事業評価	B・Cの理由			A		
	・中沢中学校区 11/17(土) 92名参加 ・伊勢原中学校区 10/27(土) 119名参加 ・成瀬中学校区 10/27(土) 178名参加 ・山王中学校区 11/10(土) 128名参加							
H24. 報告事項	○変更点等 ◆成瀬中学校区の会場を成瀬公民館から石田小学校に変更した。 ◆その他特になし。 (H22.23年度改善済) ○課題 ◆予算削減により、講師選定に苦労している。 ○住民の声 ◆家庭教育について、抽象的な話の講演ではなく、具体的な話の講演を聞きたいという声が多い。 ◆「よかった」「勉強になった」「早速、家庭で取り入れたい」など好評であった。(大田公民館)							
H25. 事業計画	4中学校区で年1回開催予定(10～11月頃)	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
	・中沢中学校区	H22決算	134	0	0	0		134
	・伊勢原中学校区	H23決算	128	0	0	0		128
・成瀬中学校区 ・山王中学校区	H24決算	128	0	0	0	128		
	H25予算	131	0	0	0	131		

3	夏期保育体験	担当課	社会福祉協議会																																							
事業内容	中高生を対象に「保育」の体験を通して児童福祉への理解と社会連帯の精神を高めます。																																									
計画目標	市内保育所11園の協力により7月、8月に実施 計180名																																									
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)																																										
H24. 取組結果	市内保育所11園の協力により7月、8月に実施しました。計109名参加(市内7校、市外5校)	事業評価	B・Cの理由																																							
H24. 報告事項	<p>○例年どおり実施。</p> <p>○参加者の大幅な減少があり、特に公立中学校分が178人から95人に減少した。中学生は学校経由で申込みを行っているが、学校により大幅に参加者数が異なる点が現状。(1中学校あたり最小6名～最大49名)参加費の取りまとめまでを依頼しているため、先生の負担が課題のひとつとなっていると推測している。</p> <p>次年度の実施方法については、すでに保育園との打合せ会を実施し、保育園でも周知等の協力いただくことや、申込み方法の選択肢を増やす方法を検討し対応していく予定である。</p> <p>○参加者の感想文から、不安と期待を抱えながら3日間の体験を終え、多くの気づきなどから心の成長が伺える。保育園側からも、初日と最終日の参加者の表情の違いなどから成果を感じているとの意見をいただいている。</p>																																									
H25. 事業計画	市内の中高生を対象に保育の体験を通して、児童福祉への理解と社会連帯の精神を高めることを目的として、市内11保育園の協力により7～8月に実施。 周知及び申込方法の改善を図る。 ※財源は社協会員会費	<p style="text-align: center;">予算額・財源内訳(単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">総事業費</th> <th colspan="4">事業費内訳</th> <th rowspan="2">重要施策</th> </tr> <tr> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22決算</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H23決算</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>12</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H24決算</td> <td>25</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>25</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H25予算</td> <td>36</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>36</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		年度	総事業費	事業費内訳				重要施策	国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	H22決算	4	0	0	4	0		H23決算	12	0	0	12	0		H24決算	25	0	0	25	0		H25予算	36	0	0	36	0	
年度	総事業費	事業費内訳				重要施策																																				
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源																																					
H22決算	4	0	0	4	0																																					
H23決算	12	0	0	12	0																																					
H24決算	25	0	0	25	0																																					
H25予算	36	0	0	36	0																																					

4	中高生と乳幼児等との交流事業	担当課	保育課																																							
事業内容	乳幼児と中学生、高校生等これから親になっていく世代との交流を行い、異年齢の人との交流を通じて、家庭や命の大切さにふれ、子どもを産み育てることへの理解を促します。																																									
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所 4園 ・民間保育所 7園 																																									
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)																																										
H24. 取組結果	<p>公立保育所(4園)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育児相談事業 延べ 147件 ・三世代交流型支援事業 延べ 161回 ・園庭開放 延べ 209人 <p>民間保育所(7園)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育児相談事業 延べ 880件 ・三世代交流型支援事業 延べ 38回 ・園庭開放 延べ 1,130人 	事業評価	B・Cの理由																																							
H24. 報告事項	例年どおり実施																																									
H25. 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所 4園 ・育児相談事業 ・三世代交流型支援事業 ・園庭開放 ・民間保育所 7園 ・育児相談事業 ・三世代交流型支援事業 ・園庭開放 	<p style="text-align: center;">予算額・財源内訳(単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">総事業費</th> <th colspan="4">事業費内訳</th> <th rowspan="2">重要施策</th> </tr> <tr> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22決算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H23決算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H24決算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H25予算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		年度	総事業費	事業費内訳				重要施策	国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	H22決算	0	0	0	0	0		H23決算	0	0	0	0	0		H24決算	0	0	0	0	0		H25予算	0	0	0	0	0	
年度	総事業費	事業費内訳				重要施策																																				
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源																																					
H22決算	0	0	0	0	0																																					
H23決算	0	0	0	0	0																																					
H24決算	0	0	0	0	0																																					
H25予算	0	0	0	0	0																																					

1-②地域ぐるみの子育て支援の推進

<施策の対応方針>

○子育てをサポートする人づくり・場づくりを進めて、保護者の精神的・身体的負担の軽減を図ります。

○子育てを地域全体で支援する機運の醸成に努めていきます。

○地域子育て支援に関する自主的な活動を行うサークルやボランティア団体等、自主活動団体の育成と活動を支援していきます。

○地域社会全体で子育てをサポートしていく体制づくりを推進してきます。

5	高齢者を活用した子育て支援（世代間交流事業）	担当課	保育課				
事業内容	子どもたちと高齢者を始めとした地域住民との世代を超えた交流を推進し、地域全体による子育て支援意識の醸成を図ります。						
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所 4園 ・民間保育所 7園 						
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）							
H24. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所 4園 育児相談事業 延べ 147件 三世交代型支援事業 延べ 161回 園庭開放 延べ 209人 	事業評価	B・Cの理由				
	<ul style="list-style-type: none"> ・民間保育所 7園 育児相談事業 延べ 880件 三世交代型支援事業 延べ 38回 園庭開放 延べ1,130人 			A			
H24. 報告事項	例年どおり実施						
H25. 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所 4園 育児相談事業 三世交代型支援事業 園庭開放 ・民間保育所 7園 育児相談事業 三世交代型支援事業 園庭開放 	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫支出金	県支出金	その他	
		H22決算	0	0	0	0	0
		H23決算	0	0	0	0	0
		H24決算	0	0	0	0	0
H25予算	0	0	0	0	0		

6	ファミリー・サポート・センター事業	担当課	子育て支援課
事業内容	児童の健やかな成長や子育て中の家庭に対する育児の支援体制の充実を図るため、市が事務局となり、育児の援助を受けたい人（依頼会員）と支援を行いたい人（支援会員）からなる会員組織「ファミリー・サポート・センター」を運営し、育児に関する地域の相互援助活動を支援します。		
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・設置箇所数 1箇所 ・会員総数 1,180人 		
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）			
H24. 取組結果	(執行実績) <ul style="list-style-type: none"> ・設置箇所：1箇所 ・会員総数：846人 内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・依頼会員 620人 ・支援会員 198人 ・両方会員 28人 ・延べ活動回数：2,845回 	事業評価	B・Cの理由
H24. 報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ○例年どおり実施 ○障害児への支援依頼が増加しています。安全に活動を行なうため、関係機関から児童についての情報収集等を行なうため、コーディネートに時間がかかる。 ○長期利用の依頼会員から子どもの成長に合わせた支援会員の紹介をしてもらいたくさんの人と出会えることができ、地域の方々に育てていただいたという言葉をいただいた。 		

H25. 事業計画	児童の健やかな成長や子育て中の家庭に対する育児の支援体制の充実を図るため、市が事務局となり、育児の援助を受けたい人（依頼会員）と支援を行いたい人（支援会員）からなる会員組織「ファミリー・サポート・センター」を運営し、育児に関する地域の相互援助活動を支援します。	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	4,656	2,375	0	0		2,281
		H23決算	4,662	2,329	0	0		2,333
		H24決算	4,624	2,312	0	0		2,312
H25予算	4,639	2,319	0	0	2,320			

7	子育て支援センター事業	担当課	子育て支援課
事業内容	地域で孤立しがちな母親の子育ての不安やストレス、悩みの解消を図るため、子育て支援センターに子育てアドバイザーを配置し、親子の遊びや息抜き、情報交換、仲間づくりの場を提供します。 また、乳幼児を持つ子育て中の親が気軽に集い、うちとけた雰囲気の中で語り合うことで精神的な安心感をもち、問題解決の糸口となる場として、「つどいの広場」を展開します。		
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・支援センター 1箇所 ・「子育てひろば」 6箇所 ・「つどいの広場」 4箇所 		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・フリースペース (子育て支援センター) 開催日数：245日 参加者数：延べ12,732人 ・育児相談件数 延べ1,412 ・つどいの広場 実施開所数：1ヵ所 開催日数：143日 参加者数：延べ5,866人 ・子育てひろば 開催日数：169日 参加者数：延べ4,377人 うち「赤ちゃんひろば」 1箇所 (フリースペース内) 「赤ちゃんこれからママのつどい」 1箇所 (つどいの広場内) 	事業評価	B・Cの理由
		—	つどいの広場については、場所や事業費の確保の問題から、検討が進まない状況にある。

H24. 報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ○例年どおり実施 ○「子どもと二人で家にいると息が詰まる。交流、相談もでき毎日利用できることでストレス解消になる。」という意見をいただいた。
-----------	---

H25. 事業計画	地域で孤立しがちな母親の子育ての不安やストレス、悩みの解消を図るため、子育て支援センターに子育てアドバイザーを配置し、親子の遊びや息抜き、情報交換、仲間づくりの場を提供します。 また、乳幼児を持つ子育て中の親が気軽に集い、うちとけた雰囲気の中で語り合うことで精神的な安心感をもち、問題解決の糸口となる場として、「つどいの広場」を展開します。	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	8,289	4,276	0	0		4,013
		H23決算	8,979	4,286	292	0		4,401
		H24決算	7,923	3,962	0	0		3,961
H25予算	7,668	3,834	0	0	3,834			

8	地域育児センター事業	担当課	保育課
事業内容	保育所の専門的機能を活用し、地域における子育てのニーズにきめ細やかに対応するため、各認可保育所において様々な子育て支援を実施します。		
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所 4園 ・民間保育所 7園 		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組 結果	<ul style="list-style-type: none"> 公立保育所 4園 育児相談事業 延べ 147件 三世交代型支援事業 延べ 161回 園庭開放 延べ 209人 民間保育所 7園 育児相談事業 延べ 880件 三世交代型支援事業 延べ 38回 園庭開放 延べ 1,130人 	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告 事項	例年どおり実施							
H25. 事業 計画	<ul style="list-style-type: none"> 公立保育所 4園 育児相談事業 三世交代型支援事業 園庭開放 民間保育所 7園 育児相談事業 三世交代型支援事業 園庭開放 	予算額・財源内訳(単位:千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0		0
		H23決算	0	0	0	0		0
		H24決算	0	0	0	0		0
H25予算	0	0	0	0	0			

9	子育てグループの活動支援	担当課	子育て支援課
事業 内容	①子育て支援に関するサークルやボランティア団体等に対し、活動の場や情報の提供、依頼に基づく健康教育等を実施して、自主活動を支援します。②子育て中の保護者グループが、自主的・継続的に行う乳幼児の保育活動や情報交換、親子交流等のうち、一定の要件を満たすものについて、活動費の一部を助成し、その活動を支援します(コミュニティ保育推進事業)。		
計画 目標	活動支援の充実		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組 結果	伊勢原市コミュニティ保育推進事業補助金交付要綱に基づき、交付要望のあった1団体に補助金(125千円)を交付する。	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H24. 報告 事項	○活動費補助は、減額されたものの週2回の保育活動は一定の効果はでている。 ○活動には会費を徴収し運営しているが補助の減額は、活動の継続が困難と考える。						
H25. 事業 計画	継続実施 ・要望団体数: 1グループ (コミュニティ保育どんぐり会)	予算額・財源内訳(単位:千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
		H22決算	157	0	0	0	157
		H23決算	157	0	0	0	157
		H24決算	125	0	0	0	125
H25予算	125	0	0	0	125		

10	つどいの広場事業	担当課	子育て支援課
事業 内容	乳幼児を持つ子育て中の親が気軽に集い、うちとけた雰囲気の中で語り合うことで精神的な安心感をもち、問題解決の糸口となる場を提供します。		
計画 目標	4箇所 (各中学校区に1箇所)		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組結果	つどいの広場 実施箇所数：1箇所 開催日数：143日 参加者数：延べ5,866人	事業評価	B・Cの理由					
		—	つどいの広場については、場所や事業費の確保の問題から、検討が進まない状況にある。					
H24. 報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ○子育てサポーターが月1回運営について謝礼を支払う。 ○市内における他地区での拠点作りをどのように進めるかが課題である。 ○「地域の身近なところにあり気軽に立ち寄り相談できる」という声をいただいた。 							
H25. 事業計画	継続実施 週3日の開設日のうち、月4回分の運営を子育てサポーターへの委託により実施。	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	2,437	1,218	0	0		1,219
		H23決算	2,083	1,041	0	0		1,042
		H24決算	1,829	914	0	0		915
H25予算	1,569	784	0	0	785			

11	子育てサポーター養成事業	担当課	子育て支援課
事業内容	乳幼児をもつ子育て中の親が地域で身近に頼れ、子育てをサポートする「子育てサポーター（ボランティア）」を養成し、地域の主任児童委員等と連携し、地域ぐるみの子育て支援体制を構築します。		
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・登録人員 100人 ・活動の充実 		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・登録人員：138人（新規登録14人） ・養成講座：平成24年9月28日～11月13日（延べ6日間、10科目） 体験実習10月～12月（公立保育所・子育てひろば・離乳食教室） ・活動状況 子育て支援センター（フリースペース） 「つどいの広場」 子育てひろば（巡回） 4か月健診 「こんにちは赤ちゃん訪問」 離乳食教室 ・スキルアップ研修 平成24年9月28日～11月13日（延べ6日間、6科目） 	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ○例年どおり実施 ○「子どものあそびの楽しさがよくわかった。スキルアップ研修は続けてほしい」という声をいただいた。 							
H25. 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・養成講座：平成25年9月～11月 ・体験実習 10月～12月 ・スキルアップ研修：平成24年9月～11月 ・活動状況 支援センター・つどいの広場 子育てひろば・4か月健診・離乳食教室・こんにちは赤ちゃん訪問 	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	143	0	0	0		143
		H23決算	119	0	0	0		119
		H24決算	115	0	0	0		115
H25予算	115	0	0	0	115			

12	地域における子育てネットワークの形成	担当課	子育て支援課
事業内容	地域における総合的な子育て支援に取り組むため、子育て支援センター及びつどいの広場を拠点にネットワーク化を図ります。		
計画目標	支援センターとつどいの広場のネットワーク化 2箇所		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組結果	未実施	事業評価	B・Cの理由					
		—	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援総合コーディネーター事業による専任コーディネーターの配置に併せ、インターネットを活用したネットワーク化を図っていくため。 ・事業の内容がインターネットによるネットワーク化であることから事業未実施であるが、地域の子育て団体の情報に関しては、子育てアドバイザーが問い合わせの都度対応を行った。 					
H24. 報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットに通じた職員の人的配置が整わず、ネットワーク化の検討が進まない。 ・個人情報保護の観点から、子育てに係る市民団体の情報をどこまで発信し、どのように内容を更新するのか、体制の整備が課題である。 							
H25. 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、コンピュータネットワークの活用に限らず、支援センターやつどいの広場利用者への情報提供事業として、子育てに係る市民団体に関する問い合わせへの対応を実施する。 ・地域の子育て支援の充実のため、つどいの広場における子育てボランティアの協力を拡大し地域で顔のわかる子育て支援が行える拠点づくりを展開する。 	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	0	
		H24決算	0	0	0	0	0	
H25予算	0	0	0	0	0			

13	(再) 幼児家庭教育学級	担当課	社会教育課
事業内容	2・3歳児とその親を対象に、親は子に対する在り方、接し方等家庭教育上の問題や子の成長に欠かせない知識を習得し、子は同年代の子とともに集団生活を学ぶ場とします。		
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・市内6公民館で6講座実施。 ・各講座1～2教室の増 		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組結果	市内各公民館で幼児家庭教育学級を実施 (7公民館・7講座25教室・延べ453名参加)	事業評価	B・Cの理由					
	<ul style="list-style-type: none"> ①中央公民館 (7教室) 延べ95名参加 ②大山公民館 (2教室) 延べ51名参加 ③高部屋公民館 (2教室) 延べ185名参加 ④比々多公民館 (3教室) 延べ19名参加 ⑤伊勢原南公民館 (4教室) 延べ29名参加 ⑥成瀬公民館 (5教室) 延べ61名参加 ⑦大田公民館 (2教室) 延べ13名参加 	A						
H24. 報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ○変更点等 ◆テーマを「仲間づくり・現代の子育て・リフレッシュ」に設定し、新しい内容として、ネイルケアやそだれん等を取り入れた。(中央公民館) ◆受講対象を託児が可能である「7ヵ月から3歳児とその親」に拡大した。(大田公民館) ◆受講者数が増加しているため、4教室から5教室に拡大し、内容も親のリフレッシュを目的とした教室を増やした。(成瀬公民館) ◆料理教室の調理時間を短縮し、後半30分を親子での食事時間に変更した。(伊勢原南公民館) ○課題 ◆全体的に受講者数が少ない。中央公民館では全7教室としたが、出席率があまり良くなかった。(7割程度) ◆調理設備が不十分であるため、料理教室の内容に限界がある。(成瀬公民館) ○住民の声 ◆母親同士の交流を図りたいという声が多い。 							
H25. 事業計画	市内各公民館で幼児家庭教育学級を実施予定 (7公民館・7講座30教室) ①中央公民館(12教室) ⑥成瀬公民館(5教室) ②大山公民館(2教室) ⑦大田公民館(3教室) ③高部屋公民館(1教室) ④比々多公民館(3教室) ⑤伊勢原南公民館(4教室)	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	232	0	0	0	232	
		H23決算	281	0	0	0	281	
		H24決算	233	0	0	0	233	
H25予算	361	0	0	0	361			

14	(再) 家庭教育講演会	担当課	社会教育課					
事業内容	家庭教育の一助として、家庭と地域社会のかかわりや、子どもを心身ともに健やかに育てるために何をすべきか等、各テーマを設定して、家庭教育について考える機会を提供します。							
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・4中学校区で年1回開催 ・地域との関わりを促進するため青少年健全育成協議会との連携を推進 							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組結果	4中学校区で年1回開催 <ul style="list-style-type: none"> ・中沢中学校区 11/17 (土) 92名参加 ・伊勢原中学校区 10/27 (土) 119名参加 ・成瀬中学校区 10/27 (土) 178名参加 ・山王中学校区 11/10 (土) 128名参加 	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ○変更点等 ◆成瀬中学校区の会場を成瀬公民館から石田小学校に変更した。 ◆その他特になし。(H22. 23年度改善済) ○課題 ◆予算削減により、講師選定に苦労している。 ○住民の声 ◆家庭教育について、抽象的な話の講演ではなく、具体的な話の講演を聞きたいという声が多い。 ◆「よかった」「勉強になった」「早速、家庭で取り入れたい」など好評であった。(大田公民館) 							
H25. 事業計画	4中学校区で年1回開催予定(10~11月頃) <ul style="list-style-type: none"> ・中沢中学校区 ・伊勢原中学校区 ・成瀬中学校区 ・山王中学校区 	予算額・財源内訳(単位:千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	134	0	0	0	134	
		H23決算	128	0	0	0	128	
		H24決算	128	0	0	0	128	
H25予算	131	0	0	0	131			

基本目標2 次代を担う子どもの成長を支援する環境を整備します

施策の目標

- 伊勢原が子どもの成長にふさわしい環境であると感じる保護者の割合を増やします
- 子どもの教育環境が良好であると感じる保護者の割合を増やします

2-①幼児期の教育・保育環境の整備

<施策の対応方針>

- 私立幼稚園や保育所の自主性を尊重し、支援に努めていきます。
- 幼稚園と保育所の機能を併せ持つ総合施設の在り方など、子どもや保護者にとってより望ましい施設運営を支援します。
- 幼保連携施設である認定こども園の取り組みについて、継続的に検討していきます。
- 障害のある子どもの幼稚園の入園や、保育所の入所の支援をしていきます。

15	幼稚園就園児補助	担当課	子育て支援課					
事業内容	保護者の経済的負担の軽減と幼児教育の振興を図るため、市内在住の子どもが市内・市外の私立幼稚園に就園する場合に、入園料等の一部を助成します。							
計画目標	継続実施							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組結果	私立幼稚園に就園させている保護者に対し、保育料等の一部を補助しました。	事業評価	B・Cの理由					
H24. 報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ○例年どおり実施 ○子ども・子育て支援新制度の施行に合わせ、事業のあり方を検討する。 ○補助額の増額を要望する声がある。 							
H25. 事業計画	子育て支援課に移管。 私立幼稚園に就園させている保護者に対して、就園奨励費と一本化し、保育料等の一部を補助していきます。(今後は廃止を予定)	予算額・財源内訳(単位:千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	11,193	0	0	0		11,193
		H23決算	11,481	0	0	0		11,481
H24決算	11,869	0	0	0	11,869			
H25予算	11,843	0	0	0	11,843			

16	幼稚園就園奨励費補助	担当課	子育て支援課					
事業内容	私立幼稚園に対し、幼児教育の充実・振興及び保護者の負担軽減を目的として、助成します。							
計画目標	継続実施							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組結果	私立幼稚園を通じて就園児の保護者に対し、保育料等の一部を補助しました。	事業評価	B・Cの理由					
H24. 報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ○補助限度額を国基準に合わせ増額した。 ○国基準額は毎年増加するが国庫補助は増えないため、市費(負担額)だけが増え続けている。 ○補助額の増額を要望する声がある。 							
H25. 事業計画	子育て支援課に移管。 私立幼稚園に就園させている保護者に対し、保育料等の一部を補助していきます。	予算額・財源内訳(単位:千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	112,066	26,053	0	0		86,013
		H23決算	112,343	26,838	0	0		85,505
H24決算	106,702	25,553	0	0	81,149			
H25予算	113,167	23,387	0	0	89,780			

17	幼稚園教材費補助	担当課	子育て支援課				
事業内容	幼稚園教育の重要性に配慮し、私立幼稚園に対して教材費等の助成を行い、幼児教育の環境整備を図ります。						
計画目標	継続実施						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H24. 取組結果	教材教具の購入等に要する経費の一部を助成し、幼児教育の充実と保護者の経済的負担軽減を図りました。	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H24. 報告事項	<input type="checkbox"/> 例年どおり実施 <input type="checkbox"/> 子ども・子育て支援新制度の施行に合わせ、事業のあり方を検討する。 <input type="checkbox"/> 幼稚園の設置者から、補助額増を求める声がある。						
H25. 事業計画	子育て支援課に移管。 教材教具の購入等に要する経費の一部を助成し、幼児教育の充実と保護者の経済的負担軽減を図っていきます。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫支出金	県支出金	その他	
		H22決算	4,658	0	0	0	4,658
		H23決算	4,666	0	0	0	4,666
H24決算	4,671	0	0	0	4,671		
H25予算	4,700	0	0	0	4,700		

18	私立幼稚園施設整備費補助	担当課	子育て支援課				
事業内容	幼稚園教育を振興するため、学校法人私立幼稚園が市内において行う幼稚園施設整備に要する経費に対して助成します。						
計画目標	継続実施						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H24. 取組結果	私立幼稚園が行う施設整備に要する経費に対して補助を行い、幼児教育の振興を図りました。 (対象) 改築工事1園	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H24. 報告事項	<input type="checkbox"/> 例年どおり実施 <input type="checkbox"/> 子ども・子育て支援新制度の施行に合わせ、事業のあり方を検討する。						
H25. 事業計画	子育て支援課に移管。 私立幼稚園が行う施設整備に要する経費に対して補助を行い、幼児教育の振興を図っていきます。 (対象) 改築工事1園	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫支出金	県支出金	その他	
		H22決算	0	0	0	0	0
		H23決算	7,657	0	2,919	0	4,738
H24決算	4,000	0	0	0	4,000		
H25予算	2,000	0	0	0	2,000		

19	幼稚園障害児教育費補助	担当課	子育て支援課
事業内容	市内在住の障害児を保育している市内私立幼稚園に対して助成します。		
計画目標	継続実施		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			

H24. 取組 結果	障害児を受け入れる私立幼稚園の設置者に助成 を行い、特別支援教育の充実を図りました。	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告 事項	<input type="checkbox"/> 例年どおり実施 <input type="checkbox"/> 子ども・子育て支援新制度の施行に合わせ、事業のあり方を検討する。 <input type="checkbox"/> 幼稚園の設置者から、補助額増を求める声がある。							
H25. 事業 計画	子育て支援課に移管。 障害児を受け入れる私立幼稚園の設置者に助成 を行い、特別支援教育の充実を図っていきます。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	3,348	0	0	0	3,348	
		H23決算	4,212	0	0	0	4,212	
H24決算	3,924	0	0	0	3,924			
H25予算	3,996	0	0	0	3,996			

20	保育所の整備	担当課	保育課					
事業 内容	待機児童を解消するため、既存施設の改築・整備を行います。							
計画 目標	施設整備を行う民間保育所への助成 1園							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組 結果	対象なし	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告 事項	<input type="checkbox"/> 対象施設なし							
H25. 事業 計画	施設整備(空調機修繕、耐震補強工事)を行う 民間保育所への助成 2園	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳		重要 施策		
				国庫支出金	県支出金		その他	一般財源
		H22決算	20,000	0	0	20,000	0	○
		H23決算	180,022	0	177,798	0	2,224	
H24決算	0	0	0	0	0			
H25予算	24,662	0	16,440	0	8,222			

21	民間保育所運営費補助振興助成	担当課	保育課
事業 内容	民間保育所の運営費等を助成し、民間保育所の振興と経営基盤の強化を図ります。		
計画 目標	継続実施		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			
H24. 取組 結果	・民間保育所運営費を補助 管内民間保育所 7園 管外民間保育所 17園	事業評価	B・Cの理由
		A	

H24. 報告事項	例年どおり実施							
H25. 事業計画	・民間保育所運営費を補助 管内民間保育所 7園 管外民間保育所 17園	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	148,608	0	41,754	0	106,854	○
		H23決算	146,396	0	41,454	0	104,942	
		H24決算	134,109	0	33,727	0	100,382	
H25予算	138,195	0	43,597	0	94,598			

22	障害児保育事業	担当課	保育課
事業内容	保育士の適正な配置や研修など、保育所における障害児の受入れ体制の充実に努め、障害児保育の一層の促進を図ります。		
計画目標	継続実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組結果	民間保育所4園(対象児童は4人)に補助	事業評価	B・Cの理由
		A	

H24. 報告事項	○対象保育所4園、対象児童4人で実施 伊勢原愛児園 1人 伊勢原ふたば保育園 1人 リスブラン保育園 1人 伊勢原こぼと保育園 1人		
-----------	--	--	--

H25. 事業計画	民間保育所6園、対象児童6人	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	1,236	0	0	0	1,236	○
		H23決算	3,209	0	0	0	3,209	
		H24決算	2,751	0	0	0	2,751	
H25予算	4,126	0	0	0	4,126			

23	民間保育所建設費借入償還金助成、民間保育所施設整備・設備整備補助	担当課	保育課
事業内容	民間保育所が施設整備及び設備整備のために福祉医療機構等から借入した場合の償還元金について、県事業のほか市単独で助成を行います。社会福祉法人等の民間事業者が、市・県との調整後に認可保育所の施設を整備する場合に、施設・設備整備費の補助を行います。		
計画目標	継続実施 民間3園		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組結果	市内民間認可保育所3園に補助 ・伊勢原愛児園 ・伊勢原ふたば保育園 ・大原保育園	事業評価	B・Cの理由
		A	

H24. 報告事項	例年どおり実施		
-----------	---------	--	--

H25. 事業 計画	市内民間認可保育所3園に補助 ・伊勢原愛児園 ・伊勢原ふたば保育園 ・大原保育園	予算額・財源内訳(単位:千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	9,862	0	3,227	0	6,635	
		H23決算	9,850	0	5,859	0	3,991	
		H24決算	13,513	0	5,561	0	7,952	
H25予算	13,513	0	5,560	0	7,953			

24	私設保育施設(認定保育施設・届出保育施設)補助	担当課	保育課
事業 内容	保育要件に欠ける児童を保育することを目的として設置された認可外の保育施設に対して、その運営費などを補助します。		
計画 目標	継続実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組 結果	○運営費を補助 ・市内認定保育施設 1園 ・市外認定保育施設 7園 ・市内届出保育施設 3園	事業評価	B・Cの理由
		A	

H24. 報告 事項	例年どおり実施
------------------	---------

H25. 事業 計画	○運営費を補助 ・市内認定保育施設 2園 ・市外認定保育施設 7園 ・市内届出保育施設 2園	予算額・財源内訳(単位:千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	9,328	0	3,108	0	6,220	○
		H23決算	9,441	0	3,340	0	6,101	
		H24決算	9,659	0	3,215	0	6,444	
H25予算	16,471	0	5,490	0	10,981			

25	分園設置推進助成	担当課	保育課
事業 内容	乳児など、低年齢児を中心とした待機児童の解消を図るため、分園を設置する民間認可保育所の運営費などを補助します。		
計画 目標	継続実施 民間1園		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組 結果	補助対象:バルガーデン保育園	事業評価	B・Cの理由
		A	

H24. 報告 事項	例年どおり実施
------------------	---------

H25. 事業 計画	補助対象:バルガーデン保育園	予算額・財源内訳(単位:千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	1,800	0	800	0	1,000	○
		H23決算	1,800	0	800	0	1,000	
		H24決算	1,800	0	701	0	1,099	
H25予算	1,800	0	800	0	1,000			

26	幼保連携の検討	担当課	保育課、子育て支援課				
事業内容	幼稚園と保育所の役割を踏まえつつ、両者の機能を併せ持つ認定子ども園制度など、子どもや保護者にとってより望ましい施設の在り方を検討します。						
計画目標	継続実施						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H24. 取組結果	子ども・子育て支援の新たなシステムの円滑な実施に向けて、情報の把握に努め、関係課との情報共有を図った。	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H24. 報告事項	例年どおり実施						
H25. 事業計画	子ども・子育て支援の新たなシステムの円滑な実施に向けて、情報の把握に努め、関係課との情報共有を図っていきます。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫支出金	県支出金	その他	
		H22決算	0	0	0	0	0
		H23決算	0	0	0	0	0
H24決算	0	0	0	0	0		
H25予算	0	0	0	0	0		

2-②学習活動の支援

＜施策の対応方針＞

- 子どもが快適に教育を受けられる環境の整備を進めていきます。
- 多様なニーズに対応した学習活動を支援していきます。
- いじめや不登校などにも対応するため、教育相談等を充実していきます。
- 困難や悩みを抱えた子ども、保護者、教職員が気軽に相談できるような場の提供、機会の確保、人的配置など、多面的に支援していきます。
- 子どもが自ら学ぶ意欲を持ち、主体的に判断し、行動できる資質・能力を育成していきます。
- 国際教育や情報教育の充実に努めます。

27	小中学校校舎等改修事業	担当課	教育総務課					
事業内容	既存施設機能を保持するとともに、新たなニーズに対応した機能の改善を行います。							
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ改修工事 7カ所 ・外壁改修工事 4カ所 ・シャワー設備工事 1カ所 							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組結果	トイレ改修工事 1カ所 ※H23度予算を繰越し、H24年度に実施	事業評価	B・Cの理由					
		—	国の補助金の交付決定が遅れたため、予定していたトイレ改修工事が計画どおり実施出来ず、翌年度に実施した。					
H24. 報告事項	-							
H25. 事業計画	国の平成24年度第一次補正予算による交付金の活用により、事業費が増額となった。 <ul style="list-style-type: none"> ・トイレ改修工事 1カ所 ・外壁改修工事 4カ所 ・屋上防水工事 4カ所 	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	57,201	19,860	0	32,322	5,019	○
		H23決算	0	0	0	0	0	○
		H24決算	51,398	12,281	0	23,000	16,117	
H25予算	421,645	356,904	0	51,900	12,841	○		

28	小中学校校舎等地震防災対策事業	担当課	教育総務課					
事業内容	老朽化が進む小中学校の耐震補強工事を進め、児童生徒の安全を確保するため校舎等の耐震性を高めていきます。							
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震化率100% (H22年度未完了) 							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組結果	事業終了	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告事項	事業終了							
H25. 事業計画	-	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	958,864	302,532	0	382,900	273,432	○
		H23決算	0	0	0	0	0	
		H24決算	0	0	0	0	0	
H25予算	0	0	0	0	0			

29	小中学校施設維持管理	担当課	教育総務課				
事業内容	各小中学校の施設維持管理に努め、安全で快適な教育環境の充実を図ります。						
計画目標	施設・設備の改修及び修繕						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H24. 取組結果	施設・設備の改修及び修繕	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H24. 報告事項	-						
H25. 事業計画	施設・設備の改修及び修繕	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫支出金	県支出金	その他	
		H22決算	83,035	1,134	0	0	81,901
		H23決算	78,151	3,623	0	0	71,679
		H24決算	72,715	0	0	0	72,715
H25予算	72,647	0	0	0	72,647		

30	通学区域の弾力的運用	担当課	学校教育課				
事業内容	各学校の立地条件や地域の実情等を踏まえ、個々の児童生徒の事情に応じた、通学区域の弾力的な運用を図ります。						
計画目標	継続実施						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H24. 取組結果	個々の児童生徒の事情に応じた就学指定校変更・区域外就学制度を、適切に運用しました。	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H24. 報告事項	○例年どおり実施 ○通学区域の設定は、各学校の施設規模や自治会・子ども会等とのつながりなど、さまざま要素が関係すること。 ○一部の保護者からは選択制を望む声がある。						
H25. 事業計画	個々の児童生徒の事情に応じて、就学指定校変更・区域外就学制度を適切に運用していきます。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫支出金	県支出金	その他	
		H22決算	0	0	0	0	0
		H23決算	0	0	0	0	0
		H24決算	0	0	0	0	0
H25予算	0	0	0	0	0		

31	中学校給食の導入事業	担当課	学校教育課
事業内容	中学校給食の在り方や手法について検討を進め、導入を目指します。		
計画目標	給食実施		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			

H24. 取組 結果	中学校給食導入に向けた研究を行うとともに、 スクールランチを継続実施しました。	事業評価	B・Cの理由					
		—	スクールランチの利用は定着していますが、厳しい財政 状況等、さらなる検証が必要な状況により、中学校給食 の早期の実施は困難です。					
H24. 報告 事項	○中学校給食導入に向けた研究を行うとともに、スクールランチを継続実施しました。							
H25. 事業 計画	中学校給食導入に向けた研究を行うとともに、 スクールランチを継続実施。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	1,199	0	0	0	1,199	○
		H23決算	1,717	0	0	0	1,717	○
		H24決算	2,027	0	0	0	2,027	
H25予算	2,092	0	0	0	2,092			

32	教育研究、研修の充実	担当課	指導室					
事業 内容	小・中学校に対する教育指定研究や教職員への研修等を計画的に推進し、教職員の資質及び指導力の向上を図ります。							
計画 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教育研究指定校小学校 6校、中学校 2校 ・学習指導訪問 小・中対象教員 48名 							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組 結果	<ul style="list-style-type: none"> ・教育研究指定校 小学校 3校、中学校 1校 ・学習指導訪問 小・中対象教員 57名 	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告 事項	<ul style="list-style-type: none"> ○変更点等 ・3年間の継続指定研究となり、24年度は1校の報告会が開催された。 ・初任から3年目までの57名の教員を対象に、指導主事による学習指導訪問を実施。 ○課題 ・各校ともに研究テーマを設定し、学校全体で取り組んでいる。 ・今後、新規採用者が多くなり、現数指導主事では対応が難しい。 							
H25. 事業 計画	<ul style="list-style-type: none"> ・教育研究指定校 小学校 4校、中学校 1校 ・学習指導訪問 小・中対象教員 約50名 	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	810	0	0	0	810	
		H23決算	780	0	0	0	780	
		H24決算	634	0	0	0	634	
H25予算	644	0	0	0	644			

33	学習活動支援事業	担当課	指導室
事業 内容	小学校低学年において、集団生活への適応と基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、基礎・基本の確実な定着を図り、学習に取り組む姿勢をつくるため、指導補助員の配置及び小学校1・2年生の35人学級を実施します。また、中学校についても、学習支援及び集団生活への適応を図るために指導補助員を配置します。		
計画 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・指導補助員 小学校9校、中学校4校に17名配置 ・小学校低学年35人学級実施 (非常勤講師9名配置) 		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			
H24. 取組 結果	<ul style="list-style-type: none"> ・指導補助員 小学校9校、中学校4校に17名配置 ・小学校低学年35人学級実施 (非常勤講師4名配置) 	事業評価	B・Cの理由
		A	

H24. 報告事項	○例年どおり実施 ○課題 ・雇用に関して年齢や雇用年数などの設定が必要になっている。 ・教員免許更新制度の関係もあり、ニーズにあった人材が不足している。 ○学校現場では様々な児童生徒の対応に、人手が必要である。きめ細やかな指導の充実を図る上でも継続していきたい。							
H25. 事業計画	・指導補助員 小学校9校、中学校4校に15名配置 ・小学校低学年35人学級実施 (非常勤講師3名配置) ・小学校教科担当制に係る非常勤講師の配置 (非常勤講師1名配置)	予算額・財源内訳(単位:千円)						重要 施策
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	30,032	0	0	0	30,032	
		H23決算	28,575	0	1,027	0	27,548	
H24決算	28,595	0	0	0	28,595			
H25予算	38,271	0	0	0	38,271			

34	移動教室推進事業	担当課	指導室
事業内容	・自然教室推進事業・・・図書館・子ども科学館における移動教室 ・ふれあい教育推進事業・・・小・中学校ふれあい教育の推進		
計画目標	・子ども科学館・図書館移動教室 小学校3・4・6年 中学校1年 ・各小中学校のふれあい教育援助		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組結果	・子ども科学館・図書館移動教室 対象: 小学校4・6年 中学校1年 ・小学校3年生の授業は、科学館の職員が学校訪問した ・ふれあい教育推進事業は、補助事業の整理を行い、創意ある学校づくり推進事業交付金の一環として実施した	事業評価	B・Cの理由
		A	

H24. 報告事項	○小学校3年生の授業を、科学館の職員が学校訪問することで、時間的にも有効に使えることができた。 ○インフルエンザ等、季節によって変更が考えられる。柔軟な対応が必要である。 ○子どもたちが、学校ではできない工作や実験などが体験でき、理科への関心が高まっている。
-----------	---

H25. 事業計画	・子ども科学館・図書館移動教室 対象: 小学校4・6年 中学校1年	予算額・財源内訳(単位:千円)						重要 施策
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	1,796	0	0	0	1,796	
		H23決算	1,890	0	0	0	1,890	
H24決算	1,418	0	0	0	1,418			
H25予算	1,654	0	0	0	1,654			

35	国際及び姉妹都市交流教育推進事業	担当課	指導室
事業内容	・英語教育推進事業・・・外国人英語指導助手配置 ・日本語指導等協力者派遣事業・・・日本語指導等協力者の派遣		
計画目標	・英語指導助手配置 小学校180日 中学校360日 ・日本語指導者派遣 小学生9校、25人 中学生4校、15人		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組結果	・英語指導助手配置 小学校220日 中学校360日 ・日本語指導者派遣(平成24年5月1日現在) 小学生27人、7校 中学生3人、2校	事業評価	B・Cの理由
		A	

H24. 報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ○変更点等 <ul style="list-style-type: none"> ・英語指導助手配置については例年どおり実施。 ・日本語指導者派遣について対象児童生徒数によって、時間数が変更される。 ○事業予算が決定している中で、対象児童生徒が年々多くなってきている。一人に係る実施時間数を調整する必要がある。また、子どもに対して実施しているが保護者に対する支援も必要ではないか。 ○英語教育については、学習指導要領にも明記されている中、配置日数等検討していきたい。 							
H25. 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・英語指導助手配置 小学校220日 中学校360日 ・日本語指導者派遣 小学生8校、34人 中学生3校、5人 	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	11,349	0	0	0	11,349	
		H23決算	14,255	0	2,893	0	11,362	
		H24決算	14,218	0	0	0	14,218	
H25予算	14,343	0	0	0	14,343			

36	文化教育推進事業	担当課	指導室、教育センター
事業内容	児童生徒による文化活動や音楽鑑賞の文化行事に対して助成を行い、児童生徒の豊かな情操や感性を培う体験の場を提供します。		
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校演劇鑑賞会 参加児童897人(6年生) ・小学校音楽鑑賞会 参加児童934人(5年生) ・中学校演劇発表会 参加生徒200人 保護者等参観者200人 ・中学校音楽会 参加生徒280人 保護者等参観者600人 ・中学校美術展 ・理科展 ・読書感想文コンクール ・校内書道コンクール 		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校演劇鑑賞会 参加児童942人(6年生) ・小学校音楽鑑賞会 参加児童942人(6年生) ・中学校演劇発表会 参加生徒63人 保護者等参観者約230人 ・中学校音楽会 参加生徒284人 保護者等参観者約900人 ・中学校美術展 ・中学校理科展 	事業評価	B・Cの理由
		A	

H24. 報告事項	美術展 ○開催時期を工夫し、対象作品の表現に多様性を持たせました。 ○生徒が創作に取り組む時間の確保に難しさがあります。 ○全体集計はしていませんが、作品への感想アンケートを閲覧者に実施し、出品者へフィードバックしています。
-----------	---

H25. 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校演劇鑑賞会 参加児童約921人(6年生) ・小学校音楽鑑賞会 参加児童約881人(5年生)、921人(6年生) ・中学校演劇発表会 参加生徒約100人 保護者等参観者約200人 ・中学校音楽会 参加生徒約300人 保護者等参観者約600人 ・中学校美術展 ・中学校理科展 ・中学校読書感想文コンクール ・中学校校内書道コンクール 	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	3,393	0	0	0	3,393	
		H23決算	3,440	0	0	0	3,440	
		H24決算	3,640	0	0	0	3,640	
H25予算	3,736	0	0	0	3,736			

37	情報教育推進事業	担当課	指導室
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・情報教育の推進 ・小学校児童指導用コンピュータの配置 ・中学校生徒指導用コンピュータの配置 ・学校図書館教育用コンピュータの配置 ・小学校教職員用コンピュータの配置 ・中学校教職員用コンピュータの配置 		
計画目標	<p><教育用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校PC室 各41台 (大山小14台) ・石田小学校図書館用PC PC1台 ・中学校PC室 各42台 (伊中第2PC室41台) ・小中学校可動用PC 各3台導入 (大山小1台) <p><教職員用></p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校329台 中学校183台 		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組結果	<p><教育用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校PC室 各41台 (大山小14台) ・石田小学校図書館用PC PC1台 ・中学校PC室 各42台 (伊中第2PC室41台) ・小中学校可動用PCを各3台 (大山小1台) <p><教職員用></p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校329台 中学校183台 	事業評価	B・Cの理由
		A	

H24. 報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ○<教育用>変更点はなし。 ○<教職員用>機器の入替え (小学校60台 中学校30台)、校務支援システムの導入及び一部運用開始。 ○機器は年々古くなり、新しい機器への変更が望まれている。 ○情報教育推進のために、今後もより良い環境整備を検討していきたい。
-----------	--

H25. 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・情報教育の推進 ・小学校児童指導用コンピュータの配置 ・中学校生徒指導用コンピュータの配置 ・学校図書館教育用コンピュータの配置 ・小学校教職員用コンピュータの配置 ・中学校教職員用コンピュータの配置 ・校務支援システムに係る研修会の実施 	予算額・財源内訳(単位:千円)					重要施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	125,942	0	0	0		125,942
		H23決算	110,916	0	0	0		110,916
		H24決算	88,161	0	0	0		88,161
H25予算	83,672	0	0	0	83,672			

38	創意ある学校づくり推進事業	担当課	指導室
事業内容	各学校における、創意工夫を生かした特色ある教育活動の展開 (「開かれた学校」や「総合的な学習の時間」の取組) と、学校・家庭・地域社会が連携協力 (「地域連絡会」の運営) する中で地域を挙げて子どもを育む教育を充実します。		
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「総合的な学習の時間」等における地域住民の参加者数 年間延べ約4,500人 ・「学校へ行こう週間」を年度内に1~2週間実施 ・「学校地域連絡会」を開催し、地域の方々の意見を学校経営に反映 		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・「総合的な学習の時間」等における地域住民の指導協力者数 (年間延べ約9,000人) ・「学校へ行こう週間」を年度内に1週間程度実施 ・「学校地域連絡会」を開催し、地域の方々の意見を学校経営に反映 	事業評価	B・Cの理由
		A	

H24. 報告事項	<p>○各学校において、様々なふれあい体験活動等を実施し、多く地域の方に御協力をいただいた。 ○指導協力者、「学校へ行こう週間」など、地域の方々が学校に協力しやすい日程の検討については引き続き行っていく。 ○様々な広報を使い各校での活動をアピールしていく必要があります。</p>							
H25. 事業計画	<p>・「総合的な学習の時間」等における地域住民の指導協力者数（年間延べ約9,000人） ・「学校へ行こう週間」を年度内に1週間程度実施 ・「学校地域連絡会」を開催し、地域の方々の意見を学校経営に反映</p>	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	4,362	0	0	0		4,362
		H23決算	4,341	0	0	0		4,341
		H24決算	4,890	0	0	0		4,890
H25予算	4,322	0	0	0	4,322			

39	部活動推進事業	担当課	指導室
事業内容	<p>中学校における部活動の振興を図るため、指導協力者を各中学校に派遣するとともに、生徒の各種大会への参加及び大会の運営について中学校体育連盟に対し助成します。</p>		
計画目標	継続実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組結果	<p>・専門的な技術を有する者を部活動指導協力者として派遣し、中学校部活動の活性化を図る。 合計4中学校20名の予算で実施 ・全国関東大会生徒派遣旅費等助成 ・伊勢原市中学校体育大会運営助成</p>	事業評価	B・Cの理由
		A	

H24. 報告事項	<p>○変更点等 ・部活動指導協力者について、学校・保護者から専門性の高い指導者の派遣が要望されているが、予算削減のおり謝礼を支払う人数を減らし活動保険のみでの対応をしている。 ・県中学校総合体育大会開催協力については、8年に1度のローテーションのため24年度はなし。 ・その他の事業の変更点はありません。 ○部活動指導協力者について多くの部活動が存在する中で、数を制限していくことが難しい。保険のみの登録も多くなってきているため、今後実施内容の検討が必要である。</p>		
-----------	--	--	--

H25. 事業計画	<p>・専門的な技術を有する者を部活動指導協力者として派遣し、中学校部活動の活性化を図る。 合計4中学校51名の予算で実施（部活動指導協力者16名、部活動指導協力者災害補償保険料35名） ・全国関東大会生徒派遣旅費等助成 ・伊勢原市中学校体育大会運営助成</p>	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	7,415	0	810	0		6,605
		H23決算	8,017	0	730	0		7,287
		H24決算	6,230	0	0	0		6,230
H25予算	6,831	0	0	0	6,831			

40	各学校との連携	担当課	福祉総務課
事業内容	<p>「総合的な学習の時間」等を活用した、中学校や高等学校等での福祉のシニア体験の授業や、学習活動の一環として行われている高校生の独居老人訪問等に対する情報提供等を通じて、市内各学校の多様な学習活動を支援します。</p>		
計画目標	継続実施		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			

H24. 取組 結果	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の「総合的な学習の時間」において、フィールドワークとして福祉について学びたいと希望した生徒に対し福祉行政に関する説明を行った。 ・小・中学校の児童生徒を対象に、社会における連帯感と思いやり、助け合いの心を基調とした福祉意識の高揚を図ることを目的として福祉作文の募集を行った。 ・インスタントシニアは、小中学校からの貸出希望はなかったが、東海大学学生の職場体験で活用した。 	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告 事項	<p>○例年通りの実施。</p> <p>○課題</p> <p>・バリアフリーのまちづくりを考える一環として、H14年度からインスタントシニアの貸出しを行っている。当初は、小中学校での利用があったが、ここ数年では、小中学校への貸出しはなかった。購入後10年が経過しており、教材はまだ使用できる状態だが、指導者向けの説明ビデオを見られる環境が少なくなっていることから、積極的なPRは行っていない。（ビデオをDVDにコピーする作業等が必要）</p>							
H25. 事業 計画	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の「総合的な学習の時間」等への対応。インスタントシニアの貸出し含む。 ・小・中学校の児童生徒を対象とした、社会における連帯感と思いやり、助け合いの心を基調とした福祉意識の高揚を図ることを目的とする福祉作文募集事業の実施。 	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	0	
		H24決算	0	0	0	0	0	
H25予算	0	0	0	0	0			

41	伊勢原市子ども読書活動推進事業	担当課	図書館・子ども科学館					
事業 内容	伊勢原市における子ども読書活動の推進に向けて、具体的な施策事業を市民協働により実践することを通じて、子ども読書活動に関する法律に基づく計画を推進する。							
計画 目標	定期的に時代や社会情勢に対応した計画の見直しを実施							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組 結果	計画改定を行った。 (所管組織の見直しを含む。)	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告 事項	<p>○事務局を社会教育課より図書館・子ども科学館に変更。</p> <p>○伊勢原市子ども読書活動推進指針(平成25年4月～30年3月)を作成した。</p> <p>○ボランティア等人材育成が今後の課題。</p>							
H25. 事業 計画	<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会120回 ・ボランティア活動場の提供 ・協働事業の実施 ・児童文学講座の開催 	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	0	
		H24決算	88	0	0	0	88	
H25予算	90	0	0	0	90			

42	特別支援教育推進事業	担当課	教育センター				
事業 内容	<p>支援を必要とする児童生徒が、それぞれの状況に適した教育を受けられるよう適切な就学指導や通学援助等を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市就学指導委員会の開催 ・伊勢原養護学校通学援助の実施 ・特別支援学級の設置 						
計画 目標	個に応じた特別支援教育の充実に向けて継続実施						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							

H24. 取組 結果	支援を必要とする児童生徒が、それぞれの状況に適した教育を受けられるよう適切な就学指導や通学援助等を行いました。 ・市就学指導委員会4回開催 ・伊勢原養護学校通学援助の実施 ・特別支援学級の設置	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H24. 報告 事項	通学援助 ○運行車両を更新しました。 ○利用回数に限られてしまい、希望に添えないことがあります。 ○アンケートは実施していませんが、利用回数を増やしたい、という要望はいただくことがあります。						
H25. 事業 計画	支援を必要とする児童生徒が、それぞれの状況に適した教育を受けられるよう適切な就学指導や通学援助等を行います。 ・市就学指導委員会4回開催 ・伊勢原養護学校通学援助の実施 ・特別支援学級の設置	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
		H22決算	1,819	0	0	0	1,819
		H23決算	1,749	0	0	0	1,749
		H24決算	2,499	0	0	0	2,499
H25予算	2,680	0	0	0	2,680		

43	特別支援教育環境整備事業	担当課	教育センター				
事業 内容	支援を必要とする児童生徒が適切な教育を受けられるよう、特別支援学級介助員を配置します。						
計画 目標	個に応じた特別支援教育環境整備の充実に向けて継続実施						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H24. 取組 結果	支援を必要とする児童生徒が適切な教育を受けられるよう、特別支援学級介助員を配置しました。 ・就学者 小：131人 中：52人 ・学級数 小：29学級 中：11学級 ・介助員 小：14人/日 中：4人/日	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H24. 報告 事項	○学期毎に行う介助員対象の研修会を通して、介助員の資質向上に努めました。 ○支援を必要とする児童生徒の増加、また、校外学習等様々な学習形態に対応するためには、人と時間の配置にゆとりがない状況です。						
H25. 事業 計画	支援を必要とする児童生徒が適切な教育を受けられるよう、特別支援学級介助員を配置します。 ・就学者 小：147人 中：56人 ・学級数 小：33学級 中：11学級 ・介助員 小：14人/日 中：4人/日	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
		H22決算	19,483	0	0	0	19,483
		H23決算	22,977	0	0	0	22,977
		H24決算	23,113	0	0	0	23,113
H25予算	23,289	0	0	0	23,289		

44	特別支援教育就学奨励事業	担当課	学校教育課		
事業 内容	特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者に対し、子どもの学習活動にかかる費用の一部を助成し、保護者の経済的負担の軽減並びに障害児教育の推進を図ります。				
計画 目標	継続実施				
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)					
H24. 取組 結果	特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者の経済状況に応じて、学用品費等必要な経費の一部について援助を行いました。	事業評価	B・Cの理由		
		A			
H24. 報告 事項	例年どおり実施				

H25. 事業 計画	特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者の経済状況に応じて、学用品費等必要な経費の一部について援助を行います。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	2,303	1,151	0	0	1,152	
		H23決算	2,180	779	0	0	1,401	
		H24決算	2,252	806	0	0	1,446	
H25予算	2,576	867	0	0	1,709			

45	就学相談	担当課	教育センター
事業 内容	支援を必要とする児童生徒の就学及び進学に関わる相談を、随時、保護者と行います。		
計画 目標	就学相談の充実に向けて継続実施		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			

H24. 取組 結果	支援を必要とする児童生徒の就学及び進学に関わる相談を、随時、保護者と行いました。	事業評価	B・Cの理由
	新就学時相談 ・特別支援学校入学 ・特別支援学級入学 ・通常の学級入学	A	
H24. 報告 事項	○保護者面談の後、関係機関との連携をより密にし、より多くの情報を得るように努めました。 ○相談を働きかけても保護者の意向次第で、具体的な相談に繋がらないケースがあります。		

H25. 事業 計画	支援を必要とする児童生徒の就学及び進学に関わる相談を、随時、保護者と行います。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	0	
		H24決算	0	0	0	0	0	
H25予算	0	0	0	0	0			

46	療育相談	担当課	子ども家庭相談室
事業 内容	専門相談員が、心身の発達に遅れや心配のある乳幼児等に関する相談に応じ、具体的な支援を行います。		
計画 目標	相談支援件数 2, 200件		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			

H24. 取組 結果	(事業予定) 継続実施 相談支援件数1, 707件	事業評価	B・Cの理由
		A	発達障害を疑う幼児は増加傾向にある。ライフステージを通しての支援体制が課題
H24. 報告 事項	○利用者に見やすいよう、ホームページの掲載内容を更新しました。		

H25. 事業 計画	継続実施	事業費内訳						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	10,106	0	0	0	10,106	○
		H23決算	10,169	0	0	0	10,169	○
		H24決算	10,310	0	0	0	10,310	○
H25予算	10,590	0	0	0	10,590	○		

47	教育センターの教育相談事業	担当課	教育センター					
事業内容	伊勢原市内に在住、在学の児童生徒についての教育相談（学校不適応・家庭教育等）を、本人や家族又は教職員などから受け付けます。							
計画目標	相談事業の充実に向けて継続実施							
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）								
H24. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・教育センター教育相談（教育相談員3.8人/日） ・来所相談、電話相談、訪問相談、巡回相談等を実施 ・学校訪問教育相談研修会7回 ・支援教育研修会7回 ・学生ボランティア派遣35人 ・小中学校スクールカウンセラーによる教育相談 	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告事項	<p>○所内の情報共有の仕組みを整え、対応の質の向上を図りました。</p> <p>○児童生徒に関する問題が多様化し、相談件数も増加している中で、現状の体制では、相談ニーズに応需しきれない状況です。</p>							
H25. 事業計画	伊勢原市内に在住、在学の児童生徒についての教育相談（学校不適応・家庭教育等）を、本人や家族、教職員などから受け付けます。また、学校における教育相談の充実を図ります。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	5,530	0	0	0	5,530	○
		H23決算	5,224	0	0	0	5,224	○
		H24決算	5,104	0	0	0	5,104	○
		H25予算	5,464	0	0	0	5,464	○

48	適応指導教室事業	担当課	教育センター					
事業内容	不登校児童生徒のための適応指導教室を運営します。							
計画目標	適応指導教室経営の充実に向けて継続実施							
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）								
H24. 取組結果	<p>適応指導教室へ通室する不登校児童生徒のそれぞれの成長を、様々な活動を通して支援しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適応指導教室スタッフ4人 	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告事項	<p>○適応指導教室スタッフと教育相談員との会議を定期的に行い、情報の共有と方向性の確認を行いました。</p> <p>○不登校児童生徒を取り巻く環境が複雑になる中、対応する職員の数や活動スペースが限られている状況です。</p>							
H25. 事業計画	適応指導教室へ通室する不登校児童生徒のそれぞれの成長を、様々な活動を通して支援します。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	3,814	0	0	0	3,814	
		H23決算	3,982	0	0	0	3,982	
		H24決算	3,868	0	0	0	3,868	
		H25予算	4,079	0	0	0	4,079	

49	スクールカウンセラーの配置	担当課	教育センター
事業内容	児童生徒のカウンセリング及び教職員・保護者への助言・援助を行います。		
計画目標	小学校へのスクールカウンセラー配置による充実・継続実施		
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）			

H24. 取組 結果	小中学校スクールカウンセラーによる児童生徒のカウンセリング及び教職員・保護者への助言・援助を行いました。 ・市費小学校スクールカウンセラー10校 ・県費中学校スクールカウンセラー4校	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告 事項	○市費小学校スクールカウンセラーを10校全てに配置しました。 ○スクールカウンセリング業務は、教職員との連携が不可欠ですが、相談件数の増加や教職員の多忙化により、その時間の確保が難しくなっています。							
H25. 事業 計画	小中学校スクールカウンセラーによる児童生徒のカウンセリング及び教職員・保護者への助言・援助を行います。 ・市費小学校スクールカウンセラー10校 ・県費中学校スクールカウンセラー4校	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	320	0	0	0	320	○
		H23決算	1,608	0	0	0	1,608	○
		H24決算	1,802	0	0	0	1,802	○
H25予算	1,802	0	0	0	1,802	○		

50	(再) 子ども科学館事業	担当課	図書館・子ども科学館					
事業 内容	子どもたちに、科学の知識と豊かな創造性を育むため、様々な科学的現象を体験する機会を提供して興味を喚起するとともに、子どもたちの「科学する心」を育てます。 ・展示事業 ・プラネタリウム事業 ・科学教育普及事業							
計画 目標	・科学教育普及事業 500事業 ・夏休み自由研究相談室の開催日数 30日 ・青少年創意くふう展の開催回数 1回							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組 結果	・科学教育普及事業 597事業 ・夏休み自由研究相談室の開催日数 30日 ・夏休み自由研究展示会の開催回数 1回 ・幼児対象のシャボン玉ショーの開催回数 12回 ・中学校科学部と東海大学との協働事業 1回	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告 事項	○企業・大学との連携をはかり、新たな事業を展開した。また図書館と連携した事業を展開した。 ○入館者の低年齢化が進み、小学校高学年、中学生向けの展示物、事業が難しくなった。							
H25. 事業 計画	・科学教育普及事業 500事業 ・夏休み自由研究相談室の開催日数 30日 ・夏休み自由研究展示会の開催回数 1回 ・幼児対象のシャボン玉ショーの開催回数 6回 ・中学校科学部と東海大学との協働事業 1回	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	1,196	0	0	0	1,196	
		H23決算	1,228	0	0	0	1,228	
		H24決算	983	0	0	0	983	
H25予算	967				967			

2-③思春期の健全な成長のための環境整備

<施策の対応方針>

- 思春期で抱える悩みへの相談事業に取り組んでいきます。
- 子どもにとって悪影響が懸念される情報やメディア等の扱いについて、関係業界への自主的な措置を働きかけていきます。
- 子どもの非行防止に取り組んでいきます。
- 学校や関係機関と連携しながら、思春期世代の健全育成に取り組めます。
- 食育を通じて、心身の健全育成を図ります。

51	街頭指導活動の実施	担当課	青少年課	
事業内容	青少年の非行を未然に防止するため、街頭において、喫煙や不良交友などの問題行動を発見し、助言・指導を行います。			
計画目標	街頭指導回数 210回			
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)				
H24. 取組結果	街頭指導回数 232回 指導件数 71件	事業評価	B・Cの理由	
	A			
H24. 報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ○例年どおり実施 ○事実上、口頭指導にとどまらざるを得ない。非行の潜在化が懸念されている。 ○住民から、喫煙・たむろの情報が時々寄せられる。 			
H25. 事業計画	例年どおり実施。	予算額・財源内訳(単位：千円)		
	予算組替えを実施。 H24まで 青少年相談室運営費	年度	総事業費	事業費内訳
	①青少年相談			国庫支出金 県支出金 その他 一般財源
	②子ども・若者育成支援強調月間	H22決算	4,260	0 264 0 3,996
	③非行防止活動	H23決算	4,031	0 300 0 3,731
	H25から「非行防止活動推進事業費」を新設	H24決算	4,048	0 245 0 3,803
	H25予算	1,708	0 188 0 1,520	

52	啓発活動の推進	担当課	青少年課
事業内容	環境浄化活動の実施、未成年者喫煙防止活動の実施、薬物乱用防止、非行防止対策シリーズの配布、青少年の非行防止に取り組む強調月間の推進等		
計画目標	継続実施 ※平成22年度より名称変更 「青少年の非行・被害防止強調月間」		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			
H24. 取組結果	非行被害防止街頭啓発キャンペーンの実施 7月3日(火)伊勢原駅 67名従事 7月10日(火)愛甲石田駅 46名従事 啓発物品を配布。	事業評価	B・Cの理由
	A		
H24. 報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ○例年どおり実施 ○天候に左右される。今年度風雨により従事協力者に苦勞をかけた。 ○風雨にも関わらず、多くの協力者の従事をいただいた。 		

H25. 事業計画	非行被害防止街頭啓発キャンペーン		予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策
	7月 3日(水) 伊勢原駅 7月10日(水) 愛甲石田駅	年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	0	
		H24決算	0	0	0	0	0	
H25予算	0	0	0	0	0			

53	環境浄化活動の実施	担当課	青少年課
事業内容	■有害図書等社会環境実態調査：有害図書類陳列調査 ■カワボックス等の実態調査：青少年がカワボックスを利用する場合、飲酒・喫煙行為をさせないよう店の管理者に協力を要請 ■有害看板の撤去：青少年指導員と協力して、青少年にとって有害な看板を含む違法看板を撤去する ■その他：看板、市広報紙による啓発		
計画目標	継続実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組結果	神奈川県社会教育実態調査として、書店やカラオケ店等の実態を調査 青少年指導員と協力して、青少年にとって有害な看板を含む違法看板を撤去	事業評価	B・Cの理由
		A	

H24. 報告事項	○例年どおり実施 ○カラオケ店で、廊下から室内が曇りガラスで見にくい店舗があるため、県担当へ指導を要望しているが、なかなか改善されない。
-----------	---

H25. 事業計画	例年どおり、社会環境実態調査を実施。		予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策
	年度	総事業費	事業費内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他	一般財源		
	H22決算	0	0	0	0	0		
	H23決算	0	0	0	0	0		
	H24決算	0	0	0	0	0		
H25予算	0	0	0	0	0			

54	未成年者喫煙防止活動の実施	担当課	青少年課
事業内容	■パンフレット等の配布：市内小・中・高校生にタバコの害に関するちらしを配布 ■その他：看板、市広報紙等による啓発		
計画目標	継続実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組結果	市内小・中学生、高校生にタバコの害に関するちらし9,366部を配付 子ども・若者育成支援強調月間事業にて、啓発物品を配付。	事業評価	B・Cの理由
		A	

H24. 報告事項	○裏面にインターネット啓発を加えた。産業フェアは前年度のみの開催 ○未成年者の喫煙が、潜在化する傾向にある ○住民から、喫煙・たむろの情報が時々寄せられる。
-----------	--

H25. 事業計画	市内小・中学生、高校生にタバコの害に関するちらしを配付 子ども・若者育成支援強調月間事業にて、啓発活動を予定。		予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策
	年度	総事業費	事業費内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他	一般財源		
	H22決算	0	0	0	0	0		
	H23決算	0	0	0	0	0		
	H24決算	0	0	0	0	0		
H25予算	0	0	0	0	0			

55	薬物乱用防止の推進	担当課	青少年課
事業内容	薬物乱用防止パンフレットを作成し、市内中学生に配布するとともに、薬物乱用防止のビデオを学校に貸し出し、有害性を訴え、薬物の乱用を防止します。また、各種薬物乱用防止キャンペーンへの協力を行います。		
計画目標	継続実施		

A (計画どおり進捗した) **B** (やや遅れている) **C** (ほとんど進捗していない)

H24. 取組結果	市内中学生に啓発チラシ3,141部を配布し、薬物乱用防止や有害性をPR。 「ダメ。ゼッタイ。」街頭キャンペーンへ参加	事業評価	B・Cの理由
		A	

H24. 報告事項	○裏面に脱法ハーブの危険性を記述した。 ○脱法ハーブの法規制が追いついていない。 ○脱法ハーブへの心配等、関心が高い。
-----------	---

H25. 事業計画	薬物被害の低年齢化も考慮し、チラシの配付範囲を小学生にも拡大。 市内小・中学生に啓発チラシを配布し、薬物乱用防止や有害性をPR。 「ダメ。ゼッタイ。」街頭キャンペーンへ参加	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0		0
		H23決算	0	0	0	0		0
		H24決算	0	0	0	0		0
H25予算	0	0	0	0	0			

56	非行防止の啓発	担当課	青少年課
事業内容	未成年の喫煙、家出、薬物乱用防止などのちらしを市各種行事や会議等に配布し、啓発を進めます。		
計画目標	継続実施		

A (計画どおり進捗した) **B** (やや遅れている) **C** (ほとんど進捗していない)

H24. 取組結果	未成年の喫煙、薬物乱用などの防止を呼びかけるちらしを市各種行事や会議等で配布	事業評価	B・Cの理由
		A	

H24. 報告事項	No.54、No.55と同様
-----------	----------------

H25. 事業計画	未成年の喫煙、薬物乱用などの防止を呼びかけるちらしを市各種行事や会議等で配布	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0		0
		H23決算	0	0	0	0		0
		H24決算	0	0	0	0		0
H25予算	0	0	0	0	0			

57	青少年の非行防止に取り組む強調月間の推進	担当課	青少年課
事業内容	■明るい家庭づくりパネル展：非行防止、社会環境浄化、家庭教育等啓発のパネルを展示 ■非行被害防止街頭啓発キャンペーン：伊勢原駅等において関係諸団体等が非行防止や薬物乱用防止を呼びかける。 ■その他：市広報、ちらし、啓発物品による啓発		
計画目標	継続実施 ※平成22年度より名称変更 「青少年の非行・被害防止強調月間」		

A (計画どおり進捗した) **B** (やや遅れている) **C** (ほとんど進捗していない)

H24. 取組 結果	明るい家庭づくりパネル展を実施 非行被害防止街頭啓発キャンペーンを実施	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告 事項	○産業フェアは前年度の記念大会のみの開催 ○非行被害防止街頭啓発キャンペーンは、天候に左右される。今年度風雨により従事協力者に苦勞をかけた。 ○風雨にも関わらず、多くの協力者の従事をいただいた。							
H25. 事業 計画	明るい家庭づくりパネル展を実施 非行被害防止街頭啓発キャンペーンを実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	0	
		H24決算	0	0	0	0	0	
H25予算	0	0	0	0	0			

58	ヤングテレホン相談事業	担当課	青少年課					
事業 内容	対人関係や身体・健康・性についてなど、子ども達の様々な悩みに対する電話相談を実施します。							
計画 目標	相談受理件数 70件							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組 結果	青少年本人からの悩みや相談に対し、青少年相談員が助言を行った。 相談受理件数 182件 従来の電話・面接に加えて、電子メールによる相談体制を整えた。	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告 事項	○平成25年4月からメール相談が開始できるよう準備を行った。 ○現状では、受付時間が平日の日中に限られる。							
H25. 事業 計画	メール相談を開設 予算組替えを実施。 H24まで ヤングテレホン相談事業費 H25から 子ども・若者相談事業費 (青少年相談と統合)	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	2,059	0	0	0	2,059	
		H23決算	2,046	0	0	0	2,046	
		H24決算	2,054	0	0	0	2,054	
H25予算	4,281	0	0	0	4,281			

59	青少年相談室の相談事業	担当課	青少年課		
事業 内容	学校生活や不登校、家庭関係、不良行為等、子どもたちが抱える様々な悩みや問題に対処し、効果的に解決していくため、青少年相談室が相談事業を行い、子どもたちの健全育成を図ります。				
計画 目標	相談受理件数 50件				
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)					
H24. 取組 結果	青少年の保護者等からの悩みや相談に対し、青少年相談員が助言を行った。 相談受理件数 11件 従来の電話・面接に加えて、電子メールによる相談体制を整えた。	事業評価	B・Cの理由		
		A			
H24. 報告 事項	○平成25年4月からメール相談が開始できるよう準備を行った。 ○現状では、受付時間が平日の日中に限られる。				

H25. 事業 計画	メール相談を開設	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
	予算組替えを実施。 H24まで 青少年相談室運営費 H25から 子ども・若者相談事業費 (ヤングテレホを統合)	年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	4,260	0	264	0		3,996
		H23決算	4,031	0	300	0		3,731
		H24決算	4,048	0	245	0		3,803
H25予算	4,281	0	0	0	4,281			

60	思春期栄養改善事業	担当課	学校教育課					
事業 内容	中学生を対象に、児童生徒が望ましい食習慣を身に付け、食事を通じて自らの健康管理ができるようにするため、中学校での骨密度測定等を実施し、栄養改善を推進します。							
計画 目標	中学校4校 各1学年							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組 結果	望ましい食習慣を身に付けてもらうため、4中学校の2年生を対象に、骨密度測定を取り入れた栄養指導を行いました。	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告 事項	○6/12,13 伊勢原中学校 265名 7/5 中沢中学校 158名 11/13 山王中学校 189名 12/5 成瀬中学校 225名 骨密度測定及び栄養教育を中学2年生837名に実施した。 ○あわせて食生活に関するアンケート調査を実施し、栄養指導のための資料として学校に報告した。							
H25. 事業 計画	望ましい食習慣を身に付けてもらうため、4中学校の2年生を対象に、骨密度測定を取り入れた栄養指導を行います。	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	48	0	0	0		48
		H23決算	133	0	0	0		133
		H24決算	91	0	0	0		91
H25予算	154	0	0	0	154			

61	思春期食育事業	担当課	健康管理課					
事業 内容	高校生を対象に、児童生徒が望ましい食習慣を身に付け、食事を通じて自らの健康管理ができるようにするため、高等学校での骨密度測定等を実施し、栄養改善を推進します。							
計画 目標	骨密度測定、食教育及び食事相談を実施 高等学校2校							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組 結果	高等学校1校に骨密度測定、食教育及び食事相談を実施。	事業評価	B・Cの理由					
		—	高校側が骨量測定の受け入れが難しく、学校数を増やすことが難しかった。					
H24. 報告 事項	○会場のレイアウトや展示物を見やすいように変更しました。							
H25. 事業 計画	高等学校1校に骨密度測定、食教育及び食事相談を実施。	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	219	109	0	0		110
		H23決算	196	98	0	0		98
		H24決算	91	0	0	0		91
H25予算	92	0	0	0	92			

62	(再) 中学校給食の導入事業	担当課	学校教育課					
事業内容	中学校給食の在り方や手法について検討を進め、導入を目指します。							
計画目標	給食実施							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組結果	中学校給食導入に向けた研究を行うとともに、スクールランチを継続実施しました。	事業評価	B・Cの理由					
		—	スクールランチの利用は定着していますが、厳しい財政状況等、さらなる検証が必要な状況により、中学校給食の早期の実施は困難です。					
H24. 報告事項	○中学校給食導入に向けた研究を行うとともに、スクールランチを継続実施しました。							
H25. 事業計画	中学校給食導入に向けた研究を行うとともに、スクールランチを継続実施。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	1,199	0	0	0	1,199	○
		H23決算	1,717	0	0	0	1,717	○
		H24決算	2,027	0	0	0	2,027	
H25予算	2,092	0	0	0	2,092			

2-④子どもの健全育成の支援

<施策の対応方針>

- 青少年センターや公民館等、子どもたちの活動の場の活性化を図ります。
- 次代を担う子どもの自立心と創造性を培い、「生きる力」を身につける青少年健全育成活動や生涯学習活動を推進します。
- 青少年広場や児童遊園の維持管理を推進し、子どもたちの遊び場の確保に努めます。
- 不登校や引きこもり等を防止し、その解決を図るため、子どもや家庭に対する相談・指導体制を充実します。
- 放課後における児童の居場所づくりや市民ニーズに対応した放課後児童健全育成事業を充実します。
- 図書館や子ども科学館など、子どもが自発的に学び、体験できる場の充実に努めます。

63	青少年センターの管理運営	担当課	青少年課				
事業内容	青少年の社会参加、文化、スポーツ等の諸活動及び青少年育成団体の拠点とします。						
計画目標	市内中心部の青少年学習施設として有効活用						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H24. 取組結果	従来どおり、青少年センターを管理運営 利用者 75,327人	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H24. 報告事項	○施設の耐震補強等、利用者の安全確保が不十分である。また、施設老朽化も懸念される。						
H25. 事業計画	○従来どおり、管理運営	予算額・財源内訳(単位:千円)					
		年度	総事業費				
		事業費内訳					
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	重要 施策	
		H22決算	17,781	0	0	243	17,538
		H23決算	16,913	0	0	220	16,693
		H24決算	16,873	0	0	214	16,659
		H25予算	19,334	0	0	202	19,132

64	青少年広場及び児童遊園の維持管理	担当課	青少年課
事業内容	健全な児童の遊びや活動の場として、維持管理を行います。		
計画目標	地域における青少年の健全育成を推進するため、維持管理の継続実施		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			
H24. 取組結果	従来どおり、管理運営	事業評価	B・Cの理由
		A	
H24. 報告事項	○近隣との関係から、球技を制限した広場があった。		

H25. 事業 計画	従来どおり、管理運営	予算額・財源内訳(単位：千円)						重要 施策
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	8,233	0	0	0	8,233	
		H23決算	8,300	0	0	0	8,300	
		H24決算	8,293	0	0	0	8,293	
H25予算	8,245	0	0	0	8,245			

65	日向ふれあい学習センターの管理運営	担当課	青少年課
事業 内容	市民が自然の中での体験や人との交流を通じて、豊かな人間性や協調性を育むふれあい活動の拠点として、日向ふれあい学習センターの利活用の促進を図ります。		
計画 目標	指定管理者制度の導入により、利用者の利便性向上や満足度の向上		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組 結果	指定管理者(伊勢原市森林組合)が、管理運営を行った(指定期間：平成24年4月1日～平成29年3月31日)。 利用者：4,897人	事業評価	B・Cの理由
		A	

H24. 報告 事項	○施設の耐震補強等、利用者の安全確保が不十分である。また、施設老朽化も懸念される。 ○利用者へのアンケートを実施し、指定管理者が分析している。
------------------	--

H25. 事業 計画	指定管理者による管理を継続。	予算額・財源内訳(単位：千円)						重要 施策
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	10,550	0	0	0	10,550	
		H23決算	10,572	0	0	0	10,572	
		H24決算	10,704	0	0	0	10,704	
H25予算	10,730	0	0	0	10,730			

66	児童館の管理運営	担当課	青少年課
事業 内容	児童に健全な遊びや活動の場を提供するとともに、地域における青少年育成活動の拠点とします。		
計画 目標	・児童に健全な遊びや活動の場を提供 ・地域における青少年育成活動の拠点として、児童に健全な遊びを指導、利用者の拡大		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組 結果	指定管理者(地元自治会)が、児童館13館をそれぞれ管理運営を行った(指定期間：平成24年4月1日～平成29年3月31日)。 利用者 33,951人	事業評価	B・Cの理由
		A	

H24. 報告 事項	○耐震基準を満たす館が3館にとどまっており、施設老朽化も併せ、施設管理が課題である。
------------------	--

H25. 事業 計画	10月より、中央児童館にて放課後子ども教室開設予定。	予算額・財源内訳(単位：千円)						重要 施策
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	15,066	0	0	0	15,066	
		H23決算	11,913	0	0	0	11,913	
		H24決算	13,016	0	0	0	13,016	
H25予算	13,797	0	0	0	13,797			

67	青少年健全育成事業	担当課	青少年課
事業内容	青少年の健全育成を目指して、家庭・学校・地域など子どもを取り巻くあらゆる立場の人々が連携を深め、地域社会の健全化と指導力の向上に努めるため、青少年健全育成組織の育成を図るとともに、地域における育成活動を積極的に推進します。		
計画目標	青少年健全育成団体の育成・支援を推進		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組結果	青少年健全育成団体の育成・支援を推進した。	事業評価	B・Cの理由			
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母親クラブ連絡会 ・ 子ども会育成会連絡協議会 ・ 地区青少年健全育成協議会 ・ 青少年指導員連絡協議会 ・ ジュニアリーダーズクラブ 	A				

H24. 報告事項	<p>○子ども会育成会等、地域の担い手不足が深刻な問題になりつつある。</p> <p>○当該団体が、地域活動での重要な役割を果たしている。</p>				
-----------	---	--	--	--	--

H25. 事業計画	子ども・若者計画策定着手。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
	予算組替えを実施。 ・ 少年地域体験学習を青少年活動推進事業へ移管 ・ 子ども・若者計画策定事業を新設	年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	9,053	875	312	0		7,866
		H23決算	8,516	875	280	0		7,361
		H24決算	8,560	0	236	0		8,324
H25予算	9,802	0	119	0	9,683			

68	青少年活動推進事業	担当課	青少年課
事業内容	学校や年齢の枠を超えた友達づくりを図るとともに、青少年自らの幅広い知識の習得と自己形成のための学習活動を推進します。		
計画目標	地域での青少年のふれあい・体験交流活動の推進 12事業 3,300人		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組結果	自然体験学習事業 元気っ子アンサンブル教室等 10事業 3190人	事業評価	B・Cの理由			
		B				

H24. 報告事項	<p>○青少年自身が多忙であることもあり、なかなか参加できない状況にある。</p> <p>○広域交流ふれあい事業では、新たに綾瀬市が加わり、3市（厚木、伊勢原、綾瀬）で交流しながら研修を実施した。</p>				
-----------	--	--	--	--	--

H25. 事業計画	放課後子ども教室を開設。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
	予算組替えを実施 ・ 少年地域体験学習を統合 ・ 子ども・若者育成支援強調月間を統合 ・ 放課後子ども教室を新設	年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	416	0	139	0		277
		H23決算	432	0	10	0		422
		H24決算	391	0	8	0		383
H25予算	1,671	0	406	0	1,265			

69	公民館事業	担当課	社会教育課
事業内容	各公民館で、青少年向けの公民館事業を実施します。		
計画目標	青少年対象事業 7館 20講座		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組結果	市内7公民館で41講座を実施	事業評価	B・Cの理由					
	<ul style="list-style-type: none"> 中央公民館 10講座 (333名参加) 大山公民館 7講座 (279名参加) 高部屋公民館 4講座 (192名参加) 比々多公民館 8講座 (647名参加) 成瀬公民館 7講座 (212名参加) 大田公民館 3講座 (136名参加) 伊勢原南公民館 4講座 (108名参加) 		A					
H24. 報告事項	<p>○早い時期からの事業周知に努めたことにより、参加者が増加した。(大田公民館)</p> <p>○新たに親子対象の料理講座(父子料理教室・親子でつくるクリスマス料理)を企画し、親と子、親子同士の交流が図れた。(中央公民館)</p> <p>○夏休み講座を1講座増やし、前年に参加者の少なかった講座を別の内容に変更した。(成瀬公民館)</p> <p>○調理設備が不十分であるため、料理教室の内容に限界がある。</p> <p>○どの講座も人気が高く、定員がすぐに埋まってしまうため、定員や回数を増やして欲しいという声がある。</p>							
H25. 事業計画	市内7公民館で39講座を実施予定	予算額・財源内訳(単位:千円)					重要施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	69	0	0	0		69
		H23決算	99	0	0	0		99
		H24決算	98	0	0	0		98
	H25予算	106	0	0	0	106		

70	放課後児童健全育成事業(児童コミュニティクラブ)	担当課	子育て支援課
事業内容	放課後、保護者が就労や病気などで児童の世話をすることができない家庭を対象に、児童が安全に自由に生活できる場として「児童コミュニティクラブ」を開設し、遊びを通じた生活指導を行います。		
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> 市内全小学校区(10校)で実施 計14クラブ、定員720人、入所児童数720人 開所時間の延長 		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組結果	放課後、保護者が就労や病気などで児童の世話をすることができない家庭を対象に、児童が安全に自由に生活できる場として「児童コミュニティクラブ」を開設し、遊びを通じた生活指導を行った。	事業評価	B・Cの理由					
	<ul style="list-style-type: none"> 市内全小学校区(10校)で実施。 計13クラブ 定員670人 平均入所児童数 612人 開所時間 放課後～午後6時30分 土曜日・長期休業日等は、午前8時～午後6時30分 民間事業所(1事業所)に補助金交付を実施 		—	14クラブの開設が目標であるが、新たな活動場所の確保が難しく、実施に至らないため。民間の児童コミュニティクラブへの補助を行いながら、児童の放課後の居場所づくりを進めていく。				
H24. 報告事項	<p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間事業所への補助の充実を検討したが、国県補助が見込めず拡大を行えなかった。財源の確保が課題。 勤務時間が不規則なためか、指導員の確保が難しい。 一部クラブについては、定員を大幅に超える入所となっているが、新たな活動場所の確保が難しい。 							
H25. 事業計画	継続実施	予算額・財源内訳(単位:千円)					重要施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	101,184	0	30,088	28,759		42,337
		H23決算	101,107	0	28,915	26,341		45,851
		H24決算	97,501	0	26,018	27,218		44,265
	H25予算	103,610	0	35,418	27,769	40,423		

71	図書館児童読み聞かせサービス事業	担当課	図書館・子ども科学館				
事業内容	活字離れが進む中で、子どもの読書活動の動機づけを行い、また、子どもと保護者、読み手とのあたたかい交流を図るため、職員や読み聞かせボランティア団体によるおはなし会を開催します。						
計画目標	おはなし会 150回						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H24. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> おはなし会 134回 図書館ボランティア育成講座 1回 児童文学関連一般向き講座 3回 	事業評価	B・Cの理由			B	
H24. 報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ○新規のおはなし会（科学館事業とのコラボや地元高校生とボランティア団体のコラボ）などを実施した。 ○ボランティア自身が後進育成講座を実施できるようになることが今後の課題である。 						
H25. 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> おはなし会 120回 児童文学関係事業実施 	予算額・財源内訳(単位：千円)				重要 施策	
	年度	総事業費	事業費内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
	H22決算	67	0	0	0		67
	H23決算	68	0	0	0		68
	H24決算	88	0	0	0		88
	H25予算	90	0	0	0	90	

72	子ども科学館事業	担当課	図書館・子ども科学館				
事業内容	子どもたちに、科学の知識と豊かな創造性を育むため、様々な科学的現象を体験する機会を提供して興味を喚起するとともに、子どもたちの「科学する心」を育てます。 ・展示事業 ・プラネタリウム事業 ・科学教育普及事業						
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> 科学教育普及事業 500事業 夏休み自由研究相談室の開催日数 30日 青少年創意くふう展の開催回数 1回 						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H24. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> 科学教育普及事業 597事業 夏休み自由研究相談室の開催日数 30日 夏休み自由研究展示会の開催回数 1回 幼児対象のシャボン玉ショーの開催回数 12回 中学校科学部と東海大学との協働事業 1回 	事業評価	B・Cの理由			A	
H24. 報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ○企業・大学との連携をはかり、新たな事業を展開した。また図書館と連携した事業を展開した。 ○入館者の低年齢化が進み、小学校高学年、中学生向けの展示物、事業が難しくなった。 						
H25. 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 科学教育普及事業 500事業 夏休み自由研究相談室の開催日数 30日 夏休み自由研究展示会の開催回数 1回 幼児対象のシャボン玉ショーの開催回数 6回 中学校科学部と東海大学との協働事業 1回 	予算額・財源内訳(単位：千円)				重要 施策	
	年度	総事業費	事業費内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
	H22決算	1,196	0	0	0		1,196
	H23決算	1,228	0	0	0		1,228
	H24決算	983	0	0	0		983
	H25予算	967				967	

73	ミニデイ・ミニサロン活動における世代間交流の推進	担当課	介護高齢福祉課			
事業内容	地域の高齢者の閉じこもり・介護予防事業として実施しているミニデイ・ミニサロン活動（民生委員等地域ボランティアにより運営）における、高齢者と子どもたちとの地域交流の取組を支援していきます。					
計画目標	継続実施					

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組結果	<取組実績> ・3箇所のミニサロンで実施 ・小学校のふれあいまつりに参加し、昔の生活の話や、昔の遊びを行ったり、1月に小学校の生活科の授業を2時間受け持ち、昔の生活の話をしたり、体育館でこままわしや、はねつきなどを行った。 ・ミニサロンに未就園児や小学生を呼び、七夕、クリスマス会、どんと焼きの団子作りを実施した。	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告事項	○例年どおり実施しているミニサロンと新たに開始したミニサロンが1箇所あり。また平成23年度に実施していたが、平成24年度は実施しなかったミニサロンが2箇所ある。平成24年度に実施しなかった理由は、今年度は会場が狭く園児達を呼ぶことができなかった、子供会の人数が少なく実施の仕方を検討していたとのこと。							
H25. 事業計画	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	13	3	2	8		0
		H23決算	17	4	2	11		0
		H24決算	36	16	5	15		0
H25予算	48	22	6	20	0			

74	海外姉妹都市高校生相互派遣事業	担当課	市民協働課
事業内容	高校生が、海外姉妹都市でのホームステイを通じて外国の文化や生活習慣を学び、親善を深めることを目的として、伊勢原市国際交流委員会が実施する高校生の海外姉妹都市派遣事業に対し、市として支援します。		
計画目標	派遣高校生 2名		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組結果	当該事業の実施主体である伊勢原市国際交流委員会が協議した結果、H24年度の事業は見送ることになった。	事業評価	B・Cの理由					
		—	見直しを行ったところ、再開できるかの検討は続けるが、状況が改善される見込みは少ないと判断されたため。市で事業決定できないため評価対象としない。					
H24. 報告事項	未実施							
H25. 事業計画	国際交流委員会での検討の結果、当該事業の実施の見込みが立たない状態が続いていることから、H25年度事業の実施を見送ることとした。	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0		0
		H23決算	0	0	0	0		0
		H24決算	0	0	0	0		0
H25予算	0	0	0	0	0			

75	国内姉妹都市少年交流推進事業	担当課	青少年課
事業内容	茅野市との交流を通じて社会性を養い自己を確立するとともに、指導性を習得するため交流団体に対し助成します。		
計画目標	継続実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)						
H24. 取組結果	参加者 サッカー 35人 バスケットボール 58人	事業評価	B・Cの理由			
		A				

H24. 報告事項	○例年どおり、茅野市へ訪問するスポーツ団体の交流事業を支援。							
H25. 事業計画	サッカー、バスケットボール、少年野球（隔年）の3団体の事業を支援	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	175	0	58	0	117	
		H23決算	222	0	74	0	148	
		H24決算	175	0	46	0	129	
H25予算	242	0	64	0	178			

76	(再) 教育センターの教育相談事業	担当課	教育センター
事業内容	伊勢原市内に在住、在学の児童生徒についての教育相談（学校不適応・家庭教育等）を、本人や家族又は教職員などから受け付けます。		
計画目標	相談事業の充実に向けて継続実施		

A（計画どおり進捗した） **B**（やや遅れている） **C**（ほとんど進捗していない）

H24. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・教育センター教育相談（教育相談員3.8人/日）来所相談、電話相談、訪問相談、巡回相談等を実施 ・学校訪問教育相談研修会7回 支援教育研修会7回 ・学生ボランティア派遣35人 ・小中学校スクールカウンセラーによる教育相談 	事業評価	B・Cの理由
		A	

H24. 報告事項	○所内の情報共有の仕組みを整え、対応の質の向上を図りました。 ○児童生徒に関する問題が多様化し、相談件数も増加している中で、現状の体制では、相談ニーズに応需しきれない状況です。		
-----------	---	--	--

H25. 事業計画	伊勢原市内に在住、在学の児童生徒についての教育相談（学校不適応・家庭教育等）を、本人や家族、教職員などから受け付けます。また、学校における教育相談の充実を図ります。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	5,530	0	0	0	5,530	○
		H23決算	5,224	0	0	0	5,224	○
		H24決算	5,104	0	0	0	5,104	○
H25予算	5,464	0	0	0	5,464	○		

77	(再) 適応指導教室事業	担当課	教育センター
事業内容	不登校児童生徒のための適応指導教室を運営します。		
計画目標	適応指導教室経営の充実に向けて継続実施		

A（計画どおり進捗した） **B**（やや遅れている） **C**（ほとんど進捗していない）

H24. 取組結果	適応指導教室へ通室する不登校児童生徒のそれぞれの成長を、様々な活動を通して支援しました。 ・適応指導教室スタッフ4人	事業評価	B・Cの理由
		A	

H24. 報告事項	○適応指導教室スタッフと教育相談員との会議を定期的に行い、情報の共有と方向性の確認を行いました。 ○不登校児童生徒を取り巻く環境が複雑になる中、対応する職員の数や活動スペースが限られている状況です。		
-----------	--	--	--

H25. 事業計画	適応指導教室へ通室する不登校児童生徒のそれぞれの成長を、様々な活動を通して支援します。 ・適応指導教室スタッフ4人	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	3,814	0	0	0	3,814	
		H23決算	3,982	0	0	0	3,982	
		H24決算	3,868	0	0	0	3,868	
H25予算	4,079	0	0	0	4,079			

基本目標3 多様なニーズを持つすべての子育て家庭を支援します。

施策の目標

- 伊勢原が子育てしやすいまちであると感じる保護者の割合を増やします
- 子育てに対する悩みや不安が少ないと感じる保護者の割合を増やします

3-①多様な子育て支援サービスの充実方針

<施策の対応方針>

- 様々な育児環境に応じた、多様な子育て支援サービスを提供していきます。
- 保護者の就労形態に応じた、保育サービスの提供に努めます。
- 障害のある子どもの健全な育成と社会参加を促し、家庭が抱える不安感や負担感の軽減に努めていきます。

78	(再) ファミリー・サポート・センター事業	担当課	子育て支援課					
事業内容	児童の健やかな成長や子育ての中の家庭に対する育児の支援体制の充実を図るため、市が事務局となり、育児の援助を受けたい人(依頼会員)と支援を行いたい人(支援会員)からなる会員組織「ファミリー・サポート・センター」を運営し、育児に関する地域の相互援助活動を支援します。							
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・設置箇所数 1箇所 ・会員総数 1,180人 							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・設置箇所: 1箇所 ・会員総数: 846人 内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・依頼会員 620人 ・支援会員 198人 ・両方会員 28人 ・延べ活動件: 2,845件 	事業評価	B・Cの理由					
		—	出生や転入の届出時、こんにちは赤ちゃん訪問、小学校入学時の案内等で事業周知を行い、毎年新規依頼会員が加入する一方で、子どもが対象学年をこえ退会する依頼会員がいることから、事業開始時のような加入の勢いがなくなったため。 今後も、周知を続けながら事業の実施を継続する。					
H24. 報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ○例年どおり実施 ○障害児への支援依頼が増加しています。安全に活動を行なうため、関係機関から児童についての情報収集等を行なうため、コーディネートに時間がかかる。 ○長期利用の依頼会員から子どもの成長に合わせた支援会員の紹介をしてもらいたくさんの人と出会えることがで 							
H25. 事業計画	児童の健やかな成長や子育て中の家庭に対する育児の支援体制の充実を図るため、市が事務局となり、育児の援助を受けたい人(依頼会員)と支援を行いたい人(支援会員)からなる会員組織「ファミリー・サポート・センター」を運営し、育児に関する地域の相互援助活動を支援します。	予算額・財源内訳(単位:千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	4,656	2,375	0	0	2,281	
		H23決算	4,662	2,239	0	0	2,333	
		H24決算	4,624	2,312	0	0	2,312	
		H25予算	4,639	2,319	0	0	2,320	

79	養育支援訪問事業	担当課	子ども家庭相談室
事業内容	出産後間もない時期の養育者や様々な原因で養育が困難になっている家庭に育児・家事等の援助を行うヘルパーや保健師、保育士等を派遣し、育児支援を行うことにより、養育上の諸問題の解決、軽減を図り、虐待を未然に防止することに繋がります。		
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・産褥期ヘルパー派遣 8件 延80日 ・専門的家庭訪問 10件 延120日 		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			
H24. 取組結果	(事業予定)	事業評価	B・Cの理由
	<ul style="list-style-type: none"> ・産褥期ヘルパー派遣 2件 延19日 ・専門的家庭訪問 9件 延47日 	A	産褥期ヘルパーについては見込みより減だったため。また、専門的家庭訪問は支援内容を多様化させて対応した。

H24. 報告事項	<p>○ホームページの記載内容を更新 ○利用周知等を行っているが利用件数がここ数年低い ○産褥期ヘルパー派遣については、産褥期に限らず産前も利用できる制度への拡大が望まれている。</p>							
H25. 事業計画	継続実施 産前における利用制度を検討していく。	予算額・財源内訳(単位：千円)						重要 施策
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	219	169	0	0	50	
		H23決算	170	84	0	0	86	
		H24決算	214	107	0	0	107	
	H25予算	241	120	0	0	121		

80	母子家庭等日常生活支援事業	担当課	子育て支援課
事業内容	病気等で一般的に家庭支援等のサービスが必要な場合などの際、家庭生活支援員を派遣することにより、日常生活における生活援助と育児支援を行います。		
計画目標	継続実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組結果	ひとり親家庭に対し、家事援助等のための生活支援員を派遣する。(0件)	事業評価	B・Cの理由
		A	対象者なしのため

H24. 報告事項	<p>○24年度は利用者なし。 ○伊勢原市社会福祉協議会への委託契約により実施。 ○ひとり親家庭の全てが利用できる予算措置ではなく、要保護家庭への支援を中心に活用していることから、積極的な周知は行っていない。</p>		
-----------	--	--	--

H25. 事業計画	○例年どおり実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						重要 施策
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	13	0	9	0	4	
		H24決算	0	0	0	0	0	
	H25予算	96	0	71	0	25		

81	家庭的保育事業	担当課	保育課
事業内容	保護者の就労や出産、疾病、介護などの理由で、家庭で保育することができないと認められる児童を、市が認定した家庭的保育者の居宅に整備された保育室において保育します。		
計画目標	家庭的保育者登録 2人		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組結果	国制度に準じた事業実施に係る研究と家庭的保育者制度の研究	事業評価	B・Cの理由
		—	実施に至っていないため。

H24. 報告事項	事業の実施には、至らなかった。		
-----------	-----------------	--	--

H25. 事業計画	国制度に準じた事業実施に係る研究と家庭的保育者制度の研究	予算額・財源内訳(単位：千円)						重要 施策
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	0	
		H24決算	0	0	0	0	0	
	H25予算	0	0	0	0	0		

82	一時預かり事業	担当課	保育課					
事業内容	勤務形態の変化や保護者の傷病、育児に伴う心理的・肉体的負担を解消するために、保育所での一時預かりを行います。 ・非定型的保育サービス（週3日を限度） ・緊急保育サービス ・私的理由による保育サービス							
計画目標	継続実施 公立2園 民間6園							
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）								
H24. 取組結果	継続実施 公立1園 民間6園	事業評価	B・Cの理由					
		—						
H24. 報告事項	例年どおり実施							
H25. 事業計画	継続実施 公立1園 民間7園	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	5,580	2,790	0	0	2,790	○
		H23決算	5,580	3,915	0	0	1,665	
		H24決算	7,380	3,690	0	0	3,690	
H25予算	7,830	3,915	0	0	3,915			

83	幼稚園における預かり保育	担当課	子育て支援課					
事業内容	保護者に対して、市内私立幼稚園で実施されている預かり保育に関する情報提供を行います。							
計画目標	継続実施							
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）								
H24. 取組結果	私立幼稚園が実施する預かり保育に関する情報提供を行いました。	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告事項	○例年どおり実施 ○幼稚園の設置者から、預かり保育への補助を望む声がある。							
H25. 事業計画	子育て支援課に移管。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	0	
		H24決算	0	0	0	0	0	
H25予算								

84	やすらぎサービス	担当課	社会福祉協議会
事業内容	保育所への送迎、産前産後の母親への家事援助、虚弱の母親に対する育児援助等の各種育児支援サービスを提供します。		

計画目標	<ul style="list-style-type: none"> 協力会員 100人 利用会員 180人 延派遣回数 2,500回 延派遣時間 4,000時間 							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> 協力会員 56人 (25人の減) 利用会員 324人 (15人の増) 派遣回数 2,942回 (3月末日) 派遣時間 4,251時間 (3月末日) 	事業評価	B・Cの理由					
H24. 報告事項	<p>○例年どおり実施</p> <p>○協力会員の自家用車を利用した送迎は対応していないため、ファミリーサポートセンターや社協の送迎ボランティアの紹介を行い対応している。</p> <p>○市委託の産褥期ヘルパーと同じ方が担い手となっているため、産褥期ヘルパー利用後も本事業により同じヘルパーが支援することが可能であり好評である。</p>							
H25. 事業計画	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要施策	
	※財源は利用料収入	年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
	H22決算	8,793	0	0	8,793	0		
	H23決算	4,887	0	0	4,887	0		
	H24決算	4,295	0	0	4,295	0		
	H25予算	5,305	0	0	5,305	0		

85	レスパイトサービス事業	担当課	障害福祉課					
事業内容	知的障害児がいる家族の日ごろの心身の疲れを軽減するとともに、本人の社会性と自立心を養うため、春休み・夏休み期間、市内事業所(みどり園)で一時的に預かり、養育や介護を行います。							
計画目標	・実施日数52日							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組結果	・実施日数52日	事業評価	B・Cの理由					
H24. 報告事項	例年どおり実施							
H25. 事業計画	実施日数52日	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
	H22決算	5,867	0	0	380	5,487		
	H23決算	6,455	0	0	321	6,134		
	H24決算	7,265	0	0	308	6,957		
	H25予算	7,273	0	0	370	6,903		

86	障害児通所支援	担当課	障害福祉課			
事業内容	障害児が通所支援を受ける際に、児童福祉法による申請に基づき支給決定を行います。					
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> 実利用人数 393人 延利用日数 10,699日 					
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)						
H24. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> 実利用人数289名 延利用日数11,430日 (※上記数値には、障害者自立支援法の児童デイサービスを含む) 	事業評価	B・Cの理由			
		A				

H24. 報告事項	障害者自立支援法、児童福祉法の改正により、平成24年度から児童福祉法に根拠法令が一体化された。通園施設のサービス実施主体が県から市町村に変更され、障害児通所支援事業となる。							
H25. 事業計画	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	74,204	37,102	18,551	0	18,551	
		H23決算	67,227	33,613	16,807	0	16,807	
		H24決算	99,426	55,257	26,760	0	17,409	
H25予算	136,997	68,160	34,080	0	34,757			

87	特定保育事業	担当課	保育課
事業内容	保護者が就労等により一定程度（1ヶ月当たり概ね64時間以上）児童を家庭で保育することが出来ない場合に、必要な日時について保育所で保育します。		
計画目標	実施保育所 公立2園 民間5園		

A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）

H24. 取組結果	継続実施 公立1園 民間4園	事業評価	B・Cの理由
		—	

H24. 報告事項	例年どおり実施		
-----------	---------	--	--

H25. 事業計画	継続実施 公立1園 民間5園	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	11,340	0	7,740	0	3,600	○
		H23決算	10,530	0	7,020	0	3,510	
		H24決算	11,340	0	7,194	0	4,146	
H25予算	14,310	0	9,540	0	4,770			

3-②ワーク・ライフ・バランス及び男女共同参画社会の実現

<施策の対応方針>

- 保護者のニーズに柔軟に対応できる保育サービスを提供します。
- 保育を受けることができている待機児童の解消に努めていきます。
- 男女共同参画社会の実現に取り組んでいきます。
- 職業生活と家庭生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進を図るため、働き方の見直しと多様な働き方の実現に向けて、国、県、関係機関と連携して、事業主等に対し働きかけていきます。
- 出産等により職場を離れた人の再就職を支援するための学習機会や情報の提供など、再就職支援に努めていき

88	通常保育事業	担当課	保育課					
事業内容	児童福祉法第7条に定める児童福祉施設において、保護者の就労又は疾病等により保育に欠ける乳児又は幼児（法第24条）の保育を行います。							
計画目標	定員 1, 215人							
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）								
H24. 取組結果	定員 1, 225人	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告事項	例年どおり実施							
H25. 事業計画	定員 1, 225人	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	703,243	185,297	92,649	210,188	215,109	
		H23決算	734,549	194,689	97,344	228,613	213,903	
		H24決算	723,534	187,877	93,938	229,669	212,050	
H25予算	757,180	193,379	96,689	203,301	263,811			

89	年度途中入所の推進	担当課	保育課					
事業内容	育児休業の終了に伴う入所希望等に対応するため、中途入所を行うとともに、定員超過入所を行い柔軟な受入れに努めます。							
計画目標	継続実施							
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）								
H24. 取組結果	育児休業の終了に伴う入所希望等に対応するため、中途入所を行うとともに、定員超過入所を行い柔軟な受入れに努めました。	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告事項	例年どおり実施							
H25. 事業計画	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	0	
		H24決算	0	0	0	0	0	
H25予算	0	0	0	0	0			

90	(再) 一時預かり事業	担当課	保育課					
事業内容	勤務形態の変化や保護者の傷病、育児に伴う心理的・肉体的負担を解消するために、保育所での一時預かりを行います。 ・非定型的保育サービス (週3日を限度) ・緊急保育サービス ・私的理由による保育サービス							
計画目標	継続実施 公立2園 民間6園							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組結果	継続実施 公立1園 民間6園	事業評価	B・Cの理由					
		—						
H24. 報告事項	例年どおり実施							
H25. 事業計画	継続実施 公立1園 民間7園	予算額・財源内訳(単位:千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	5,580	2,790	0	0	2,790	○
		H23決算	5,580	3,915	0	0	1,665	
		H24決算	7,380	3,690	0	0	3,690	
H25予算	7,830	3,915	0	0	3,915			

91	保育時間の延長 (長時間保育・延長保育)	担当課	保育課					
事業内容	長時間保育 (8時間を超え11時間まで) 及び延長保育 (11時間を超えて保育) の実施							
計画目標	継続実施							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組結果	○公立4園・民間7園で実施 ○公立3園の延長保育時間を30分拡大。 ○公立1園 (指定管理者) の延長保育時間を60分拡大。	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告事項	○公立4園にて、朝30分の延長時間の拡大を図った。							
H25. 事業計画	○公立4園・民間7園で実施	予算額・財源内訳(単位:千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	40,900	0	27,266	0	13,634	○
		H23決算	41,072	0	27,379	0	13,693	
		H24決算	41,072	0	24,484	0	16,588	
H25予算	42,920	0	28,327	0	14,593			

92	産休明け保育事業	担当課	保育課
事業内容	就労先の状況などにより育児休業が取りにくい家庭のために、産後8週間を経過した児童の保育を行います。		
計画目標	継続実施 民間3園		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組結果	継続実施 民間4園	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告事項	例年どおり実施							
H25. 事業計画	継続実施 民間4園	予算額・財源内訳(単位:千円)					重要施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0		0
		H23決算	0	0	0	0		0
		H24決算	0	0	0	0		0

93	乳児保育推進助成	担当課	保育課					
事業内容	増加している低年齢児の入所希望に対応するため、民間保育所の乳児保育にかかる費用を助成します。							
計画目標	継続実施							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組結果	継続実施 民間6園	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告事項	例年どおり実施							
H25. 事業計画	継続実施 民間6園	予算額・財源内訳(単位:千円)					重要施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	3,600	0	0	0		3,600
		H23決算	3,600	0	0	0		3,600
		H24決算	3,600	0	0	0		3,600

94	(再) 障害児保育事業	担当課	保育課			
事業内容	保育士の適正な配置や研修など、保育所における障害児の受入れ体制の充実に努め、障害児保育の一層の促進を図ります。					
計画目標	継続実施					
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)						
H24. 取組結果	民間保育所4園(対象児童は4人)に補助	事業評価	B・Cの理由			
		A				
H24. 報告事項	○対象保育所4園、対象児童4人で実施 伊勢原愛児園 1人 伊勢原ふたば保育園 1人 リスプラン保育園 1人 伊勢原こぼと保育園 1人					

H25. 事業 計画	民間保育所 6 園、対象児童 6 人	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	1,236	0	0	0	1,236	○
		H23決算	3,209	0	0	0	3,209	
		H24決算	2,751	0	0	0	2,751	
H25予算	4,126	0	0	0	4,126			

95	病後児保育事業	担当課	保育課					
事業 内容	病気回復期にあり、集団での保育ができない児童の保育を行います。							
計画 目標	病児対応型 1 施設							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組 結果	伊勢原協同病院へ委託して継続実施 ・定員 4 人	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告 事項	例年どおり実施							
H25. 事業 計画	伊勢原協同病院へ委託して継続実施 ・定員 4 人	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	10,122	0	2,800	0	7,322	○
		H23決算	10,078	0	2,800	0	7,278	
		H24決算	10,049	0	2,455	0	7,594	
H25予算	10,115	0	2,800	0	7,315			

96	駅前保育事業の検討	担当課	保育課					
事業 内容	交通の便の良い駅前での保育サービスを実施します。							
計画 目標	継続実施 認定保育施設 1 施設							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組 結果	継続実施 ・認定保育施設 1 箇所	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告 事項	例年どおり実施							
H25. 事業 計画	継続実施 ・認定保育施設 1 箇所	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	0	
		H24決算	0	0	0	0	0	
H25予算	0	0	0	0	0			

97	(再) 放課後児童健全育成事業 (児童コミュニティクラブ事業)	担当課	子育て支援課				
事業内容	放課後、保護者が就労や病気などで児童の世話をすることができない家庭を対象に、児童が安全に自由に生活できる場として「児童コミュニティクラブ」を開設し、遊びを通じた生活指導を行います。						
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> 市内全小学校区 (10校) で実施 計14クラブ 定員 720人 入所児童数 720人 開所時間の延長 						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H24. 取組結果	放課後、保護者が就労や病気などで児童の世話をすることができない家庭を対象に、児童が安全に自由に生活できる場として「児童コミュニティクラブ」を開設し、遊びを通じた生活指導を行った。 <ul style="list-style-type: none"> 市内全小学校区 (10校) で実施。 計13クラブ 定員670人 平均入所児童数 612人 開所時間 放課後～午後6時30分 土曜日・長期休業日等は、 午前8時～午後6時30分 民間事業所 (1事業所) に補助金交付を実施 	事業評価	B・Cの理由 14クラブの開設が目標であるが、新たな活動場所の確保が難しく、実施に至らないため。 民間の児童コミュニティクラブへの補助を行いながら、児童の放課後の居場所づくりを進めていく。				
H24. 報告事項	○課題 <ul style="list-style-type: none"> 民間事業所への補助の充実を検討したが、国県補助が見込めず拡大を行えなかった。財源の確保が課題。 勤務時間が不規則なためか、指導員の確保が難しい。 一部クラブについては、定員を大幅に超える入所となっているが、新たな活動場所の確保が難しい。 						
H25. 事業計画	継続実施 <ul style="list-style-type: none"> 委託クラブの拡大に向け、事業を委託する民間事業所の検討を進める。 民間事業所への補助金交付の拡大に向けた検討を進める。 子ども・子育て支援新制度に基づく新たな基準に対応できるよう準備を進める。 	予算額・財源内訳 (単位：千円)					
	年度	総事業費	事業費内訳				重要施策
			国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
	H22決算	101,184	0	30,088	28,759	42,337	
	H23決算	101,107	0	28,915	26,341	45,851	
	H24決算	97,501	0	26,018	27,218	44,265	
	H25予算	103,610	0	35,418	27,769	40,423	

98	児童コミュニティクラブでの障害児受入	担当課	子育て支援課				
事業内容	入所を希望し、入所要件を満たすすべての障害児が児童コミュニティに入所できるよう、地域と協力しながら各クラブの受入体制を整備します。						
計画目標	14クラブ 各1人						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H24. 取組結果	児童の安全確保ができる範囲において、指導員人員や環境面 (スペース等) 等を判断し、入所要件を満たす児童の受入れる体制を整えました。	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H24. 報告事項	○例年どおり実施 ○障害児の受け入れのためには、指導員の追加配置が必要だが、そのための財源の確保と指導員の確保が難しい。						
H25. 事業計画	引き続き、児童の安全確保ができる範囲において、指導員人員や環境面 (スペース等) 等を判断し、可能な限り入所要件を満たす児童の受入を行います。	予算額・財源内訳 (単位：千円)					
	年度	総事業費	事業費内訳				重要施策
			国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
	H22決算	0	0	0	0	0	
	H23決算	0	0	0	0	0	
	H24決算	0	0	0	0	0	
	H25予算	0	0	0	0	0	

99	休日保育の実施検討	担当課	保育課				
事業内容	保護者の就労形態の多様化に対応するため、休日における保育の実施を検討し、児童福祉の向上及び保護者の仕事と子育ての両立支援を目指します。						
計画目標	実施施設 2施設						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H24. 取組結果	大原保育園において通年の休日保育事業を実施	事業評価	B・Cの理由				
		—					
H24. 報告事項	○認可保育所において通年の休日保育を開始						
H25. 事業計画	大原保育園において通年の休日保育事業を実施	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫支出金	県支出金	その他	
		H22決算	0	0	0	0	0
		H23決算	975	0	350	0	625
		H24決算	1,335	0	780	0	555
H25予算	1,335	0	890	0	445		

100	(再) 家庭的保育等事業	担当課	保育課				
事業内容	保護者の就労や出産、疾病、介護などの理由で、家庭で保育することができないと認められる児童を、市が認定した家庭的保育者の居宅に整備された保育室において保育します。						
計画目標	家庭的保育者登録 2人						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H24. 取組結果	国制度に準じた事業実施に係る研究と家庭的保育者制度の研究	事業評価	B・Cの理由				
		—	実施に至っていないため。				
H24. 報告事項	事業の実施には、至らなかった。						
H25. 事業計画	国制度に準じた事業実施に係る研究と家庭的保育者制度の研究	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫支出金	県支出金	その他	
		H22決算	0	0	0	0	0
		H23決算	0	0	0	0	0
		H24決算	0	0	0	0	0
H25予算	0	0	0	0	0		

101	私設保育施設（認可外保育施設）による保育等	担当課	保育課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・認定保育施設 ・届出保育施設 ・その他保育施設（事業所内保育など） 		
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・継続実施 ・認定保育施設 1施設 ・届出保育施設 2施設 ・院内保育施設 2施設 		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組 結果	<ul style="list-style-type: none"> 市内認定保育施設 1施設 市外認定保育施設 7施設 届出保育施設 3施設 院内保育施設 2施設 	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告 事項	例年どおり実施							
H25. 事業 計画	<ul style="list-style-type: none"> 市内認定保育施設 2施設 市外認定保育施設 7施設 届出保育施設 2施設 院内保育施設 2施設 	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	9,328	0	3,108	0		6,220
		H23決算	9,441	0	3,340	0		6,101
		H24決算	9,659	0	3,215	0		6,444
H25予算	16,471	0	5,490	0	10,981			

102	私設保育施設（認可外保育施設）による保育等（院内保育）	担当課	健康管理課
事業 内容	・院内保育		
計画 目標	院内保育事業を実施する市内の医療機関に対して継続して補助金を交付		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組 結果	院内保育事業を実施する市内の医療機関に対して補助金を交付 <ul style="list-style-type: none"> 東海大学医学部付属病院 伊勢原協同病院 	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告 事項	○現地調査を実施するなど、実態把握に努めました。							
H25. 事業 計画	院内保育事業を実施する市内の医療機関に対して補助金を交付 <ul style="list-style-type: none"> 東海大学医学部付属病院 伊勢原協同病院 	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	8,610	0	0	0		8,610
		H23決算	8,610	0	0	0		8,610
		H24決算	8,545	0	0	0		8,545
H25予算	8,610	0	0	0	8,610			

103	私設保育施設（認可外保育施設）による保育等（幼稚園の預かり保育）	担当課	子育て支援課
事業 内容	(再) ・幼稚園の預かり保育		
計画 目標	継続実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)						
H24. 取組 結果	市内の私立幼稚園10園で実施している預かり保育について、窓口や電話での問い合わせ、広報紙はら(10/1号)の掲載等による情報提供を行いました。	事業評価	B・Cの理由			
		A				

H24. 報告事項	○例年どおり実施 ○幼稚園の設置者から、預かり保育への補助を望む声がある。							
H25. 事業計画	私立幼稚園が実施する預かり保育に関する情報提供を行っていきます。	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0		0
		H23決算	0	0	0	0		0
		H24決算	0	0	0	0		0
H25予算	0	0	0	0	0			

104	(再) ファミリー・サポート・センター事業	担当課	子育て支援課
事業内容	児童の健やかな成長や子育て中の家庭に対する育児の支援体制の充実を図るため、市が事務局となり、育児の援助を受けたい人(依頼会員)と支援を行いたい人(支援会員)からなる会員組織「ファミリー・サポート・センター」を運営し、育児に関する地域の相互援助活動を支援します。		
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・設置箇所数 1箇所 ・会員総数 1,180人 		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組結果	(執行実績)	事業評価	B・Cの理由
	<ul style="list-style-type: none"> ・設置箇所：1箇所 ・会員総数：846人 内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・依頼会員 620人 ・支援会員 198人 ・両方会員 28人 ・延べ活動件：2,845件 	—	出生や転入の届出時、こんにちは赤ちゃん訪問、小学校入学時の案内等で事業周知を行い、毎年新規依頼会員が加入する一方で、子どもが対象学年をこえ退会する依頼会員がいることから、事業開始時のような加入の勢いがなくなったため。 今後も、周知を続けながら事業の実施を継続する。

H24. 報告事項	○例年どおり実施 ○障害児への支援依頼が増加しています。安全に活動を行なうため、関係機関から児童についての情報収集等を行なうため、コーディネートに時間がかかる。 ○長期利用の依頼会員から子どもの成長に合わせた支援会員の紹介をしてもらいたくさんの人と出会えることができ、地域の方々に育てていただいた。		
-----------	---	--	--

H25. 事業計画	児童の健やかな成長や子育て中の家庭に対する育児の支援体制の充実を図るため、市が事務局となり、育児の援助を受けたい人(依頼会員)と支援を行いたい人(支援会員)からなる会員組織「ファミリー・サポート・センター」を運営し、育児に関する地域の相互援助活動を支援します。	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	4,656	2,375	0	0		2,281
		H23決算	4,662	2,239	0	0		2,333
		H24決算	4,624	2,312	0	0		2,312
H25予算	4,639	2,319	0	0	2,320			

105	男女共同参画推進事業の促進	担当課	市民協働課人権・男女共同参画推進担当
事業内容	男女共同参画社会の実現に向けて、普及啓発活動を推進します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ききょうフォーラムの運営 ・いせはら男女共同参画フォーラムの開催 ・ききょうフォーラム通信の作成・発行 ・男女共同参画講座の開催 ・男女共同参画に関する情報提供、啓発誌等の作成発行 		

計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・いせはら男女共同参画フォーラムの開催参加人数 400人 ・ききょうフォーラム通信の発行 年2回
------	---

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組結果	男女共同参画社会の実現に向けて、男女共同参画プランの改訂及び普及啓発活動を推進しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢原市男女共同参画推進委員会の運営 (ききょうフォーラムの名称変更) 全体会5回、企画部会4回、編集部会3回、計画調整会議2回開催 ・いせはら男女共同参画フォーラムの開催 平成25年1月26日(土)「妻が僕を変えた日」 講師 広岡守穂氏 参加人数 222人 ・ききょうフォーラム通信の作成・発行 35号「男女共同参画フォーラムの報告他」 36号「伊勢原男女共同参画プラン意見交換会特集他」 ・男女共同参画講座の開催 「ワーク・ライフ・バランス」、「父子料理教室」、「起業準備セミナー」、「再就職応援セミナー」、「男女共同参画研修」の5講座を実施 延べ参加人数 89人 	事業評価	B・Cの理由 予定した各事業については計画どおり実施されたが、フォーラム及び講座の参加人数が目標に達成しなかった。より多くの方に参加していただけるよう、工夫する必要があるため。
	B		

H24. 報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ○例年どおり事業を実施しました。 ○男女共同参画プランの改訂(案)をまとめました。 ○課題 <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画についての正しい理解の浸透には時間がかかるため、継続的な事業の実施が重要です。 ○男女共同参画フォーラムのアンケート結果及び伊勢原市男女共同参画プラン点検評価書において、市民等の皆様から様々なご意見をいただいています。
-----------	--

H25. 事業計画	男女共同参画社会の実現に向けて、プランの改訂及び普及啓発活動を推進します。 <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画プラン策定委員会の運営 ・男女共同参画推進委員会の運営 ・いせはら男女共同参画フォーラムの開催 ・ききょうフォーラム通信の作成・発行 ・男女共同参画講座の開催 ・男女共同参画プラン(改訂)の策定 	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	550	0	0	0		550
		H23決算	641	0	0	0		641
		H24決算	692	0	0	0		692
H25予算	677	0	0	0	677			

106	関係機関との連携・市内事業者等に対する普及啓発活動の実施	担当課	子育て支援課、商工観光振興課
事業内容	国や県等の関係機関等との連携・ネットワーク形成を図りながら、働き方の見直しと多様な働き方の実現に向けて、市内事業者に対して普及啓発を行います。あわせて、仕事と育児が両立できるような様々な制度を持ち、多様で柔軟な働き方を労働者が選択できるような取組を行う企業(ファミリー・フレンドリー企業)の普及促進を行います。		
計画目標	継続実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組 結果	市内事業主及び一般者を対象にワーク・ライフ・バランスに関する講演会を開催。 ・主催：伊勢原市（子育て支援課） ・協力：伊勢原市雇用促進協議会（事務局：商工観光振興課） ・演目：「経営戦略としてのワーク・ライフ・バランス～育児・介護と仕事の両立を考える～」 ・講師：株式会社ワーク・ライフバランス 講師 村上健太氏 ・参加：7団体18名	事業評価	B・Cの理由
		A	

H24. 報告事項
 ○参加事業者拡大のため、広報いせはら、市HPに掲載し周知を図ることとした。
 ○ワーク・ライフ・バランスの必要性を伝えるための啓発事業であるため、参加してもらうまでの呼びかけ方法が難しい。
 ○例年どおり実施
 ○会員企業の参加率が低い。特に規模の小さい中小零細企業では、依然として厳しい経営状況等の理由から、ワークライフバランスへの対応を図る余裕がないケースも見受けられるなど、普及促進への課題がある。

H25. 事業 計画	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	
		H22決算	30	0	0	0	30
		H23決算	30	0	0	0	30
		H24決算	30	0	0	0	30
H25予算	30	0	0	0	30		

107	再就職への支援策の検討	担当課	商工観光振興課
事業 内容	出産等により退職し、その後復職を希望する人に対する就業支援策を検討します。 ・就業を促進するための民間事業者に対する協力要請・普及啓発 ・職業能力開発のための講座 ・教習会等の充実など		
計画 目標	・地域職業相談室において就業相談・紹介等を実施 ・就業相談件数 10,000件 ・紹介件数 2,712件		

A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）

H24. 取組 結果	伊勢原市ふるさとハローワークにおいて就業相談・紹介等を実施した。 ・就業相談件数 14,195件 ・紹介件数 3,986件	事業評価	B・Cの理由
		A	

H24. 報告事項
 ○就職相談として、必要な知識・技術等の習得に向け、平成25年4月に開校した「県立西部総合職業技術校（秦野市）」の紹介を始めた。
 ○県内の雇用情勢は、依然として厳しい状況が続いている。

H25. 事業 計画	伊勢原市ふるさとハローワークにおいて就業相談・紹介等を実施する。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	
		H22決算	4,803	0	0	0	4,803
		H23決算	4,736	0	0	0	4,736
		H24決算	4,795	0	0	0	4,795
H25予算	4,898	0	0	0	4,898		

3-③子育ての悩み解消のための支援

<施策の対応方針>

○育児支援や子育ての仲間づくりなど、子育てに関する情報を分かり易く一元的に提供していきます。

○子育てや生活、就労などの様々な相談に対応していきます。

○児童虐待防止に関して、発生予防の段階から、早期発見、早期対応、保護・支援・フォローに至るまでの切れ目ない総合的な支援に取り組んでいきます。

108	(再) 子育て支援センター事業	担当課	子育て支援課																													
事業内容	地域で孤立しがちな母親の子育ての不安やストレス、悩みの解消を図るため、子育て支援センターに子育てアドバイザーを配置し、親子の遊びや息抜き、情報交換、仲間づくりの場を提供します。 また、乳幼児を持つ子育て中の親が気軽に集い、うちとけた雰囲気の中で語り合うことで精神的な安心感をもち、問題解決の糸口となる場として、「つどいの広場」を展開します。																															
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・支援センター 1箇所 ・「子育てひろば」 6箇所 ・「つどいの広場」 4箇所 																															
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)																																
H24. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・フリースペース (子育て支援センター) 開催日数：245日 参加者数：延べ12,732人 ・育児相談件数 延べ1,412 ・つどいの広場 実施開所数：1ヵ所 開催日数：143日 参加者数：延べ5,866人 ・子育てひろば 開催日数：169日 参加者数：延べ4,377人 うち「赤ちゃんひろば」 1箇所 (フリースペース内) 「赤ちゃんこれからママのつどい」 1箇所 (つどいの広場内) 	事業評価	B・Cの理由 つどいの広場については、場所や事業費の確保の問題から、検討が進まない状況にある。																													
H24. 報告事項	<p>○例年どおり実施</p> <p>○「子どもと二人で家にいると息が詰まる。交流、相談もでき毎日利用できることでストレス解消になる。」という意見をください。</p>																															
H25. 事業計画	地域で孤立しがちな母親の子育ての不安やストレス、悩みの解消を図るため、子育て支援センターに子育てアドバイザーを配置し、親子の遊びや息抜き、情報交換、仲間づくりの場を提供します。 また、乳幼児を持つ子育て中の親が気軽に集い、うちとけた雰囲気の中で語り合うことで精神的な安心感をもち、問題解決の糸口となる場として、「つどいの広場」を展開します。	予算額・財源内訳(単位：千円)																														
	年度	総事業費	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="4">事業費内訳</th> <th rowspan="2">重要施策</th> </tr> <tr> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22決算</td> <td>8,289</td> <td>4,276</td> <td>0</td> <td>4,013</td> </tr> <tr> <td>H23決算</td> <td>8,979</td> <td>4,286</td> <td>292</td> <td>4,401</td> </tr> <tr> <td>H24決算</td> <td>7,923</td> <td>3,962</td> <td>0</td> <td>3,961</td> </tr> <tr> <td>H25予算</td> <td>7,668</td> <td>3,834</td> <td>0</td> <td>3,834</td> </tr> </tbody> </table>	事業費内訳				重要施策	国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	H22決算	8,289	4,276	0	4,013	H23決算	8,979	4,286	292	4,401	H24決算	7,923	3,962	0	3,961	H25予算	7,668	3,834	0	3,834
事業費内訳				重要施策																												
国庫支出金	県支出金	その他	一般財源																													
H22決算	8,289	4,276	0	4,013																												
H23決算	8,979	4,286	292	4,401																												
H24決算	7,923	3,962	0	3,961																												
H25予算	7,668	3,834	0	3,834																												

109	(再) 地域育児センター事業	担当課	保育課
事業内容	保育所の専門的機能を活用し、地域における子育てのニーズにきめ細やかに対応するため、各認可保育所において様々な子育て支援事業を実施します。		
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所 4園 ・民間保育所 7園 		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			
H24. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所 4園 育児相談事業 延べ147件 三世代交流型支援事業 延べ161回 園庭開放 延べ209人 ・民間保育所 7園 育児相談事業 延べ880件 三世代交流型支援事業 延べ38回 園庭開放 延べ1,130人 	事業評価	B・Cの理由
		A	

H24. 報告事項	例年どおり実施							
H25. 事業計画	・公立保育所 4園 育児相談事業 三世代交流型支援事業 園庭開放 ・民間保育所 7園 育児相談事業 三世代交流型支援事業 園庭開放	予算額・財源内訳(単位：千円)						重要 施策
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	0	
		H24決算	0	0	0	0	0	
H25予算	0	0	0	0	0			

110	子育てサロン	担当課	社会福祉協議会
事業内容	地区の主任児童委員・民生委員・児童委員と協力し、親子の自由な遊び場や保護者同士の交流の場として、「子育てサロン」を開催します。		
計画目標	実施回数 12回 参加者数 大人 250人、子ども250人		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組結果	実施回数 12回 参加者数(延べ人数) 507人 大人 230人 子供 277人 (※内新規 146人) 大人 67人 子供 79人	事業評価	B・Cの理由
		—	

H24. 報告事項	○変更点等 ・毎月のチラシ回覧を成瀬地区4自治会から5自治会に依頼を増やした。市のTwitterによる周知も実施。 ・市の子育て支援センターや近隣スーパー等、今年度から新たにポスターの掲示を依頼した結果、月平均の参加者が9組から20組に増えた。 ・毎月の開催状況について、ホームページ等で報告を行った。赤ちゃん訪問でのチラシ配布を実施。 ○工作やリズム体操について、23年度までは市内保育園の協力を得ていたが24年度は対応不可となった。現在は保育士の資格を持つ社協の臨時職員が対応している。雇用期間の問題から、今後の継続性に課題があり、子育て担当課や関係機関の協力が必要である。 ○12月・1月に参加者のアンケートを実施した。参加したいと思う条件は「場所」「時間帯」が最も多く、広い和室の会場であることが喜ばれている。また、工作についても親子で楽しむ機会となっている。		

H25. 事業計画	・親子の安全で楽しい遊び場の提供、子育て中の保護者と子供の地域交流を促す。 ・工作等については、今後市民ボランティアの活用を検討。 ・市内他の子育て団体との情報交換会を5月に実施。今後もこういう場を設け連携しながら、市内の子育てを支えていく。 ・新たな周知方法の検討。 ※財源は年末たすけあい募金	予算額・財源内訳(単位：千円)						重要 施策
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	18	0	0	18	0	
		H23決算	25	0	0	25	0	
		H24決算	17	0	0	17	0	
H25予算	44	0	0	44	0			

111	(再)療育相談	担当課	子ども家庭相談室
事業内容	専門相談員が、心身の発達に遅れや心配のある乳幼児等に関する相談に応じ、具体的な支援を行います。		
計画目標	相談支援件数 2, 200件		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組結果	(事業予定) 継続実施 相談支援件数1, 707件	事業評価	B・Cの理由
		A	発達障害を疑う幼児は増加傾向にある。ライフステージを通しての支援体制が課題

H24. 報告事項	○利用者に見やすいよう、ホームページの掲載内容を更新しました。
-----------	---------------------------------

H25. 事業 計画	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳					
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源		
		H22決算	10,106	0	0	0	10,106		○
		H23決算	10,169	0	0	0	10,169		○
		H24決算	10,310	0	0	0	10,310		○
H25予算	10,590	0	0	0	10,590	○			

112	新ママセミナー	担当課	社会教育課
事業 内容	日ごろの子育ての悩みを解消するとともに、仲間づくりを推進します。		
計画 目標	実施回数 1 講座3回		

A (計画どおり進捗した) **B** (やや遅れている) **C** (ほとんど進捗していない)

H24. 取組 結果	0歳から1歳児の子を持つ親を対象に、 1講座(全3回)を実施予定 (会場：伊勢原南公民館)	事業評価	B・Cの理由
		A	

H24. 報告 事項	○全3回のうち、子どものための「お菓子作り」を、母親のリフレッシュのための「ヨガ」に変更した。 ○「不安なことが聞けてよかった」「リフレッシュできた」「今日から役立つ話がたくさん聞けた」等々の好評を博した。		
------------------	--	--	--

H25. 事業 計画	0歳から1歳児の子を持つ親を対象に、 1講座(全3回)を実施予定 (会場：伊勢原南公民館)	予算額・財源内訳(単位：千円)						重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳					
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源		
		H22決算	30	0	0	0	30		
		H23決算	42	0	0	0	42		
		H24決算	35	0	0	0	35		
H25予算	31	0	0	0	31				

113	家庭児童相談	担当課	子ども家庭相談室
事業 内容	家庭における適正な児童養育、その他家庭児童福祉の向上を図るため、家庭及び児童の福祉に関する相談に応じ、必要な調査や助言、指導を行います。		
計画 目標	相談支援件数 4,000件		

A (計画どおり進捗した) **B** (やや遅れている) **C** (ほとんど進捗していない)

H24. 取組 結果	(事業予定) 継続実施 相談支援件数4,197件	事業評価	B・Cの理由
		A	

H24. 報告 事項	○利用者に見やすいよう、ホームページの内容を更新しました。		
------------------	-------------------------------	--	--

H25. 事業 計画	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳					
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源		
		H22決算	1,979	0	0	130	1,849		○
		H23決算	2,037	0	0	26	2,011		○
		H24決算	2,050	0	0	0	2,050		○
H25予算	2,064	0	0	0	2,064	○			

114	母子父子福祉相談	担当課	子育て支援課
事業 内容	母子や父子、寡婦家庭の生活一般、児童、生活援助などに関し、子育て支援課内で母子自立支援員が相談に応じます。また、市内認可保育所においても、母子自立相談員(園長)による同様のサービスを行います。		

計画 目標	継続実施							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組 結果	延べ相談件数 1, 101件	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告 事項	○例年どおり実施 ○母子家庭の母、父子家庭の父からの相談に母子自立支援員が応じました。 ○様々なケースへの対応。 母子自立相談員(園長)から相談状況報告があがることはあるものの、相談数は少ない							
H25. 事業 計画	母子自立支援員及び母子自立相談員が母子家庭の母及び父子家庭の父の相談に応じます。	予算額・財源内訳(単位:千円)				重要 施策		
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金		その他	一般財源
		H22決算	3,351	0	0		0	3,351
		H23決算	3,231	0	0		0	3,231
		H24決算	3,443	0	0		0	3,443
	H25予算	3,457	0	0	0	3,457		

115	子育て相談窓口の一元化の推進	担当課	子ども家庭相談室					
事業 内容	関係機関との連携により、子育て支援にかかわる窓口の一元化を推進します。							
計画 目標	子育て相談窓口の体制強化							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組 結果	(事業予定) ・継続実施 ・児童相談センターの運営(児童相談事業、発達相談等事業、虐待防止等事業の実施)	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告 事項	例年どおり実施 児童相談センターの運営(児童相談事業、発達相談等事業、児童虐待防止等事業の実施)							
H25. 事業 計画	継続実施 ・児童相談センターの運営(児童相談事業、発達相談等事業、児童虐待防止等事業の実施)	予算額・財源内訳(単位:千円)				重要 施策		
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金		その他	一般財源
		H22決算	0	0	0		0	0
		H23決算	0	0	0		0	0
		H24決算	0	0	0		0	0
	H25予算	0	0	0	0			

116	子育て支援総合コーディネート事業	担当課	子育て支援課		
事業 内容	「子育て支援総合コーディネーター」を配置し、地域における多様な子育てサービス情報を一元的に把握するとともに、収集した情報をデータベース化し、インターネット等を活用したサービス利用者への情報提供、ケースマネジメント及び利用支援などのサービスを提供します。				
計画 目標	子育て支援センターに専任コーディネーターを1名配置				
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)					
H24. 取組 結果	・子育てマップなどの作成・配布 ・子育て支援に関する様々な情報の蓄積、発信	事業評価	B・Cの理由		
		—	問い合わせに対する情報提供はその都度実施しているが、専任コーディネーターの配置には至らず、ホームページ等の活用も不十分であるため。		

H24. 報告事項	○例年どおり実施 ○事業推進するための専門従事者が不足している。							
H25. 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 子育てマップなどの作成・配布 子育て支援に関する様々な情報の蓄積及び発信 各専門機関との話し合い、情報共有 コーディネート機能の充実 	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	161	0	0	0		161
		H23決算	168	0	0	0		168
		H24決算	159	0	0	0		159
H25予算	168	0	0	0	168			

117	(再)健康カレンダーの配布	担当課	健康管理課					
事業内容	健康診査、予防接種等の日程等を掲載した「健康カレンダー」を新聞に折り込み全戸配布します。							
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> 継続実施 年間43,000冊 							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組結果	全世帯に対し、新聞折込及び市役所窓口、各公民館等にて配布。 43,000冊発行	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告事項	○掲載レイアウトや記載表現を読みやすいように変更しました。							
H25. 事業計画	全世帯に対し、新聞折込及び市役所窓口、各公民館等にて配布。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳		重要施策		
				国庫支出金	県支出金		その他	一般財源
		H22決算	406	0	0		0	406
		H23決算	398	0	0		0	398
		H24決算	398	0	0		0	398
H25予算	493				493			

118	児童虐待防止等事業	担当課	子ども家庭相談室
事業内容	保護者のない児童又は保護者に監護させることが不相当であると認められる児童の適切な保護を図るとともに関係機関との連携に努め児童虐待防止に取り組みます。		
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> 伊勢原市要保護児童対策地域協議会の運営 代表者会議開催 1回 実務担当者会議開催 2回 全ケース把握会議開催 12回 ケース検討会議開催 120回 研修会開催 2回 		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			
H24. 取組結果	(事業予定) 継続実施 伊勢原市要保護児童対策地域協議会の運営	事業評価	B・Cの理由
	<ul style="list-style-type: none"> 代表者会議 2回開催 実務担当者会議 2回開催 全ケース把握会議 12回開催 ケース検討会議開催 109回 研修会 5回開催 キャンペーン活動 1回開催 出前講座 3回 	A	

H24. 報告 事項	○通告等の新規受理件数のカウント方法を県児童相談所と同様(通告児以外の兄弟姉妹も件数に算入)にした。ホームページの掲載内容を更新した。							
H25. 事業 計画	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	194	125	0	0	69	○
		H23決算	1,058	39	511	0	508	○
		H24決算	898	0	271	0	627	○
H25予算	2,098	0	1,593	0	505	○		

119	子ども虐待防止電話相談	担当課	子ども家庭相談室
事業 内容	NPO法人「子ども虐待ネグレクト防止ネットワーク」に委託し、電話による相談事業を行います。		
計画 目標	継続実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組 結果	(事業予定) ・継続実施 ・NPO法人子ども虐待ネグレクト防止ネット ワークに電話相談事業を委託実施	事業評価	B・Cの理由
		A	

H24. 報告 事項	○例年どおり実施
------------------	----------

H25. 事業 計画	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	468	0	0	0	468	○
		H23決算	468	0	0	0	468	○
		H24決算	468	0	0	0	468	○
H25予算	468	0	0	0	468	○		

3-④経済的負担の軽減

<施策の対応方針>

- 子どもの医療費の支援に努めます。
- 保育料等の減額や助成などの支援に努めます。
- 障害のある子どものいる家庭への経済的支援に努めます。
- ひとり親家庭への、充実した経済支援に努めていきます。
- 子育てにかかる望ましい住環境が提供できるよう、市営・県営住宅等の情報提供に努めます。

120	子ども手当支給	担当課	子育て支援課					
事業内容	次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを、社会全体で応援することを目的として、中学校修了までの子どもを対象として、親等に子ども手当・児童手当を支給します。							
計画目標	「児童手当」から「子ども手当」へ移行。さらに「子ども手当」から「児童手当」へ移行。							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組結果	「子ども手当」から「児童手当」に移行し、児童の養育をする約8,300人の親等に対し手当を支給する。 支給額は、3歳未満が一律15,000円、3歳以上小学校修了前が10,000円（第三子以降は15,000円）、中学生が一律10,000円。また平成24年6月分から所得制限が導入され、所得制限限度額以上の者に対しては、児童一人につき月額5,000円の支給を行った。	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども手当については、「平成23年度等における子ども手当の支給に関する特別措置法」による経過措置が25年3月まで延長されたため、これに伴う認定支給を行った。児童手当については、平成24年4月の子ども手当からの制度改正に伴い児童手当法に基づく認定支給事務を行った。 ○居住実態の把握等、支給要件の確認が困難である。 							
H25. 事業計画	○児童手当法に基づく認定支給を行います。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	1,757,366	1,379,426	188,951	0	188,989	
		H23決算	2,003,406	1,544,696	227,080	0	231,630	
		H24決算	1,749,086	1,224,721	251,024	0	273,341	
H25予算	1,673,714	1,166,392	250,971	0	256,351			

121	多子世帯保育料の軽減	担当課	保育課
事業内容	保育料にかかる保護者の負担を軽減するため、同一世帯で2人以上の子どもが認可保育所に入所する場合、保育料の階層に応じて保育料を減額します。		
計画目標	継続実施		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			
H24. 取組結果	継続実施 ・3人入所の場合、3人目は無料	事業評価	B・Cの理由
		A	
H24. 報告事項	例年どおり実施		

H25. 事業 計画	継続実施 ・3人入所の場合、3人目は無料	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0		0
		H23決算	0	0	0	0		0
		H24決算	0	0	0	0		0
H25予算	0	0	0	0	0			

122	要保護及び準要保護児童生徒援助	担当課	学校教育課
事業 内容	経済的な理由で小・中学校への就学が困難な児童・生徒の保護者に対し、学用品費や給食費などの一部を助成します。		
計画 目標	継続実施		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			

H24. 取組 結果	経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費等必要な経費の一部について援助を行いました。	事業評価	B・Cの理由
		A	

H24. 報告 事項	例年どおり実施		
------------------	---------	--	--

H25. 事業 計画	経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費等必要な経費の一部について援助を行います。	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	47,497	494	0	0		47,003
		H23決算	48,885	469	0	0		48,416
		H24決算	46,584	209	0	0		46,375
H25予算	51,507	550	0	0	50,957			

123	小児医療費助成事業	担当課	子育て支援課
事業 内容	0歳から中学校卒業までの子どもの入院や通院に係る医療費の一部を助成し、家庭における子育て費用の負担の軽減を図ります。		
計画 目標	継続実施		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			

H24. 取組 結果	0歳児～小学3年生(所得制限なし)の通院・入院について276,721,455円(146,970件)、小学4年生～中学生(所得制限あり)の入院について1,854,260円(34件)の助成を行った。	事業評価	B・Cの理由
		A	

H24. 報告 事項	例年どおり実施		
------------------	---------	--	--

H25. 事業 計画	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	232,530	0	57,928	0		174,602
		H23決算	239,940	0	78,817	0		161,123
		H24決算	285,112	0	55,613	0		229,507
H25予算	281,299	0	58,508	0	222,791			

124	出産一時金の支給	担当課	保険年金課					
事業内容	国民健康保険の被保険者が出産した場合、出産一時金が支給されます。 ・支給単価 42万円							
計画目標	支給単価の拡大							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組結果	・支給対象者 124人	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告事項	○国民健康保険法に基づき支給するものです。平成24年度変更点はありません。							
H25. 事業計画	・支給対象者見込 120人	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	52,302	2,800	0	0	49,502	
		H23決算	53,760	1,260	0	0	52,500	
		H24決算	52,080	180	0	0	51,900	
H25予算	50,400	0	0	0	50,400			

125	(再) 幼稚園就園児補助	担当課	子育て支援課					
事業内容	保護者の経済的負担の軽減と幼児教育の振興を図るため、市内在住の子どもが市内・市外の私立幼稚園に就園する場合に、入園料等の一部を助成します。							
計画目標	継続実施							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組結果	私立幼稚園に就園させている保護者に対し、保育料等の一部を補助し、保護者の経済的負担軽減を図りました。 (対象) 27園、1,709人	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告事項	○例年どおり実施 ○子ども・子育て支援新制度の施行に合わせ、事業のあり方を検討する。 ○補助額の増額を要望する声がある。							
H25. 事業計画	私立幼稚園に就園させている保護者に対し、保育料等の一部を補助していきます。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	11,193	0	0	0	11,193	
		H23決算	11,481	0	0	0	11,481	
		H24決算	11,869	0	0	0	11,869	
H25予算	11,843	0	0	0	11,843			

126	ひとり親家庭等医療費助成事業	担当課	子育て支援課
事業内容	ひとり親家庭の家族が病気等で受診したときの医療費の一部を助成し、その経済的負担の軽減を図ります。		
計画目標	継続実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組結果	ひとり親家庭の世帯員に対し、48,199,970円(18,685件)の医療費を助成した。	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告事項	例年どおり実施							
H25. 事業計画	継続実施	予算額・財源内訳(単位:千円)					重要施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	51,575	0	24,170	0		27,405
		H23決算	52,248	0	24,750	0		27,498
		H24決算	48,441	0	22,091	0		26,350
	H25予算	51,345	0	24,402	0	26,943		

127	ひとり親家庭等入学支度金支給	担当課	子育て支援課
事業内容	ひとり親家庭の児童が小学校・中学校に入学する際に入学支度金を支給し、経済的負担の軽減を図ります。		
計画目標	継続実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組結果	小学校入学10,000円(26人)、中学校入学12,000円(74人)を支給している。	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告事項	例年どおり実施							
H25. 事業計画	例年どおり実施	予算額・財源内訳(単位:千円)					重要施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	1,218	0	0	0		1,218
		H23決算	1,150	0	0	0		1,150
		H24決算	1,148	0	0	0		1,148
	H25予算	1,222	0	0	0	1,222		

128	ひとり親家庭援護事業	担当課	社会福祉協議会
事業内容	ひとり親家庭の中学校卒業生に対して、祝品を支給します。		
計画目標	継続実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組結果	ひとり親家庭の中学校卒業生に対し、祝い品として図書カード1万円を15名に支給しました。	事業評価	B・Cの理由			
		—				

H24. 報告事項	○例年どおり実施 ○民生委員との協働事業であり、民生委員が日頃関りを持つ世帯を対象としている。個人情報の関係から、市から民生委員に対し新規等に対する情報提供が無いため、把握方法に課題がある。							
H25. 事業計画	今年度も実施方法は例年どおり。 ※財源は社協会員会費	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	190	0	0	190	0	
		H23決算	190	0	0	190	0	
		H24決算	150	0	0	150	0	
H25予算	300	0	0	300	0			

129	児童扶養手当支給	担当課	子育て支援課					
事業内容	母子世帯等の生活の安定を図り自立を促進するため、父と生計を同じくしていない児童を養育する人に手当を支給し、児童福祉の増進を図ります。							
計画目標	継続実施							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組結果	児童一人全部支給41,430円、児童二人以上の加算2人目5,000円、3人目以降3,000円。一部支給41,420円から9,780円。受給権者数 644人。(うち父子家庭 23人)	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告事項	○児扶手法に基づく制度のため、変更等ありません。 ○様々なケースへの対応							
H25. 事業計画	母子家庭の母及び単身家庭の父、養育者に対し、手当を支給します。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	254,927	84,000	0	0	170,927	
		H23決算	263,783	87,728	0	0	176,055	
		H24決算	260,621	86,925	0	0	173,696	
H25予算	264,870	87,441	0	0	177,429			

130	母子寡婦福祉資金の貸付制度	担当課	子育て支援課
事業内容	母子家庭や寡婦の方に低利又は無利子で資金を貸すことにより、その経済的自立や子どもの福祉の増進を図ります。		
計画目標	継続実施		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			
H24. 取組結果	県事業(12種類の貸付制度)のこの制度に関して、貸付や償還の相談を行った。	事業評価	B・Cの理由
		A	
H24. 報告事項	○H24年度から県政策局総務課預かりで延滞債権ケースの償還指導を開始した。 また、年度途中より県子ども家庭課と県社会福祉協議会の協議により、市社会福祉協議会で相談者がスムーズに相談の流れにのれるよう、市から市社会福祉協議会へ貸付における相談確認書の発行を開始した。		

H25. 事業計画	○25年度も引き続き、償還が滞っているケースについては、県政策局総務課預かりで延滞債権ケースの償還指導を行う。 ○市でも引き続き償還指導を行う。	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0		0
		H23決算	0	0	0	0		0
		H24決算	0	0	0	0		0
H25予算	0	0	0	0	0			

131	母子家庭自立支援教育訓練給付金事業	担当課	子育て支援課
事業内容	母子家庭の自立を促進するため、母子家庭の母親が自立して生計を維持するための教育訓練講座を受講した場合、その受講料の一部を支給します。		
計画目標	継続実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組結果	受講料の20% (上限10万円) を支給 (対象 0人)	事業評価	B・Cの理由
		A	対象者がいなかったため

H24. 報告事項	<p>例年どおり実施 また、自立支援教育訓練給付事業の他に平成18年度から高等技能訓練促進費等事業を実施した。 H21年度新規対象：2名 H22年度新規対象：2名 H23年度新規対象：1名 修了：4名 H24年度新規対象：1名 修了：2名 ○母子寡婦法に基づき支給額及び修業全期間の変更。 ○毎年の制度変更への対応及び周知がたいへんである。</p>
-----------	--

H25. 事業計画	平成25年度から母子家庭の母だけでなく、父子家庭の父についても対象となった。制度周知に努めます。 H25年度新規対象：1件	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0		0
		H23決算	0	0	0	0		0
		H24決算	0	0	0	0		0
H25予算	40	30	0	0	10			

132	緊急母子貸付金	担当課	子育て支援課
事業内容	母子寡婦福祉協会に所属している母子家庭に対し、生活費に充てる経費を貸し付けます。		
計画目標	継続実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組結果	市母子寡婦福祉協会の実施事業 (実施検討中)	事業評価	B・Cの理由
		—	平成22年度から母子寡婦福祉協会での事業の方向性を検討中のため市の窓口相談も行っていない。市で事業決定できないため評価対象としない。

H24. 報告事項	市母子寡婦福祉協会の実施事業 事業が停止していることから、同様の相談があった場合には、生活困難者に対する他の貸付制度を紹介することで対応している。
-----------	--

H25. 事業計画	市母子寡婦福祉協会の実施事業 (廃止の報告で検討中)	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0		0
		H23決算	0	0	0	0		0
		H24決算	0	0	0	0		0
H25予算	0	0	0	0	0			

133	特別児童扶養手当支給	担当課	障害福祉課				
事業内容	政令で定める一定の身体障害・知的障害・精神障害の状態にある児童について、福祉の増進を図ることを目的として手当を支給します。						
計画目標	継続実施						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H24. 取組結果	対象者数 149人 (県財源)	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H24. 報告事項	例年どおり実施						
H25. 事業計画	対象者数 149人 (県財源)	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫支出金	県支出金	その他	
		H22決算	529	203	0	0	326
		H23決算	535	213	0	0	322
		H24決算	534	211	0	0	323
H25予算	535	211	0	0	324		

134	障害児福祉手当支給	担当課	障害福祉課				
事業内容	身体・知的障害のある在宅の重度障害児に手当を支給します。						
計画目標	継続実施						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H24. 取組結果	障害児 534人	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H24. 報告事項	例年どおり実施						
H25. 事業計画	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫支出金	県支出金	その他	
		H22決算	7,119	5,339	0	0	1,780
		H23決算	8,187	6,140	0	0	2,047
		H24決算	7,716	5,787	0	0	1,929
H25予算	9,254	6,940	0	0	2,314		

135	特別支援学校在学者福祉手当支給	担当課	障害福祉課
事業内容	特別支援学校に在学している障害者に対して、手当を支給します。		
計画目標	継続実施		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			

H24. 取組 結果	・対象者数 小学部以下 26人 中学部以上 62人 計 88人	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告 事項	例年どおり実施							
H25. 事業 計画	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	3,441	0	0	0	3,441	
		H23決算	4,010	0	0	0	4,010	
		H24決算	4,791	0	0	0	4,791	
H25予算	4,809	0	0	0	4,809			

136	市営・県営住宅等の情報提供	担当課	建築住宅課
事業 内容	家庭内における子育て環境の整備に資するため、市営住宅や県営住宅等の入居について、母子及び父子世帯、多子世帯優遇制度の情報提供を行います。		
計画 目標	公営住宅等の入居者募集及び入居優遇制度の情報提供を実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組 結果	市営住宅入居者募集 (7月実施) 市営住宅募集のしおり配付 7月11日～7月27日 募集戸数5戸 応募件数 19件 入居件数 5件 (うち母子世帯3件) 県営住宅募集のしおり配付 5月募集 5月10日～6月1日 11月募集 11月9日～12月3日 常時募集 4月16日～11月30日	事業評価	B・Cの理由
		A	

H24. 報告 事項	例年どおり実施		
------------------	---------	--	--

H25. 事業 計画	市営住宅入居者募集 (7月予定) 市営住宅募集のしおり配付 7月16日～8月1日 募集戸数6戸 県営住宅募集のしおり配付 (定期募集 5月・11月予定) 5月募集 5月10日～6月3日 11月募集 11月中旬～12月上旬 常時募集 4月16日～11月29日	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	0	
		H24決算	0	0	0	0	0	
H25予算	0	0	0	0	0			

基本目標4 親と子の健康づくりを進めます

施策の目標

- 安心して妊娠・出産ができると感じている保護者の割合を増やします
- 子どもの医療環境に安心感を感じている保護者の割合を増やします

4-①安心して出産し子育てができる環境づくり

<施策の対応方針>

- 訪問・保健指導や相談等を充実し、妊娠期からの切れ目のない継続的な支援を実施します。
- 妊娠期における検診の充実を図ります。
- 父親の育児参加を促進します。

137	母子父子健康手帳の交付	担当課	子育て支援課						
事業内容	妊娠や出産、育児に役立てるとともに、予防接種や成長、発達記録を残し、また父親の育児参加を促進するため、手帳を交付します。								
計画目標	継続実施								
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)									
H24. 取組結果	H24年度 977件	事業評価	B・Cの理由						
		A	母子保健従事者が面談し、個別に対応している。相談等、フォローが必要な方に随時、専門職が対応できる体制にしている。						
H24. 報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ○例年どおり実施 ○妊娠届出数が前年度比較約6%減少 								
H25. 事業計画	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)							
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策		
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源	
			H22決算	503	0	0	0	503	
			H23決算	451	0	0	0	451	
			H24決算	523	0	0	0	523	
	H25予算	593	0	0	0	593			

138	妊婦健康診査	担当課	子育て支援課
事業内容	妊婦・乳児の死亡率の低下や早産・死産の防止、心身障害の発生予防のため、医療機関に委託し、妊娠中の健康管理を行います。		
計画目標	妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減を図るため妊婦健診の公費補助を実施 1人に対し14回		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			
H24. 取組結果	H24年度 10,332件	事業評価	B・Cの理由
		A	産院によって、早めに妊娠届出を受理することを促さなかったり、国が推奨する健診回数に満たないことがあるようだ。産院を有する医療機関と情報交換を行い、実態を把握していく必要がある。

H24. 報告事項	○前年度比較約3%増加 ○平成24年度にて妊婦健康診査支援基金補助金終了							
H25. 事業計画	○一般財源にて、継続事業実施 ○産科を有する医療機関と連携し、早期の妊娠届出及び妊婦健康診査受診勧奨を行う。 ○助成額について検討。	予算額・財源内訳(単位：千円)						重要施策
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	39,147	0	9,142	0	30,005	
		H23決算	37,824	0	8,613	0	29,211	
H24決算	38,463	0	9,021	0	29,442			
H25予算	41,421	0	0	0	41,421			

139	母親・父親学級／両親教室母親・父親学級フォローアップ教室	担当課	子育て支援課
事業内容	初妊婦やその夫に、妊娠や分娩、産じょく、育児、栄養に関する知識を習得し、仲間づくりの場を提供します。また、妊娠中や産後の不安軽減のため、フォローアップ教室開催に向けて検討します。		
計画目標	・母親・父親学級 4日間6コースで実施 参加者500人 ・両親教室 年5回実施 参加者200人		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組結果	H24年度より、両親教室土曜開催内容を見直し、グループミーティング形式を導入し、年7回実施とする。 ・母親・父親教室 参加者数 247人 ・両親教室 参加者数 153人	事業評価	B・Cの理由
		B	平日コースに合わせ、4日目開催回数を減らしたことにより、参加者数が前年度に比べ減っているが、産院で開催する教室に参加する人も少なくない。プログラムの見直しにより、仲間作りや育児への意識が高まり、行政サービスを理解でき、満足度は高い。

H24. 報告事項	○交流しやすい雰囲気づくりや関心の高い内容を取り入れたり、事業の工夫を行った。 ○離乳食教室と交流をするなど参加者の満足度は高い。 ○市内産院開催の教室視察、連携を図る。
-----------	---

H25. 事業計画	○引き続き、妊婦を取巻く情報を整理し、安心して出産できる環境づくりの一貫として、内容を検証、工夫していく。	予算額・財源内訳(単位：千円)						重要施策
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	343	0	0	0	343	
		H23決算	534	0	0	0	534	
H24決算	545	0	0	0	545			
H25予算	823	0	0	0	823			

140	訪問指導 (妊産婦・新生児・未熟児・乳幼児)	担当課	子育て支援課
事業内容	妊産婦や新生児、乳幼児の健康を守るため、保健師や助産師などが訪問し、授乳指導を行い、育児確立のための支援を行います。		
計画目標	要望家庭・随時訪問実施 訪問件数1,000件		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組結果	訪問件数 1,315件 ・こんにちは赤ちゃん訪問 838件 内訳 専門職新生児訪問 541件 子育てサポーター・民生児童委員訪問 297件 赤ちゃん訪問協力者の子育てサポーターへの報償費支給を開始。 ・外担当保健師訪問 477件 妊娠期から新生児、乳幼児期の継続した個別の子育て応援訪問を実施。	事業評価	B・Cの理由
		A	こんにちは赤ちゃん訪問はほぼ全数実施できている。地区担当の保健師が必要時、随時、継続訪問できる時間や業務の調整管理が必要である。

H24. 報告事項	○例年どおり実施 ○妊娠届出から乳幼児健診に至る支援が必要な児、未受診者及び転入者の把握に努めた。							
H25. 事業計画	○妊娠届出から就学前までの児らの状況把握、支援の必要性について検証していく。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	1,810	469	0	0	1,341	
		H23決算	4,424	2,212	0	0	2,212	
		H24決算	5,244	2,918	0	0	2,326	
H25予算	5,702	2,963	0	0	2,739			

141	(再) 養育支援訪問事業	担当課	子ども家庭相談室
事業内容	出産後間もない時期の養育者や様々な原因で養育が困難になっている家庭に育児・家事等の援助を行うヘルパーや保健師、保育士等を派遣し、育児支援を行うことにより、養育上の諸問題の解決、軽減を図り、虐待を未然に防止することに繋がります。		
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> 産褥期ヘルパー派遣 8件 延80日 専門的家庭訪問 10件 延120日 		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組結果	(事業予定) 継続実施	事業評価	B・Cの理由
	<ul style="list-style-type: none"> 産褥期ヘルパー派遣 2件 延19日 専門的家庭訪問 9件 延47日 	A	専門的訪問について養育困難な状況にある対象者に対し、個々の状態に応じた決め細やかな支援内容を検討していくことが課題である。

H24. 報告事項	○ホームページの記載内容を更新 ○利用周知等を行っているが利用件数がここ数年低い ○産褥期ヘルパー派遣については、産褥期に限らず産前も利用できる制度への拡大が望まれている。		
-----------	--	--	--

H25. 事業計画	継続実施 ・産前における利用実施に向け検討	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	219	169	0	0	50	
		H23決算	170	84	0	0	86	
		H24決算	215	107	0	0	108	
H25予算	241	0	120	0	121			

142	多胎児教室	担当課	子育て支援課
事業内容	双子や三つ子等、多胎児の保護者に対して、子育てに関する教室を秦野保健福祉事務所と共催で開催して精神的な負担の軽減及び健康の確保を図ります。		
計画目標	秦野保健所との共催で継続実施 (参加者50組)		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組結果	子育て支援センターにて年3回 ひろば開所時に「ふたごちゃんすぺしゃるデイ」を同時開催 双子10組+多胎妊婦2人参加	事業評価	B・Cの理由
		A	就園前の多胎児及び多胎妊婦への情報交換の場として定着してきた。継続的に、対象者のニーズを把握していく必要がある。

H24. 報告事項	○平成23年度からふたごちゃんすぺしゃるデイとして運営。 ○主に就園前の乳幼児の保護者が集える場に定着している。 ○多胎児同士の交流の他、多胎児を妊娠している妊婦が参加し、話が出来る場にもなっている。		
-----------	--	--	--

H25. 事業 計画	○引き続き、多胎児が会える機会として、継続実施。	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0		0
		H23決算	0	0	0	0		0
		H24決算	0	0	0	0		0
H25予算	0	0	0	0	0			

143	母親・父親学級同窓会の開催検討	担当課	子育て支援課
事業 内容	参加者からの要望が高い母親・父親学級同窓会について、開催に向けて検討していきます。		
計画 目標	継続実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組 結果	母親父親教室1コース3日目に、子育て支援センターで実施している離乳食教室と合流。交流の機会とした。	事業評価	B・Cの理由
		A	妊婦と7か月の児を持つ母子との交流は、経験者同士のいい情報の場になっている。満足度が高い。

H24. 報告 事項	○母親父親教室と離乳食教室と合流。 ○離乳食教室参加者増加。 ○アンケート結果により満足度高いと評価。		
------------------	---	--	--

H25. 事業 計画	○引き続き実施。 ○随時アンケートにより評価	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0		0
		H23決算	0	0	0	0		0
		H24決算	0	0	0	0		0
H25予算	0	0	0	0	0			

144	不妊治療の支援	担当課	子育て支援課
事業 内容	神奈川県不妊治療専門相談センターによる不妊相談や、神奈川県特定不妊治療費助成事業の開始に伴い、市として情報提供に努めていくとともに、今後の支援策を検討します。		
計画 目標	継続実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組 結果	引き続き、支援のあり方を検討した。不育症の普及啓発を図った。	事業評価	B・Cの理由
		A	平成25年度不育症治療費助成事業開始の準備を行った。

H24. 報告 事項	○不育症、不妊症支援のあり方検証 ○県の特定不妊治療費一部助成事業の対象枠を拡大し、不育症や一般不妊も対象とするよう要望。 ○不育症治療費一部助成事業準備		
------------------	---	--	--

H25. 事業 計画	○不育症治療費一部助成事業開始	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0		0
		H23決算	0	0	0	0		0
		H24決算	0	0	0	0		0
H25予算	800	0	0	0	800			

4-②親と子の健康の確保

<施策の対応方針>

- 母子保健における各種健康診査、訪問指導、保健指導等を充実します。
- 心身の健康づくり、疾病の早期発見・障害の発生予防など、総合的な母子保健対策を推進します。
- 食を通じた豊かな人間性・家族関係・心身の健全育成を図っていきます。
- 食育推進計画を策定し、計画的に食育の普及を図ります。

145	マタニティクッキング	担当課	子育て支援課					
事業内容	妊婦に対し調理実習や栄養教育を通じて食生活の改善を促し、妊婦の健康を確保します。							
計画目標	母親・父親学級1回4日間コースの中の第2日目の教室に実施 参加者100人							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組結果	H23年度と同様に年間6回実施。67名の参加があった。妊娠期の食事について伝えると共に、食育の一環としての食事の大切さを伝えた。経産婦の参加も促している。	事業評価	B・Cの理由					
		B	調理実習を嫌う人、就労し教室参加ができない妊婦等にも、妊婦の栄養教育が普及できる内容の検討が必要である。					
H24. 報告事項	○妊娠期から食生活を見直し、乳幼児期の食についての関心を高められるよう指導内容を検討した。 ○毎回アンケート実施。満足度高く、父親の参加も増えている。							
H25. 事業計画	○引き続き事業実施。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	460	386	0	62	12	
		H23決算	425	0	0	57	368	
		H24決算	465	0	0	57	408	
H25予算	552	0	0	72	480			

146	離乳食教室	担当課	子育て支援課					
事業内容	離乳食の献立や作り方等の実演および乳菌のむし菌予防等、乳幼児の食や栄養に関する正しい知識を伝え、健康維持増進を図ります。							
計画目標	年間参加者数 500人							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・H23年度同様に「初期」は実演、試食を含め年間12回予約制。241名参加。 ・「中期」・「後期」はすすく健康相談で随時実施。うち6回は、実演、試食を実施。440名参加。 大人からの取り分けの実演・試食を実施する為、午後開催に変更した。	事業評価	B・Cの理由					
		A	離乳食について、予約制と健康相談の中で教育ができる形式により、参加者が増えている。特に健康相談では、気軽に栄養士に確認できる場として、定着してきている。					
H24. 報告事項	○離乳食初期12回のうち6回は、母親父親教室との交流も行う。いずれも参加者の満足度が高い。 ○離乳食中期、後期は、随時健康相談で実施しているため、気軽に参加しやすく、毎回参加者が多い。 ○栄養士が中心となっているが、他の専門職と連携し、内容を検証、工夫した。							
H25. 事業計画	○引き続き事業実施。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	638	319	0	0	319	
		H23決算	2,869	1,434	0	0	1,435	
		H24決算	679	0	0	0	679	
H25予算	889	0	0	0	889			

147	(再) 思春期栄養改善事業	担当課	学校教育課
事業内容	中学生を対象に、児童生徒が望ましい食習慣を身に付け、食事を通じて自らの健康管理ができるようにするため、中学校での骨密度測定等を実施し、栄養改善を推進します。		
計画目標	骨密度測定と栄養教育を実施 中学校4校各1学年		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			
H24. 取組結果	望ましい食習慣を身に付けてもらうため、4中学校の2年生を対象に、骨密度測定を取り入れた栄養指導を行いました。	事業評価	B・Cの理由
		A	
H24. 報告事項	○6/12, 13 伊勢原中学校 265名 7/5 中沢中学校 158名 11/13 山王中学校 189名 12/5 成瀬中学校 225名 骨密度測定及び栄養教育を中学2年生837名に実施した。 ○あわせて食生活に関するアンケート調査を実施し、栄養指導のための資料として学校に報告した。		
H25. 事業計画	望ましい食習慣を身に付けてもらうため、4中学校の2年生を対象に、骨密度測定を取り入れた栄養指導を行います。	予算額・財源内訳(単位：千円)	
	年度	総事業費	事業費内訳
			国庫支出金 県支出金 その他 一般財源
	H22決算	48	0 0 0 48
	H23決算	133	0 0 0 133
	H24決算	91	0 0 0 91
	H25予算	154	0 0 0 154
			重要施策

148	(再) 思春期食育事業	担当課	健康管理課
事業内容	高校生を対象に、児童生徒が望ましい食習慣を身に付け、食事を通じて自らの健康管理ができるようにするため、高等学校での骨密度測定等を実施し、栄養改善を推進します。		
計画目標	骨密度測定、食教育及び食事相談を実施 高等学校2校		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			
H24. 取組結果	高等学校1校に骨密度測定、食教育及び食事相談を実施。	事業評価	B・Cの理由
		—	高校側が骨量測定の受け入れが難しく、学校数を増やすことが難しかった。
H24. 報告事項	○会場のレイアウトや展示物を見やすいように変更しました。		
H25. 事業計画	高等学校1校に骨密度測定、食教育及び食事相談を実施。	予算額・財源内訳(単位：千円)	
	年度	総事業費	事業費内訳
			国庫支出金 県支出金 その他 一般財源
	H22決算	219	109 0 0 110
	H23決算	196	98 0 0 98
	H24決算	91	0 0 0 91
	H25予算	92	0 0 0 92
			重要施策

149	健康診査時集団指導	担当課	子育て支援課
事業内容	健康診査時に、各月齢の発育、発達の外、事故防止、予防接種等について説明し、その外、栄養歯科に関わることや、子育てについての集団指導を行います。		
計画目標	継続実施		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			

H24. 取組 結果	<ul style="list-style-type: none"> 各健康診査時に専門職による集団指導を行った。 専門職間で指導内容等情報共有を図った。 乳児期からの歯科保健にも力を入れた。 親支援にも力を入れ実施した。 	事業評価	B・Cの理由				
		A	児の生活リズム、成長発達を促すため、親の養育力は重要である。親支援プログラムとして子育て練習講座を平成25年度から開始する。				
H24. 報告 事項	○各乳幼児健診で、保健師、栄養士、歯科衛生士が、月齢に応じた指導を実施。 ○予防接種の改正に応じた説明等、状況に応じ対応した。						
H25. 事業 計画	○引き続き、関係機関と連携し、変更点等注視し、指導内容を変更していく。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	
		H22決算	0	0	0	0	0
		H23決算	0	0	0	0	0
		H24決算	0	0	0	0	0
H25予算	0	0	0	0	0		

150	庁内栄養士連絡調整会議	担当課	健康管理課				
事業 内容	栄養士間での情報交換、連絡調整を行い、食育の推進を図ります。						
計画 目標	食育推進連絡会議に合わせて、実施						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H24. 取組 結果	「食育推進計画策定委員会」に合わせて随時実施。	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H24. 報告 事項	○24年度は食育推進計画の策定を進めるためにも担当するライフステージの業務を整理し、各課の栄養士が担う部分を整理した。						
H25. 事業 計画	食育の取組が総合的かつ計画的に推進されるよう随時実施。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	
		H22決算	0	0	0	0	0
		H23決算	0	0	0	0	0
		H24決算	0	0	0	0	0
H25予算	0	0	0	0	0		

151	食育推進のための体制づくり (食育推進計画の策定)	担当課	健康管理課			
事業 内容	家庭、保育所、学校における計画的な食育の推進を図るため、伊勢原市食育推進計画を策定し、伊勢原市食育推進会議を開催します。					
計画 目標	H24年度伊勢原市食育推進計画の策定および食育推進会議の実施					
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)						
H24. 取組 結果	食育推進計画策定委員会を実施し、食育推進計画の策定作業を進めた。	事業評価	B・Cの理由			
		B				
H24. 報告 事項	○年間3回の食育推進計画策定委員会を実施し、食育推進計画の策定作業を進めた。					

H25. 事業 計画	平成24年度に作成した第2次伊勢原市食育推進計画(案)について、パブリックコメントを実施し計画を策定。	予算額・財源内訳(単位:千円)						重要 施策
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	0	
		H24決算	90	0	0	0	90	
H25予算	0	0	0	0	0			

152	各種健康診査	担当課	子育て支援課
事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・4か月児健康診査 ・7か月児健康相談 ・お誕生日前健康診査 ・1歳6か月児健康診査 ・2歳児歯科健康診査 ・3歳児健康診査・経過検診 		
計画 目標	継続実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組 結果	お誕生日前健康診査のみ医療機関委託。その他、直営実施。各月2回開催。健診かるて(健康管理システム)導入し、事業管理を行う。健診従事者報告会及び、母子保健スタッフの勉強会を継続実施。	事業評価	B・Cの理由
		A	未受診者への受診勧奨や、実態把握に努めた。健診後のフォロー体制について、子ども家庭相談室や子育て支援センター等と情報を共有したり、課題についての取り組みの検討をしている。

H24. 報告 事項	<ul style="list-style-type: none"> ○妊娠期から乳幼児健診を通じ、児や養育者の子育て支援を継続的に支援。 ○各専門職と事業報告や情報を共有し、スタッフの質の維持を図る。
------------------	---

H25. 事業 計画	○継続実施	予算額・財源内訳(単位:千円)						重要 施策
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	26,856	0	0	0	26,856	
		H23決算	27,802	0	0	0	27,802	
		H24決算	26,634	0	0	0	26,634	
H25予算	22,431	0	0	0	22,431			

153	乳幼児精密検査	担当課	子育て支援課
事業 内容	乳幼児健康診査において要精検査となった対象者の精密検査を医療機関で実施します。		
計画 目標	継続実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組 結果	各健康診査での要精密検査児の把握、受診勧奨を行った。 ・要精密検査対象児 36人 うち未受診者5人	事業評価	B・Cの理由
		B	未受診者への受診勧奨及び状況確認が必要。
H24. 報告 事項	<ul style="list-style-type: none"> ○要精検のうち、4か月児健診での腎エコー検査による要精密検査児の経過について、医師会に情報提供を行った。 ○腎疾患のフォロー体制についての医師会勉強会参加。健診における検査及び受診勧奨について理解を深めた。 		

H25. 事業計画	○引き続き、事業実施及び医師会協力	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0		0
		H23決算	0	0	0	0		0
		H24決算	0	0	0	0		0
H25予算	9	0	0	0	9			

154	健康診査未受診者への指導（家庭訪問）	担当課	子育て支援課
事業内容	各種乳幼児健康診査未受診者に対し、虐待防止や乳幼児の健全な発達、発育確認のため、保健師が訪問し、受診勧奨を行います。		
計画目標	継続実施		

A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）

H24. 取組結果	健康かるてを導入し、未受診者の把握、アプローチを徹底し、受診勧奨を行った。	事業評価	B・Cの理由
		B	未受診者の実態把握は充分ではない。転入、転出者も少なくない。継続的支援が必要かどうかの見極めをしていく必要がある。

H24. 報告事項	○H24年度から稼働開始の新健康管理システムにより、未受診者の把握を実施。 ○未受診者の全数に、地区担当保健師が、電話、訪問による受診勧奨を実施。 ○未受診者の全数把握に努めているが、親の就労、外国籍による居住地変更等、母子保健でのアプローチに限界がある。		
-----------	--	--	--

H25. 事業計画	○引き続き、地区担当保健師による事業実施。 ○未受診者のフォローのあり方について、関係機関とも連携し、検討していく。	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0		0
		H23決算	80	0	0	0		80
		H24決算	80	0	0	0		80
H25予算	103	0	0	0	103			

155	育児教室	担当課	子育て支援課
事業内容	1歳6ヶ月児・3歳児健康診査などの経過観察として、親子を対象に集団的な遊びや個別相談を通じて指導や助言を行い、健全な発育や発達を促します。		
計画目標	継続実施		

A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）

H24. 取組結果	年間40回実施。 必要な児がタイムリーに参加できるよう、参加者管理を行った。	事業評価	B・Cの理由
		A	育児教室後の療育相談や療育機関の実態、課題を明確にする必要がある。発達の遅れに対する支援のあり方について他機関との連携が必要である。

H24. 報告事項	○児の発育、発達課題に加え、養育力の脆弱、環境因子も起因していることが少なくない。 ○育児教室後の療育相談、通園施設の受け入れも待機期間が長く、タイムリーな支援について検討が必要。		
-----------	---	--	--

H25. 事業計画	○引き続き、事業実施 ○関係機関と現状、課題を共有し、円滑な運営について検討していく。	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	1,003	0	0	0		1,003
		H23決算	2,032	0	0	0		2,032
		H24決算	2,111	0	0	0		2,111
H25予算	2,164	0	0	0	2,164			

156	乳幼児健康教育	担当課	子育て支援課				
事業内容	乳幼児やその家庭の健康保持・増進を図るため、保健師などが地区の公民館やコミュニティセンターなどに出向いて健康知識の普及や実技指導を行います。						
計画目標	継続実施						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H24. 取組結果	地域における育児支援のあり方を精査し、講座内容の検討を行った。 また、親支援プログラム(CSP)の活用、社会教育課、子育て支援センター等関係機関との連携を図り、企画運用について検討した。	事業評価	B・Cの理由 A 児の成長発達の要となる養育力を高めるため、親支援プログラムの導入準備ができた。次年度に地域展開を行い、評価していく必要がある。				
H24. 報告事項	○社会教育課と連携し、企画運営検討 CSP講座の地域展開 ○開催毎のアンケート結果、満足度高かった。						
H25. 事業計画	○継続事業実施	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
		H22決算	0	0	0	0	0
		H23決算	0	0	0	0	0
		H24決算	0	0	0	0	0
		H25予算	0	0	0	0	0

157	(再)訪問指導(妊産婦・新生児・未熟児・乳幼児)	担当課	子育て支援課				
事業内容	妊産婦や新生児、乳幼児の健康を守るため、保健師や助産師などが訪問し、授乳指導を行い、育児確立のための支援を行います。						
計画目標	要望家庭・随時訪問実施 訪問件数1,000件						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H24. 取組結果	訪問件数 1,315件 ・こにちは赤ちゃん訪問 838件 内訳 専門職新生児訪問 541件 子育てサポーター・民生児童委員訪問 297件 赤ちゃん訪問協力者の子育てサポーターへの報償費支給を開始。 ・外担当保健師訪問 477件 妊娠期から新生児、乳幼児期の継続した個別の子育て応援訪問を実施。	事業評価	B・Cの理由 A こにちは赤ちゃん訪問はほぼ全数実施できている。地区担当の保健師が必要時、随時、継続訪問できる時間や業務の調整管理が必要である。				
H24. 報告事項	○例年どおり実施 ○妊娠届出から乳幼児健診に至る支援が必要な児、未受診者及び転入者の把握に努めた。						
H25. 事業計画	○妊娠届出から就学前までの児らの状況把握、支援の必要性について検証していく。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
		H22決算	1,810	469	0	0	1,341
		H23決算	4,424	2,212	0	0	2,212
		H24決算	5,244	2,918	0	0	2,326
		H25予算	5,702	2,963	0	0	2,739

158	アレルギー教室	担当課	子育て支援課				
事業内容	小児疾患支援対策として、小児アレルギー疾患児又は疑いのある児及びその保護者又は関心のある保護者を対象に、問題や対象別に医師その他の専門職による講演会や保健指導教室を行います。						
計画目標	年2回開催 参加者100人						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H24. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> 市内小児科医を講師によるアレルギー教室 9/28 17人参加 管理栄養士講師によるアレルギー教室 12/3 15人参加 	事業評価	B・Cの理由				
		B	目標人数より低い参加者数であった。市内小児科医に気軽に相談できる教室は好評であった。今後も医師会と協力し、内容の精査、周知方法等の検討が必要である。				
H24. 報告事項	<ul style="list-style-type: none"> 各教室では、講演に加え、質疑応答の時間を多くとる。 個別の相談を参加者と共有することができた。 						
H25. 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 身近なかかりつけ医を講師として依頼。 アレルギーだけでなく、かかりつけ医がよく相談されることをテーマに教室を開催するなど、内容について医師会と検討していく。 	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	
		H22決算	71	0	0	0	71
		H23決算	54	27	0	0	27
		H24決算	63	0	0	0	63
H25予算	92	0	0	0	92		

159	アレルギー相談会	担当課	子育て支援課				
事業内容	小児疾患支援対策として、小児アレルギー疾患児又は疑いのある児及びその保護者に対し、生活上の問題点について、専門医師その他専門職による個別相談を行います。						
計画目標	継続実施						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H24. 取組結果	アレルギー教室と同時開催	事業評価	B・Cの理由				
		A	目標人数より低い参加者数であった。市内小児科医に気軽に相談できる教室は好評であった。今後も医師会と協力し、内容の精査、周知方法等の検討が必要である。				
H24. 報告事項	アレルギー教室と同様。						
H25. 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 身近なかかりつけ医を講師として依頼。 アレルギーだけでなく、かかりつけ医がよく相談されることをテーマに教室を開催するなど、内容について医師会と検討していく。 	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	
		H22決算	0	0	0	0	0
		H23決算	0	0	0	0	0
		H24決算	0	0	0	0	0
H25予算	0	0	0	0	0		

160	アレルギー職員研修会	担当課	子育て支援課
事業内容	指導・相談体制の充実を図るため、市内の施設に勤務する保健師・助産師・看護師・養護教諭・保育士・歯科衛生士・栄養士等を対象に、小児疾患に対する正しい知識の普及や緊急時の対処等についての研修を行います。		
計画目標	継続実施		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			

H24. 取組 結果	アレルギー教室を案内。 他は、保育課が実施。	事業評価	B・Cの理由				
		A	保育課と調整し、職員研修の充実を図る。				
H24. 報告 事項	市内施設の専門職は、保育課や学校教育課がそれぞれ実施する事業で対応。 母子保健従事者は、アレルギー教室の参加を勧奨し、その外、県、他課の案内を勧奨						
H25. 事業 計画	○平成24年度同様実施	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	
		H22決算	33	0	0	0	33
		H23決算	54	0	0	0	54
		H24決算	63	0	0	0	63
H25予算	92	0	0	0	92		

161	育児・栄養電話相談	担当課	子育て支援課
事業 内容	保健師や栄養士が、健康や育児、栄養に関する電話相談を受け付けます。		
計画 目標	継続実施		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			

H24. 取組 結果	食育推進嘱託員配置。母子保健スタッフチームによる個別相談や地区組織活動を展開。	事業評価	B・Cの理由				
		A	保健師、栄養士、助産師による電話相談が随時受けられる体制となっている。				
H24. 報告 事項	随時電話相談できる体制の紹介。 電話相談後、各事業で継続対応する等、安心して相談できる体制づくりとした。						
H25. 事業 計画	○引き続き、継続事業実施。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	
		H22決算	0	0	0	0	0
		H23決算	1,929	848	0	0	1,081
		H24決算	3,368	0	0	0	3,368
H25予算	3,685	0	0	0	3,685		

162	乳幼児健康電話相談	担当課	子育て支援課
事業 内容	保健師等により、乳幼児の育児等に関する電話相談を実施します。		
計画 目標	継続実施		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			

H24. 取組 結果	食育推進嘱託員配置。母子保健スタッフチームによる個別相談や地区組織活動を紹介することができた。	事業評価	B・Cの理由			
		A	相談内容を多職種と共有し、事業内容に反映するなど、チーム内で検討することができた。			

H24. 報告事項	随時電話相談できる体制の紹介。 電話相談後、各事業で継続対応する等、安心して相談できる体制づくりとした。							
H25. 事業計画	○引き続き、継続事業実施。	予算額・財源内訳(単位：千円)						重要 施策
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	1,929	848	0	0	1,081	
		H24決算	3,368	0	0	0	3,368	
H25予算	3,685	0	0	0	3,685			

163	乳幼児健康相談（すくすく健康相談）	担当課	子育て支援課
事業内容	乳幼児の健全な成長や発達を促すため、地区公民館などにおいて、身長・体重計測、健康相談などを行います。		
計画目標	継続実施		

A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）

H24. 取組結果	地区ごとの実情に応じた相談しやすい場の提供を行った。 各地区共に、受相者多く、ニーズ高い。 子育て支援センターの子育てひろばとの同時開催も定着してきた。 6会場 42回開催 参加者数 2345人	事業評価	B・Cの理由
		A	地域で気軽に相談できる場として、定着している。各地区の受相者の傾向を検証し、内容について検討していく必要がある。

H24. 報告事項	参加しやすく、育児支援の効果が得られ易いよう、子育て支援センターのひろばと日程を合わせたり、栄養士、歯科衛生士等の専門職を配置するなどの工夫をした。		
-----------	--	--	--

H25. 事業計画	○引き続き、継続実施。 ○効果的な事業運営できるよう、各地区の実情を検証していく。	予算額・財源内訳(単位：千円)						重要 施策
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	2,505	62	0	0	2,443	
		H23決算	2,869	1,434	0	0	1,435	
		H24決算	2,145	0	0	0	2,145	
H25予算	2,126	0	0	0	2,126			

164	（再）療育相談	担当課	子ども家庭相談室
事業内容	専門相談員が、心身の発達に遅れや心配のある乳幼児等に関する相談に応じ、具体的な支援を行います。		
計画目標	相談支援件数 2,200件		

A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）

H24. 取組結果	（事業予定） 継続実施 相談支援件数1,707件	事業評価	B・Cの理由
		A	発達障害を疑う幼児は増加傾向にある。ライフステージを通しての支援体制が課題

H24. 報告事項	○利用者に見やすいよう、ホームページの掲載内容を更新しました。		
-----------	---------------------------------	--	--

H25. 事業計画	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳					
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源		
		H22決算	10,106	0	0	0	10,106		○
		H23決算	10,169	0	0	0	10,169		○
		H24決算	10,310	0	0	0	10,310		○
H25予算	10,590	0	0	0	10,590	○			

165	各種予防接種	担当課	健康管理課
事業内容	感染症の予防と重篤化防止のため、法で定められた予防接種を委託医療機関等で実施します。		
計画目標	継続実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組結果	委託医療機関等にて実施 ○定期接種：BCG、三種混合、二種混合、麻しん・風しん、日本脳炎、ポリオ、高齢者インフルエンザ ○任意接種：子宮頸がん、ヒブ・小児用肺炎球菌 ※ポリオ不活化ワクチンへの切替え・四種混合の導入	事業評価	B・Cの理由
		A	
H24. 報告事項	○接種率の低いワクチンや積極的勧奨が望まれるワクチンについて、個別に接種勧奨ハガキを送付し、接種率向上に努めました。 ○頻繁かつ緊急に制度改正が行われるため、市民や医療機関への周知期間が不十分な状況にあります。		

H25. 事業計画	委託医療機関等にて実施 ○定期接種：BCG、四種混合、三種混合、二種混合、麻しん・風しん、日本脳炎、ポリオ、高齢者インフルエンザ、子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌	予算額・財源内訳(単位：千円)						重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳					
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源		
		H22決算	173,700	0	8,857	0	164,843		
		H23決算	314,496	0	69,649	0	244,847		
		H24決算	282,801	0	46,352	0	236,449		
H25予算	290,342	0	0	0	290,342				

166	SIDS予防対策	担当課	子育て支援課
事業内容	乳幼児期に起こる乳幼児突然死症候群(SIDS)予防のためのPR等を行います。		
計画目標	継続実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組結果	妊娠届出、母親父親教室時に実施した。	事業評価	B・Cの理由
		A	SIDSの発症リスクである禁煙、うつ伏せ寝を避ける、母乳の促進についての説明をしている。
H24. 報告事項	妊娠届出、母親父親教室時に実施した。		

H25. 事業計画	引き続き継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳					
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源		
		H22決算	0	0	0	0	0		
		H23決算	0	0	0	0	0		
		H24決算	0	0	0	0	0		
H25予算	0	0	0	0	0				

167	健康カレンダーの配布	担当課	健康管理課				
事業内容	健康診査、予防接種等の日程等を掲載した「健康カレンダー」を新聞に折り込み全戸配布します。						
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・継続実施 ・年間43,000冊 						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H24. 取組結果	全世帯に対し、新聞折込及び市役所窓口、各公民館等にて配布。 43,000冊発行	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H24. 報告事項	○掲載レイアウトや記載表現を読みやすいように変更しました。						
H25. 事業計画	全世帯に対し、新聞折込及び市役所窓口、各公民館等にて配布。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費				
		事業費内訳					
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	重要施策	
		H22決算	406	0	0	0	406
		H23決算	398	0	0	0	398
		H24決算	398	0	0	0	398
		H25予算	493				493

168	乳児訪問の充実（こんにちは赤ちゃん訪問）	担当課	子育て支援課				
事業内容	生後4ヶ月までの乳児のいる家庭を児童委員や子育てサポーター等が訪問し、様々な不安や悩みを聞き、家庭と地域社会をつなぐ最初の機会とすることにより、乳児のいる家庭の孤立化を防ぎ、健全な育成環境を図ります。						
計画目標	継続実施						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H24. 取組結果	子育てサポーター連絡会への謝礼を開始した。	事業評価	B・Cの理由				
		A	子育てサポーターの人員を増やす必要がある。				
H24. 報告事項	○訪問を担う子育てサポーター連絡会へ謝礼の支払いを開始。 ○訪問を受けた方からは、「地域に子育てを見守ってくれる人がいることを心強く感じる」などの感想が聞かれている。						
H25. 事業計画	○子育てサポーターこんにちは赤ちゃん訪問協力者の増員	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費				
		事業費内訳					
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	重要施策	
		H22決算	1,829	1,700	0	0	129
		H23決算	5,102	2,551	0	0	2,551
		H24決算	5,244	2,621	0	0	2,623
		H25予算	5,702	2,963	0	0	2,739

4-③小児医療の充実

<施策の対応方針>

○一次・二次・三次の救急小児科医療体制の体制強化を図るため、関係医療機関の協力を得て、小児科医の確保定着を図っていきます。

○小児医療費助成の充実を図っていきます。

169	二次救急小児科医療体制の整備	担当課	健康管理課					
事業内容	休日夜間における入院・手術の必要な小児の二次救急患者に対し、関係医療機関の協力を得て、適切な医療の供給を図ります。							
計画目標	秦野赤十字病院と伊勢原協同病院の輪番制で100%実施							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組結果	秦野赤十字病院と伊勢原協同病院の輪番制で100%実施	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告事項	<p>○伊勢原協同病院小児科の医師不足により、100%実施が困難な状況にありましたが、同じ2次医療圏の秦野市と連携し、秦野赤十字病院の当番割合を増やすなど、100%実施体制を確保しました。</p> <p>○全国的に小児科医が不足しており、複数の病院の連携が望まれます。</p>							
H25. 事業計画	秦野赤十字病院と伊勢原協同病院の輪番制で100%実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	16,304	0	0	10,074	6,230	
		H23決算	10,141	0	0	6,205	3,936	
		H24決算	9,568	0	0	4,933	4,635	
H25予算	16,508			10,142	6,366			

170	(再)小児医療費助成事業	担当課	子育て支援課					
事業内容	0歳から中学校卒業までの子どもの入院や通院に係る医療費の一部を助成し、家庭における子育て費用の負担の軽減を図ります。							
計画目標	通院対象年齢の拡大							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組結果	0歳児～小学3年生(所得制限なし)の通院・入院について276,721,455円(146,970件)、小学4年生～中学生(所得制限あり)の入院について1,854,260円(34件)の助成を行った。	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告事項	例年どおり実施							
H25. 事業計画	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	232,530	0	57,928	0	174,602	
		H23決算	239,940	0	78,817	0	161,123	○
		H24決算	285,112	0	55,613	0	229,507	○
H25予算	281,299	0	58,508	0	222,791	○		

171	(再) ひとり親家庭等医療費助成事業	担当課	子育て支援課					
事業内容	ひとり親家庭の家族が病気等で受診したときの医療費の一部を助成し、その経済的負担の軽減を図ります。							
計画目標	継続実施							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組結果	ひとり親家庭の世帯員に対し、48,199,970円(18,685件)の医療費を助成した。	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告事項	例年どおり実施							
H25. 事業計画	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	51,575	0	24,170	0	27,405	
		H23決算	52,248	0	24,750	0	27,498	
		H24決算	48,441	0	22,091	0	26,350	
H25予算	51,345	0	24,402	0	26,943			

基本目標5 子どもと子育て家庭にやさしいまちづくりを推進します

施策の目標

○子どもにとって安全なまちであると感じる保護者の割合を増やします

5-①親子が安心して集える場の確保

<施策の対応方針>

○都市交園等における遊具等の維持管理、周囲からの見通しの確保、高低差の解消など、既存施設の充実に努めます。

○市民ニーズにあった使いやすい公園の整備について、市民と一体となって進めていきます。

○身近な生活環境において、防災機能など都市公園に求められる多くの役割を十分に果たせるよう、整備計画等を策定し、計画的に施設整備を進めていきます。

172	市民参加の公園づくり	担当課	公園緑地課					
事業内容	市民ニーズに対応した公園づくりを進めるため、ワークショップ方式による市民参加型の公園づくり及び一部管理を推進します。							
計画目標	公園愛護会の拡大、平成22年度下原公園をワークショップによるリニューアルを検討							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> 新規設立愛護会の募集 公園愛護会の活動推進 	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H24. 報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ○市ホームページ内で新設愛護会紹介ページを作成し、会員のモチベーション向上、新規団体の設立促進をはかった。また、既存団体への物品貸与、消耗品支給を行い、活動を支援した。 ○課題 <ul style="list-style-type: none"> ・団体ごとに活動内容の差が大きい ・高齢者中心の団体での後継者の育成 ○一部会員からは愛護会に対する支援の充実に求める声があがっている。 							
H25. 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 新規設立愛護会の募集 公園愛護会の活動推進 	予算額・財源内訳(単位：千円)				重要 施策		
				事業費内訳				
		年度	総事業費	国庫支出金	県支出金		その他	一般財源
		H22決算	2,204	0	0		1,100	1,104
		H23決算	448	0	0		0	448
H24決算	392	0	0	0	392			
H25予算	570	0	0	0	570	○		

173	運動公園整備事業	担当課	公園緑地課			
事業内容	市民ニーズを踏まえ、総合運動公園の広場等について、改修整備計画を策定し、計画的な整備を推進します。					
計画目標	総合運動公園の広場等の改修整備について計画策定を検討					
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)						
H24. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> 計画策定に向け、庁内調整を行った 総合運動公園体育館天井改修工事に伴う、実施設計業務を委託した。 	事業評価	B・Cの理由			
		—				

H24. 報告事項	○工事期間中の体育室が利用できないため調整を行った。 ○課題 ・体育施設備品の更新要望がある。							
H25. 事業計画	・総合運動公園体育館天井改修工事の実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						重要 施策
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	0	
H24決算	2,348	1,150	0	0	1,198			
H25予算	163,485	81,680	0	81,600	205	○		

174	防災公園整備事業	担当課	公園緑地課
事業内容	防災機能を備えた公園設備を推進するため、防災公園整備計画を策定し、計画に基づく施設整備を進めます。		
計画目標	平成23年度に防災公園整備計画を策定し、以後計画に基づき事業実施		

A (計画どおり進捗した) **B** (やや遅れている) **C** (ほとんど進捗していない)

H24. 取組結果	・防災公園整備計画の原案をもとに庁内での調整を行ったが、未だ策定できていない。	事業評価	B・Cの理由
		B	防災公園整備計画の策定について、庁内調整が遅延しており、計画の策定も遅れている。

H24. 報告事項	○課題 ・防災公園整備費用の確保							
H25. 事業計画	・防災公園整備計画の策定 ・事業実施に向けた調整	予算額・財源内訳(単位：千円)						重要 施策
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	3,675	0	0	0	3,675	
H24決算	0	0	0	0	0	○		
H25予算	0	0	0	0	0			

175	青少年広場及び児童遊園の維持管理	担当課	青少年課
事業内容	健全な児童の遊びや活動の場として、維持管理を行います。		
計画目標	地域における青少年の健全育成を推進するため、維持管理を継続実施		

A (計画どおり進捗した) **B** (やや遅れている) **C** (ほとんど進捗していない)

H24. 取組結果	従来どおり、管理運営	事業評価	B・Cの理由
		A	

H24. 報告事項	○近隣との関係から、球技を制限した広場があった。						
-----------	--------------------------	--	--	--	--	--	--

H25. 事業計画	従来どおり、管理運営	予算額・財源内訳(単位：千円)						重要 施策
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	8,233	0	0	0	8,233	
		H23決算	8,300	0	0	0	8,300	
H24決算	8,293	0	0	0	8,293			
H25予算	8,245	0	0	0	8,245			

176	児童遊園、遊具の修繕助成	担当課	社会福祉協議会				
事業内容	自治会や子ども会などで管理する児童遊園に対し、遊具などの修繕を行います。						
計画目標	継続実施						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H24. 取組結果	修繕結果 7地区15件	事業評価	B・Cの理由				
		—					
H24. 報告事項	<p>○例年どおり実施</p> <p>○遊具以外の相談を受けることも多く、安全を優先し柔軟に対応しているが線引きが難しい。</p> <p>○修繕を行った自治会からは、自治会予算で充当することが困難な場合が多いため、事業の活用により安全性の向上や景観などを含め環境整備ができたという声をいただいている。</p>						
H25. 事業計画	例年どおり実施。事業を通して児童の心身の健康増進と健全育成を図る。 ※財源は社協会員会費	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫支出金	県支出金	その他	
		H22決算	943	0	0	943	0
		H23決算	1,081	0	0	1,081	0
		H24決算	1,076	0	0	1,076	0
H25予算	1,376	0	0	1,376	0		

5-②子どもの安全の確保

<施策の対応方針>

- 道路や公園、公共交通機関、公共建築物等において、段差の解消、旅客施設等の改善を進めます。
- バリアフリーの徹底やユニバーサルデザインの考え方を取り入れたまちづくりを推進し、安全で快適な生活環境を整備します。
- 警察、関係機関・団体等との連携を強化し、パトロール活動等を行い、犯罪防止活動に取り組んでいきます。
- 交通安全教育を推進し、交通安全の普及啓発活動や総合的な交通事故防止対策などを積極的に展開していきます。

177	交通バリアフリー法に基づく特定事業等の推進	担当課	都市総務課				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道事業者による駅のバリアフリー化、バス事業者による車両等のバリアフリー化 ・伊勢原駅、愛甲石田駅を中心とした重点整備地区における特定経路を構成する道路のバリアフリー化など 						
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・伊勢原市交通バリアフリー基本構想の推進に係る連絡会議の開催 ・各事業者から進捗状況を確認し、事業実施状況の報告を受け、特定経路について、平成22年度までの完成について確認 ・引き続き準特定経路等の進捗状況の確認 						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H24. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・伊勢原市交通バリアフリー基本構想の改定に向けて、検討を行う。 ・準特定経路等の進捗状況の確認 	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H24. 報告事項	現基本構想による計画期間が終了し、公共施設等の整備について一定の成果をあげることができた。						
H25. 事業計画	平成24年度で事業終了	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳	重要 施策		
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
		H22決算	4	0	0	0	4
		H23決算	4	0	0	0	4
		H24決算	0	0	0	0	
		H25予算	0	0	0	0	

178	交通バリアフリー法に基づく特定事業等の推進	担当課	道路整備課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・伊勢原駅、愛甲石田駅を中心とした重点整備地区における特定経路を構成する市道のバリアフリー化など 		
計画目標	特定経路のうち市道の交通バリアフリー化完了(特定経路のバリアフリー化延長L=1, 490m) 準特定経路の交通バリアフリー化着手		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			
H24. 取組結果	無し	事業評価	B・Cの理由
		A	
H24. 報告事項	事業終了		

H25. 事業 計画	無し	予算額・財源内訳(単位：千円)						重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳					
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源		
		H22決算	14,144	5,750	0	5,300	3,094		○
		H23決算	0	0	0	0	0		○
		H24決算	0	0	0	0	0		○
H25予算	0	0	0	0	0				

179	関係機関との連携・防犯パトロールの推進	担当課	交通防犯対策課
事業 内容	警察署や防犯協会、防犯指導員部会などの関係団体との連携や、防犯パトロールを実施して、犯罪が発生しにくい環境づくりを進めます。		
計画 目標	青色回転灯 20台		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組 結果	警察署や防犯協会、防犯指導員部会などの関係団体との連携や、防犯パトロールを実施して、犯罪が発生しにくい環境づくりを進めます。 青色回転灯 17台	事業評価	B・Cの理由
		—	地域防犯活動・パトロールについては、継続して実施されているが、青色回転灯配備車両の増加が達成できないため

H24. 報告 事項	警察署や防犯協会、防犯指導員部会などの関係団体との連携や、防犯パトロールを実施して、犯罪が発生しにくい環境づくりを進めました。 青色回転灯 17台
------------------	--

H25. 事業 計画	警察署や防犯協会、防犯指導員部会などの関係団体との連携や、防犯パトロールを実施して、犯罪が発生しにくい環境づくりを進めました。 青色回転灯 17台	予算額・財源内訳(単位：千円)						重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳					
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源		
		H22決算	0	0	0	0	0		
		H23決算	0	0	0	0	0		
		H24決算	0	0	0	0	0		
H25予算	0	0	0	0	0				

180	「あなたを守る家」運動への協力	担当課	社会教育課
事業 内容	市民が連帯して子どもを犯罪から守るため、緊急な場合などに子どもを保護する運動(市PTA連絡協議会)に市として協力します。		
計画 目標	継続支援		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H24. 取組 結果	・伊勢原市PTA連絡協議会事業費補助金を交付した。(市民活動災害補償制度の対象事業として支援)	事業評価	B・Cの理由
		A	

H24. 報告 事項	○事業費補助金の予算を10%削減 ○事業協力者の拡大
------------------	-------------------------------

H25. 事業 計画	・伊勢原市PTA連絡協議会事業費補助金を交付予定(市民活動災害補償制度の対象事業として支援)	予算額・財源内訳(単位：千円)						重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳					
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源		
		H22決算	218	0	0	0	218		
		H23決算	218	0	0	0	218		
		H24決算	197	0	0	0	197		
H25予算	218	0	0	0	218				

181	防犯指導の実施	担当課	交通防犯対策課				
事業内容	地元等の依頼に基づく市政出前ミーティング等を通じて、防犯指導を行うなど、防犯活動を推進します。						
計画目標	3回						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H24. 取組結果	地元等の依頼に基づく市政出前ミーティング等を通じて、防犯指導を行うなど、防犯活動を推進しました。 1回実施	事業評価	B・Cの理由				
		B					
H24. 報告事項	地元等の依頼に基づく市政出前ミーティング等を通じて、防犯指導を行うなど、防犯活動を推進しました。						
H25. 事業計画	地元等の依頼に基づく市政出前ミーティング等を通じて、防犯指導を行うなど、防犯活動を推進します。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫支出金	県支出金	その他	
		H22決算	0	0	0	0	0
		H23決算	0	0	0	0	0
		H24決算	0	0	0	0	0
H25予算	0	0	0	0	0		

182	交通安全教育の推進	担当課	交通防犯対策課				
事業内容	世代や対象に応じた交通安全意識の啓発や交通安全指導等の交通安全教育を推進します。						
計画目標	実施回数 36回/年						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H24. 取組結果	世代や対象に応じた交通安全意識の啓発や交通安全指導等の交通安全教育を推進します。 実施回数 41回/年	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H24. 報告事項	○世代や対象に応じた交通安全意識の啓発や交通安全指導等の交通安全教育を伊勢原警察署と連携しながら推進しました。						
H25. 事業計画	世代や対象に応じた交通安全意識の啓発や交通安全指導等の交通安全教育を推進します。 実施回数 40回/年 (見込み)	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫支出金	県支出金	その他	
		H22決算	0	0	0	0	0
		H23決算	0	0	0	0	0
		H24決算	0	0	0	0	0
H25予算	0	0	0	0	0		

183	通学路の安全対策	担当課	学校教育課
事業内容	庁内関係課で組織する「通学路等整備促進検討会」での検討を進め、関係機関等と連携し、交通指導員や防犯指導員を通学路に配置したり、防犯灯を設置するなどして、通学路の安全を確保します。		
計画目標	小中学校の通学路の安全点検を継続実施		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			
H24. 取組結果	通学路における子どもたちの安全を確保するため、安全点検を実施して危険箇所の改善を進めました。また、通学路に安全指導員を配置しました。	事業評価	B・Cの理由
		A	

H24. 報告事項	<p>○いろいろな角度（視点）から点検を行い一層の安全対策を講じていくため、全小中学校で作成した危険箇所マップを伊勢原警察署に提出するとともに、警察署と合同で点検を実施した。</p> <p>○歩道やガードレールの設置は、道路用地の取得など多大な費用がかかり、早期の整備が難しい。新たな交通規制の実施は、地域の総意を得ることや警察署との調整など、相当の時間と労力を要する。</p> <p>○道路の拡幅、ガードレールや信号機の設置など、保護者や自治会からの要望は強い。</p>							
H25. 事業計画	通学路の安全点検を実施して危険箇所の改善及び計画的な整備を進めていきます。また、通学路に安全指導員を配置します。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	3,046	0	0	0	3,046	
		H23決算	3,051	0	0	0	3,051	
		H24決算	3,220	0	0	0	3,220	
H25予算	3,301	0	0	0	3,301			

184	通学路の安全対策	担当課	道路整備課					
事業内容	歩道や歩車共存道路等の整備を推進し、通学路の安全を確保します。							
計画目標	幹線市道の歩道整備延長 L = 1,140m 歩車共存道路による通学路の整備延長 L = 500m							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H24. 取組結果	(執行実績)	事業評価	B・Cの理由					
	<ul style="list-style-type: none"> 市道56号線歩道整備事業 市道59号線歩道整備事業 市道3号線歩道整備事業 市道776号線歩道整備事業 市道800号線歩車共存道路整備事業 	—						
H24. 報告事項	<p>○事業用地の確保が課題。一部事業で用地買収が難航している。</p> <p>○伊勢原市通学路等整備促進検討会（担当：学校教育課）及び通学路合同緊急点検の実施により、地域や学校からの意見を聴取して事業計画に反映している。</p>							
H25. 事業計画	(執行計画) ・市道54号線歩道整備事業 ・市道59号線歩道整備事業 ・市道3号線歩道改良事業 ・市道60号線歩車共存道路整備事業 ・市道52号線外1路線歩車共存道路整備事業 ・市道901号線歩車共存道路整備事業 ・市道2615号線歩車共存道路整備事業	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	113,621	43,509	0	28,000	42,112	○
		H23決算	192,444	98,737	12,885	68,500	12,322	○
		H24決算	127,902	67,023	0	49,100	11,779	○
H25予算	178,298	89,155	0	70,700	18,443	○		

185	通学路の安全対策	担当課	交通防犯対策課
事業内容	庁内関係課で組織する「通学路等整備促進検討会」での検討を進め、関係機関等と連携し、交通指導員や防犯指導員を通学路に配置したり、防犯灯を設置するなどして、通学路の安全を確保します。		
計画目標	小中学校の通学路の安全点検を継続して実施		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			
H24. 取組結果	庁内関係課で組織する「通学路等整備促進検討会」での検討を進め、関係機関等と連携し、交通指導員等を通学路に配置したり、防犯灯を設置したりするなどして、通学路の安全を確保します。	事業評価	B・Cの理由
		A	
H24. 報告事項	<p>○庁内関係課で組織する「通学路等整備促進検討会」での検討を進め、関係機関等と連携し、交通指導員等を通学路に配置したり、防犯灯を設置したりするなどして、通学路の安全を確保しました。</p> <p>また、地元からの要望を受け、伊勢原警察署に交通規制の要望や規制標識、路面標示の補修等を要請し、施工時期が示されたものについては関係機関に速やかに連絡をとりました。</p>		

H25. 事業 計画	庁内関係課で組織する「通学路等整備促進検討会」での検討を進め、関係機関等と連携し、交通指導員等を通学路に配置したり、防犯灯を設置したりするなどして、通学路の安全を確保します。	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0		0
		H23決算	0	0	0	0		0
		H24決算	0	0	0	0		0
H25予算	0	0	0	0	0			

186	防犯灯の整備	担当課	交通防犯対策課						
事業 内容	耐用年数を経過した箇所の器具交換、維持管理を進めるとともに、補完的な設置を進めます。								
計画 目標	7,000本 今後の新設及び器具交換は、照度アップした防犯灯を設置								
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)									
H24. 取組 結果	夜間の歩行者を犯罪から守るため、通勤通学路等に設置した20W型防犯灯を計画的にLED防犯灯に交換しました。 また、重大な犯罪が発生した場合など、緊急性が高い箇所については、新たな防犯灯を設置しました。	事業評価	B・Cの理由						
		A							
H24. 報告 事項	夜間の歩行者を犯罪から守るため、通勤通学路等に設置した20W型防犯灯を計画的にLED防犯灯に交換しました。 また、重大な犯罪が発生した場合など、緊急性が高い箇所については、新たな防犯灯を設置しました。								
	夜間の歩行者を犯罪から守るため、通勤通学路等に設置した20W型防犯灯を計画的にLED防犯灯に交換する。また、重大な犯罪が発生した場合など、緊急性が高い箇所については、新たな防犯灯を設置する。	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策		
		年度	総事業費	事業費内訳					
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源	
		H22決算	10,465	2,385	0	0		8,080	○
		H23決算	13,193	2,415	0	0		10,778	○
		H24決算	11,092	3,378	0	0		7,714	○
H25予算	12,154	0	0	0	12,154	○			